

二宮町地域福祉計画策定のための
町民意識調査アンケート

報 告 書

令和4年3月

二 宮 町

目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査設計	3
3. 回収結果	3
4. 報告書の見方	3
第2章 調査結果	5
1. あなたご自身について	7
(1) 性別	7
(2) 年代	7
(3) 居住地区	8
(4) 居住期間	8
(5) 職業	9
(6) 家族構成	9
2. 「福祉」について	10
(1) 福祉への関心	10
(2) 関心のある福祉分野	11
(3) 二宮町の暮らしやすさ	12
(4) 暮らしやすい理由	13
3. 地域との関わりについて	14
(1) 近所付き合いの程度	14
(2) 団体・機関の認知度	15
(3) 希望する支援者	15
(4) 悩みや不安	17
(5) 具体的な悩みや不安	18
(6) 可能な支援	19
(7) 必要な支援	20
(8) 防災や災害時の取り組み	21
4. 地域の満足度について	24
(1) 地域の範囲	24
(2) 地域への愛着	25
(3) 二宮町での定住意向	25
(4) 居住地区の暮らしやすさ	27
(5) 居住地区の満足度と重要度	28
5. 地域活動やボランティア活動などについて	30
(1) 地域の支援活動への参加状況	30
(2) 参加したきっかけ	31

(3) 参加している活動内容	32
(4) 支援活動への参加意向	34
(5) 参加条件	35
(6) 参加してみたい支援活動	37
(7) 参加できない理由	39
(8) 支援活動を活発にするために重要なこと	40
6. 福祉サービスなどについて	42
(1) 福祉サービス利用時に感じた不都合・不満	42
(2) 福祉サービスに対する不都合・不満の内容	43
(3) 福祉サービスに関する情報の入手先	44
(4) 充実してほしい福祉サービスの情報	45
7. 福祉に関する制度・取組みについて	45
(1) 成年後見制度の認知度	46
(2) 成年後見制度の利用意向	47
(3) 成年後見制度を利用したくない理由	48
(4) 「ことわらない相談窓口」の認知度	49
(5) 「ことわらない相談窓口」に期待すること	50
(6) 地域包括支援センターの役割認知度	52
8. これからの地域福祉について	53
(1) 地域住民として取り組みたい活動	53
(2) 地域福祉推進のための望ましい形	54
9. 自由回答	55
第3章 調査結果からみえる課題	63
第4章 調査票	71

第1章 調査概要

1. 調査目的

二宮町では、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、町民・関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりをめざして、令和4年度に「二宮町地域福祉計画」を改訂します。本調査は、計画の策定にあたって、町民の皆様の福祉観、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画策定に反映することを目的として実施しました。

2. 調査設計

- (1)調査地域:二宮町全域
- (2)調査対象者:20歳以上の二宮町在住者男女個人
- (3)抽出方法:住民基本台帳より無作為抽出
- (4)調査方法:郵送配布・郵送回収
- (5)調査期間:令和3年9月30日(木)～10月29日(金)

3. 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
1,000件	431件	43.1%

4. 報告書の見方

- 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- 百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問い)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- 複数回答(2つ以上選んでよい問い)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。
- 本報告書において、分析手法のひとつとしてクロス集計を用いています。その際、クロス集計分析結果表の分析軸に「不明・無回答」がある場合は表示しません。そのため、分析軸の回答者数の合計が全体の合計と一致しない場合があります。
- クロス集計(年代別／居住地区別)という表記は、その前問の年代別、居住地区別のクロス集計の項目になります。また、クロス集計の表中の網掛けの数値は、その他、無回答を除き、その項目の最大値を指しています。なお、回答者数が30未満の場合は参考値となるため、網掛けはしていません。
- 複数回答のクロス集計の表記は、全体で示したグラフと同様の順(数値の大きい順)に表示しています。

●分析軸内で示している居住地区の該当地域は以下のとおりです。

1 二宮小学校通学区	二宮、富士見が丘一丁目、富士見が丘二丁目、富士見が丘三丁目、松根、山西(梅沢)
2 一色小学校通学区	一色、百合が丘1丁目、百合が丘2丁目、百合が丘3丁目、緑が丘一丁目、緑が丘二丁目、緑が丘三丁目
3 山西小学校通学区	中里、中里二丁目、山西(越地・茶屋・釜野)、川匂

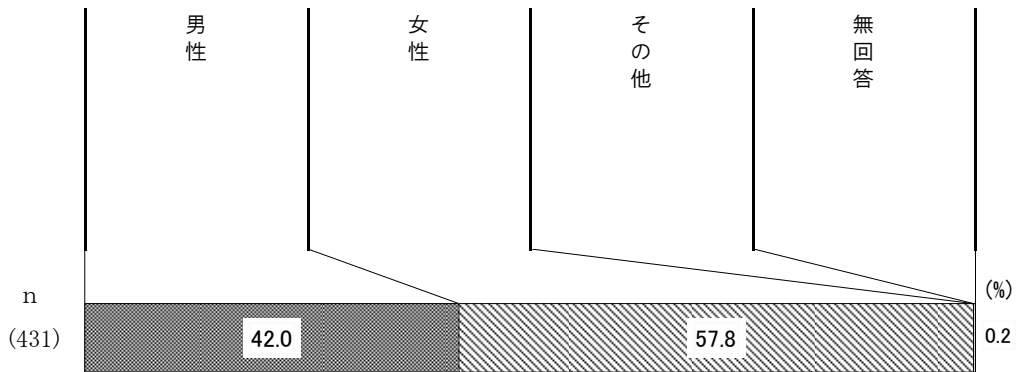
第2章 調査結果

1. あなたご自身について

(1) 性別

問1 あなたの性別は次のどれですか。(ひとつだけ○)

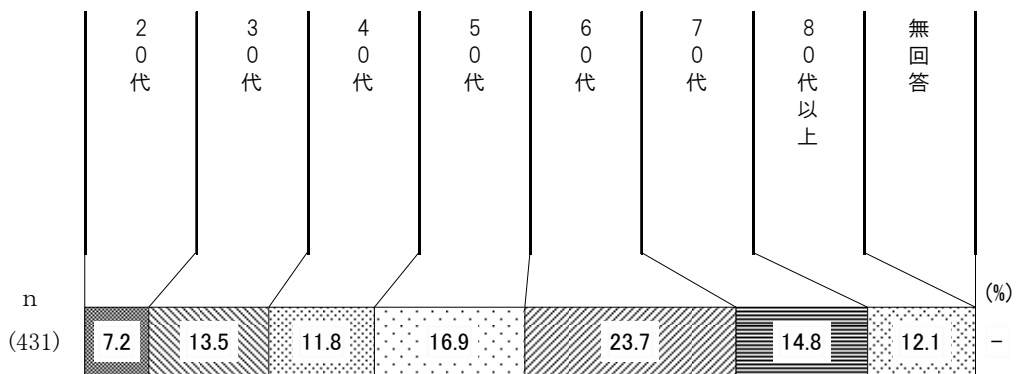
性別は、「男性」が42.0%、「女性」が57.8%となっている。



(2) 年代

問2 あなたの年代は次のどれですか。(ひとつだけ○)

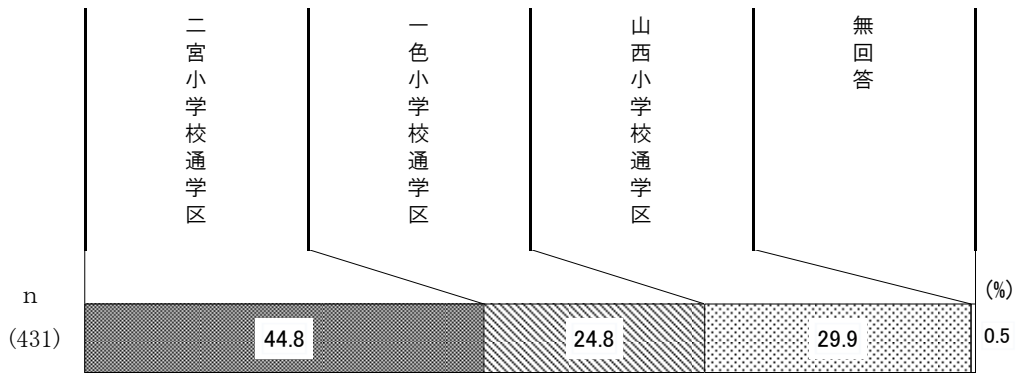
年代は、「60代」が23.7%で最も多く、それ以外の年代は20代を除いて1割台となっている。



(3) 居住地区

問3 あなたが住んでいる地区は次のどれですか。(ひとつだけ○)

居住地区は、「二宮小学校通学区」が44.8%で最も多く、「山西小学校通学区」、「一色小学校通学区」が2割台となっている。

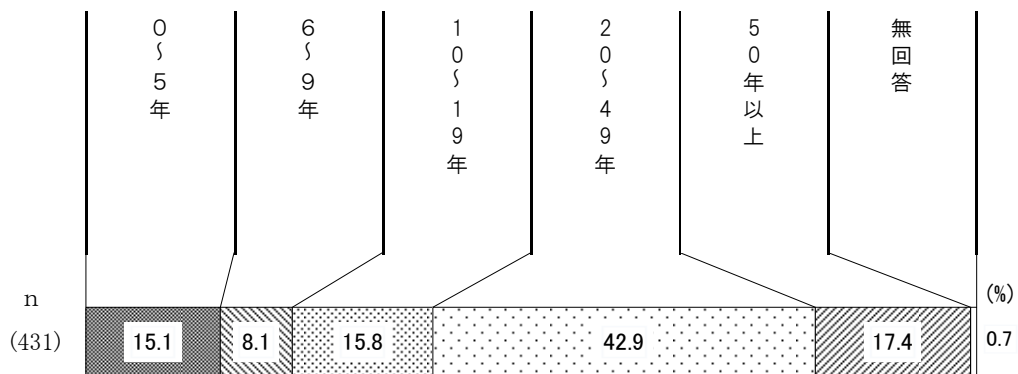


※各通学区に該当する地域は、4ページを参照

(4) 居住期間

問4 あなたは現在の地区（問3で回答した地区）に何年住んでいますか。(ひとつだけ○)

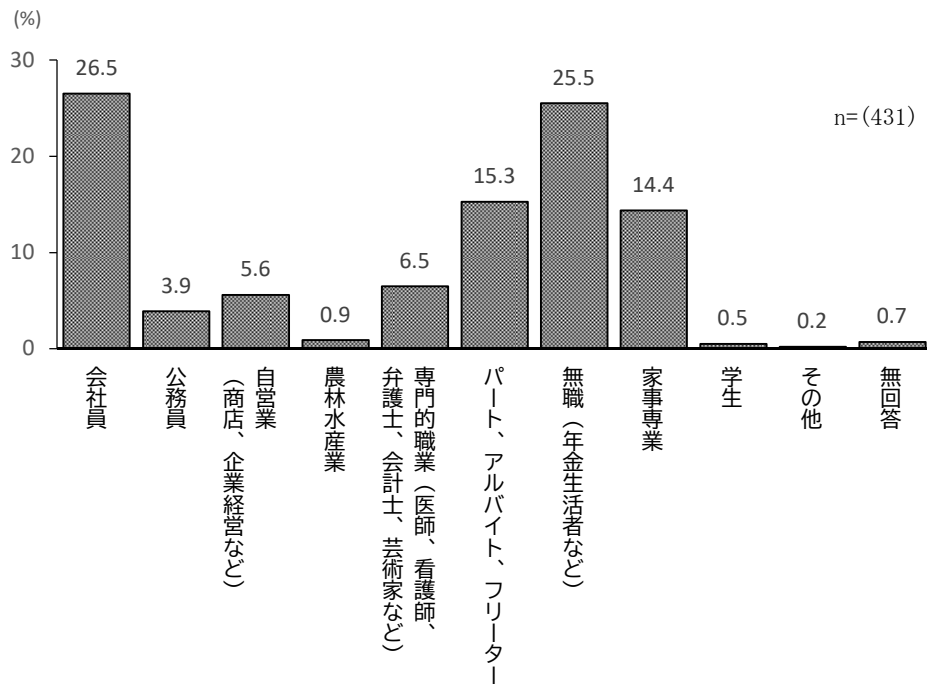
居住期間は、「20～49年」が42.9%で最も多く、「50年以上」(17.4%)とあわせて20年以上の居住者は60.3%となっている。また、「10～19年」、「0～5年」は1割台となっている。



(5) 職業

問5 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)

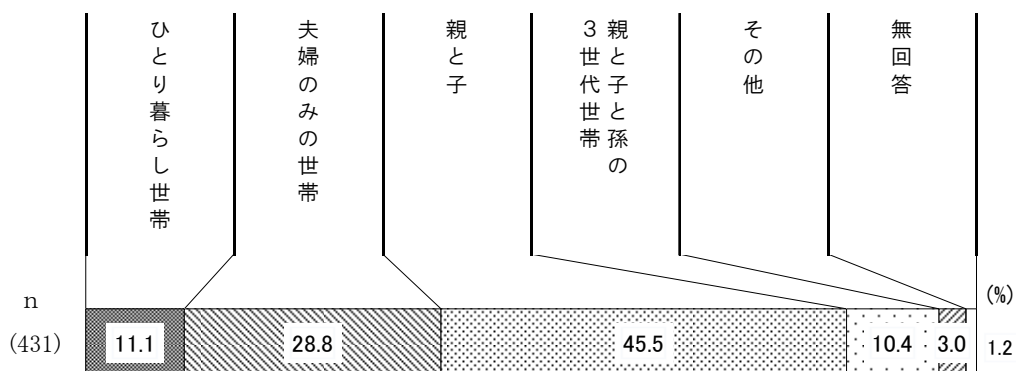
職業は、「会社員」が26.5%で最も多く、他の職業を含めた就労者は6割近い。一方、「無職（年金生活者など）」は25.5%と比較的多くなっている。



(6) 家族構成

問6 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)

家族構成は、「親と子」が45.5%となっている。「夫婦のみの世帯」は28.8%で、「ひとり暮らし世帯」、「親と子と孫の3世代世帯」は1割台となっている。

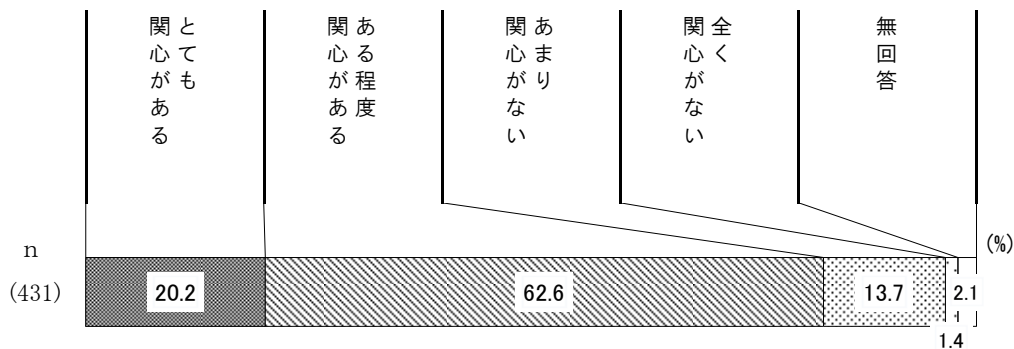


2. 「福祉」について

(1) 福祉への関心

問7 あなたは「福祉」に関心がありますか。(ひとつだけ○)

福祉への関心は、「とても関心がある」人が20.2%、「ある程度関心がある」人が62.6%で、両者をあわせた《関心がある》人は82.8%と多くの方が関心をもっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、30代以上の年代で《関心がある》人が7割以上となっている。一方、「あまり関心がない」人は20代で32.3%、これを《関心がない》（「全く関心がない」と「あまり関心がない」の計）人でみると、38.8%と他の年代より多くなっている。

居住地区別にみると、《関心がある》人はすべての地区で8割台となっている。

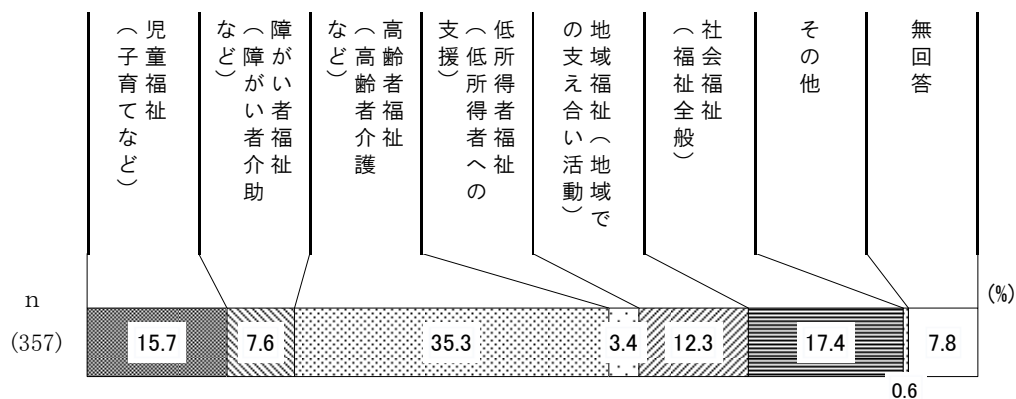
		調査数 (n)	とても 関心 がある	ある 程度 関心 がある	あまり 関心 がない	全く 関心 がない	無 回 答
年代	合計	431	20.2	62.6	13.7	1.4	2.1
	20代	31	16.1	45.2	32.3	6.5	-
	30代	58	24.1	60.3	13.8	-	1.7
	40代	51	9.8	64.7	21.6	3.9	-
	50代	73	19.2	61.6	17.8	-	1.4
	60代	102	17.6	71.6	7.8	1.0	2.0
	70代	64	21.9	64.1	9.4	-	4.7
	80代以上	52	32.7	55.8	5.8	1.9	3.8
居住 地区	合計	431	20.2	62.6	13.7	1.4	2.1
	二宮小学校通学区	193	23.3	59.6	13.0	1.6	2.6
	一色小学校通学区	107	21.5	60.7	14.0	1.9	1.9
	山西小学校通学区	129	14.7	68.2	14.7	0.8	1.6

(2) 関心のある福祉分野

問7で「とても関心がある」「ある程度関心がある」を選んだ方

問7-1 特にどの福祉の分野に関心がありますか。(ひとつだけ○)

関心のある福祉分野は、「高齢者福祉（高齢者介護など）」が35.3%で最も多く、「社会福祉（福祉全般）」、「児童福祉（子育てなど）」、「地域福祉（地域での支え合い活動）」が1割台となっている。また、「障がい者福祉（障がい者介助など）」への関心は7.6%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「高齢者福祉（高齢者介護など）」が50代以上で、「児童福祉（子育てなど）」が40代以下で他の年代と比較して関心の高さが顕著となっている。

居住地区別にみると、「高齢者福祉（高齢者介護など）」はすべての地区で3割以上となっており、特に一色小学校通学区では42.0%となっている。一色小学校通学区ではそれ以外に、「社会福祉（福祉全般）」も23.9%が、山西小学校通学区では「児童福祉（子育てなど）」が21.5%と他の居住地区よりやや多くなっている。

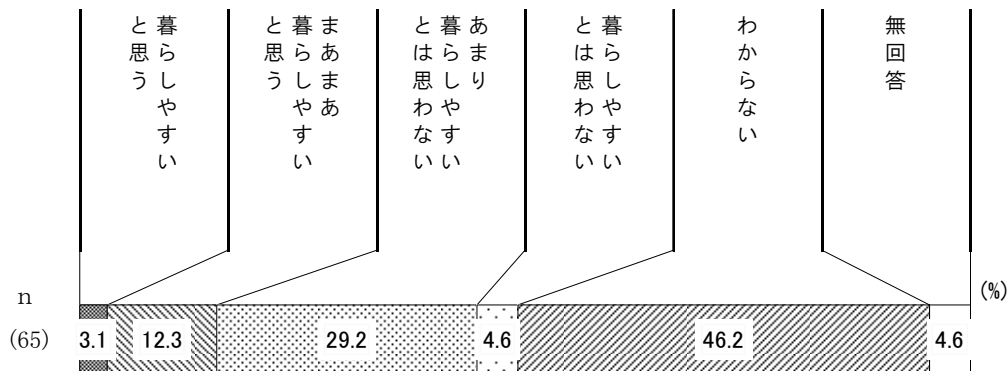
		調査数 (n)	児童福祉 (子育てなど)	障がい者福祉 (障がい者介助など)	高齢者福祉 (高齢者介護など)	低所得者福祉 (低所得者福祉への支援)	地域福祉 (地域での支え合い活動)	社会福祉 (福祉全般)	その他	無回答
年代	合計	357	15.7	7.6	35.3	3.4	12.3	17.4	0.6	7.8
	20代	19	36.8	10.5	10.5	5.3	15.8	15.8	-	5.3
	30代	49	53.1	8.2	10.2	2.0	6.1	6.1	-	14.3
	40代	38	31.6	5.3	18.4	7.9	13.2	-	-	10.5
	50代	59	6.8	6.8	45.8	1.7	6.8	20.3	3.4	8.5
	60代	91	6.6	9.9	39.6	4.4	13.2	20.9	-	5.5
	70代	55	1.8	7.3	41.8	3.6	20.0	18.2	-	7.3
	80代以上	46	-	4.3	56.5	-	13.0	21.7	-	4.3
居住地区	合計	357	15.7	7.6	35.3	3.4	12.3	17.4	0.6	7.8
	二宮小学校通学区	160	16.3	10.6	33.8	4.4	10.0	16.9	0.6	7.5
	一色小学校通学区	88	8.0	4.5	42.0	4.5	12.5	23.9	1.1	3.4
	山西小学校通学区	107	21.5	5.6	32.7	0.9	14.0	13.1	-	12.1

(3) 二宮町の暮らしやすさ

問7で「あまり関心がない」「全く関心がない」を選んだ方

問8 二宮町は子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(ひとつだけ○)

子どもや高齢者、障がいのある人にとって二宮町の暮らしやすさは、「暮らしやすいと思う」人は3.1%、「まあまあ暮らしやすいと思う」人は12.3%で、両者をあわせた《暮らしやすいと思う》人は15.4%となっている。「暮らしやすいとは思わない」人は4.6%、「あまり暮らしやすいとは思わない」人は29.2%で、両者をあわせた《暮らしやすいとは思わない》人は33.8%となっており、《暮らしやすいと思う》を18.4ポイント上回っている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別、居住地区別は回答者数が少ないため、表を参考とする。

		調査数 (n)	暮らしやすいと思う	まあまあ暮らしやすいと思う	あまり暮らしやすいとは思わない	暮らしやすいとは思わない	わからない	無回答
年代	合計	65	3.1	12.3	29.2	4.6	46.2	4.6
	20代	12	8.3	8.3	41.7	8.3	33.3	-
	30代	8	-	12.5	25.0	-	37.5	25.0
	40代	13	-	23.1	23.1	7.7	46.2	-
	50代	13	-	15.4	23.1	7.7	53.8	-
	60代	9	-	-	33.3	-	66.7	-
	70代	6	-	16.7	33.3	-	33.3	16.7
	80代以上	4	25.0	-	25.0	-	50.0	-
居住地区	合計	65	3.1	12.3	29.2	4.6	46.2	4.6
	二宮小学校通学区	28	-	14.3	35.7	7.1	42.9	-
	一色小学校通学区	17	11.8	5.9	17.6	5.9	52.9	5.9
	山西小学校通学区	20	-	15.0	30.0	-	45.0	10.0

(4) 暮らしやすい理由

問8で「暮らしやすいと思う」「まあまあ暮らしやすいと思う」を選んだ方

問8-1 暮らしやすいと思う理由をご記入ください。

主なご意見は次の通りです。

ご意見数：76件、延べご意見数：93件

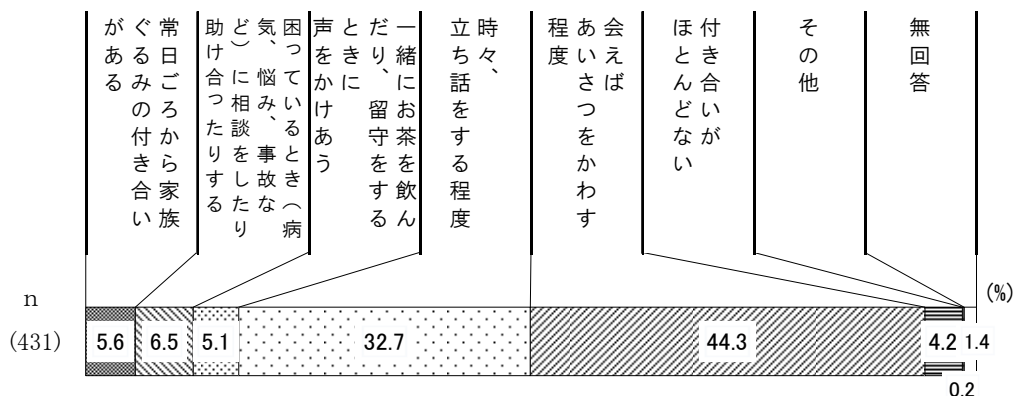
主なご意見
1. 環境のよさ (延べ54件)
町全体が、ゆったりした雰囲気である事。
気候温暖で生活しやすい。
町の規模が小さいのが良い。
2. 地域との交流 (延べ17件)
ご近所の皆さんも、隠やかで住みやすい。
近所のつきあいがあり、困ったときは助けあえる。
皆様が老人に親切です。
3. 交通の利便性 (延べ6件)
福祉バスにて、病院・通院等、買物が出来ているのでありがたいと思います。
子供、高齢者にとっては、移動インフラが最低限は揃っている、整備されている。
福祉タクシーがもらえる。
4. 福祉サービス・支援の充実 (延べ10件)
福利厚生が充実している。
福祉バスにて、病院・通院等、買物が出来ているのでありがたいと思います。
福祉が他市より優れている。
5. その他 (延べ6件)
保育園、一発で入れた。
今まで困った事が無いので。

3. 地域との関わりについて

(1) 近所付き合いの程度

問9 あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(ひとつだけ○)

近所付き合いの程度は、「常日ごろから、家族ぐるみの付き合いがある」は5.6%、「困っているとき(病気、悩み、事故など)に、相談をしたり、助け合ったりする」は6.5%、「一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声をかけあう」は5.1%と親しい付き合いをあわせて17.2%にとどまり、「会えばあいさつをかわす程度」(44.3%)、「時々、立ち話をする程度」(32.7%)といった付き合いが多くなっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「会えばあいさつをかわす程度」、「時々、立ち話をする程度」はすべての年代で多くなっており、「会えばあいさつをかわす程度」は50代までで多く、60代以上では「時々、立ち話をする程度」がより多くなっている。「付き合いがほとんどない」は20代で12.9%と一定数みられる。

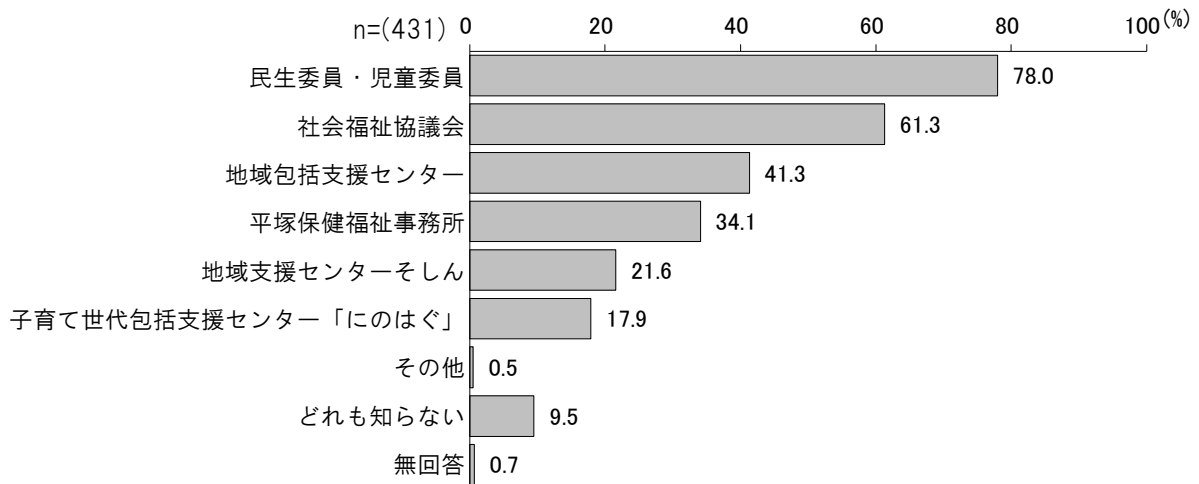
居住地区別にみると、「会えばあいさつをかわす程度」、「時々、立ち話をする程度」がすべての地区で多くなっている。

	調査数 (n)	割合 (%)								
		常日ごろから、家族ぐるみの付き合いがある	困っているとき(病気、悩み、事故など)に、相談をしたり、助け合ったりする	一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声をかけあう	時々、立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	付き合いがほとんどない	その他	無回答	
年代	合計	431	5.6	6.5	5.1	32.7	44.3	4.2	0.2	1.4
	20代	31	9.7	3.2	-	16.1	58.1	12.9	-	-
	30代	58	6.9	5.2	3.4	31.0	46.6	3.4	-	3.4
	40代	51	5.9	2.0	2.0	27.5	56.9	3.9	-	2.0
	50代	73	1.4	2.7	2.7	26.0	63.0	4.1	-	-
	60代	102	6.9	8.8	5.9	36.3	34.3	6.9	-	1.0
	70代	64	1.6	6.3	9.4	46.9	35.9	-	-	-
	80代以上	52	9.6	15.4	9.6	34.6	25.0	-	1.9	3.8
居住地区	合計	431	5.6	6.5	5.1	32.7	44.3	4.2	0.2	1.4
	二宮小学校通学区	193	6.2	8.3	3.1	33.7	43.0	5.2	-	0.5
	一色小学校通学区	107	6.5	7.5	9.3	29.9	39.3	3.7	0.9	2.8
	山西小学校通学区	129	3.9	3.1	4.7	34.1	49.6	3.1	-	1.6

(2) 団体・機関の認知度

問10 あなたは、次の団体や機関を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

団体・機関の認知度は、「民生委員・児童委員」が78.0%で最も多く、以下、「社会福祉協議会」が61.3%、「地域包括支援センター」が41.3%、「平塚保健福祉事務所」が34.1%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、40代以上で「民生委員・児童委員」が7割以上、「社会福祉協議会」が5割以上と多くなっている。「地域包括支援センター」は50代以上で4割以上となっており、特に60代と70代で5割台となっている。また、「平塚保健福祉事務所」は40代で、「子育て世代包括支援センター『にのはぐ』」は30代で4割台と他の年代よりやや多くなっている。

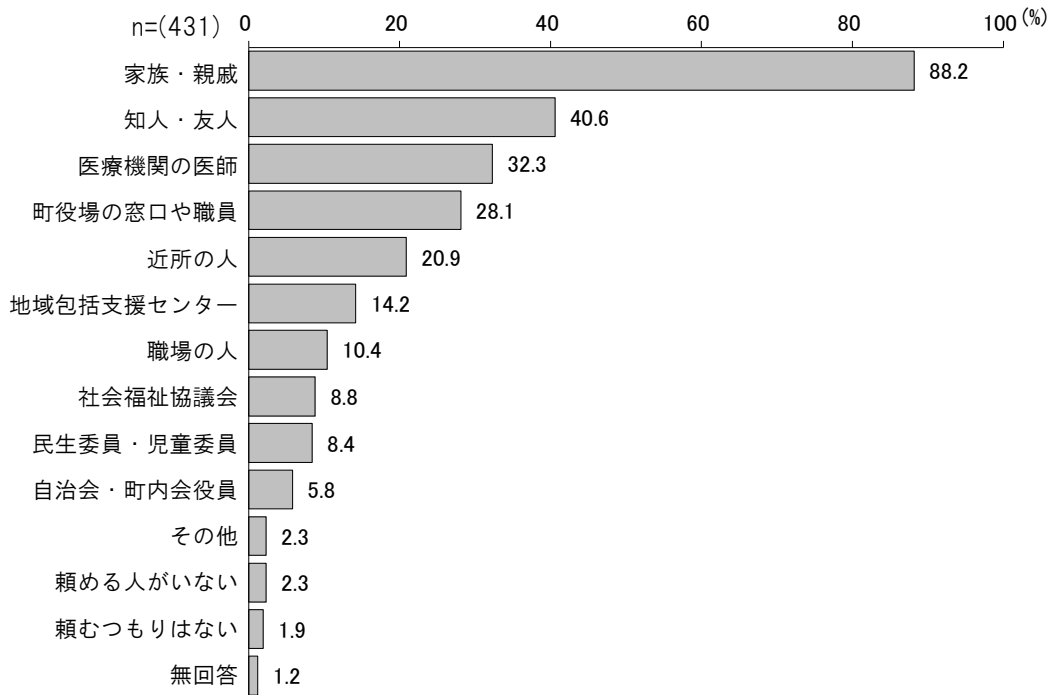
居住地区別にみると、「民生委員・児童委員」はすべての地区で7割以上と多く、「社会福祉協議会」は二宮小学校通学区、「地域支援センター そしん」は山西小学校通学区で他の居住地区より多くなっている。また、「子育て世代包括支援センター『にのはぐ』」は二宮小学校通学区、山西小学校通学区の2割台に対し、一色小学校通学区では5.6%と少ない。

		調査数 (n)	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	地域包括支援センター	平塚保健福祉事務所	地域支援センターそしん	子育て世代包括支援センター「にのはぐ」	その他	どれも知らない	無回答
年代	合計	431	78.0	61.3	41.3	34.1	21.6	17.9	0.5	9.5	0.7
	20代	31	48.4	35.5	32.3	35.5	32.3	16.1	-	22.6	-
	30代	58	53.4	37.9	27.6	25.9	15.5	48.3	-	20.7	1.7
	40代	51	74.5	52.9	25.5	43.1	23.5	33.3	-	17.6	-
	50代	73	83.6	60.3	42.5	38.4	26.0	12.3	-	6.8	-
	60代	102	86.3	76.5	51.0	36.3	26.5	11.8	-	3.9	-
	70代	64	89.1	76.6	51.6	28.1	18.8	6.3	1.6	1.6	3.1
	80代以上	52	88.5	63.5	44.2	30.8	7.7	3.8	1.9	5.8	-
居住地区	合計	431	78.0	61.3	41.3	34.1	21.6	17.9	0.5	9.5	0.7
	二宮小学校通学区	193	79.3	65.3	42.0	36.3	19.7	21.2	-	8.3	0.5
	一色小学校通学区	107	81.3	57.9	38.3	33.6	15.9	5.6	1.9	10.3	0.9
	山西小学校通学区	129	73.6	58.9	43.4	31.8	29.5	23.3	-	10.1	0.8

(3) 希望する支援者

問11 あなたは、暮らしの中で助けが必要なとき誰・どこに頼みたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

希望する支援者では、「家族・親戚」が88.2%と特に多く、以下、「知人・友人」が40.6%、「医療機関の医師」が32.3%、「町役場の窓口や職員」、「近所の人」が2割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「家族・親戚」はすべての年代で8割以上となっており、40代までは9割以上を占めている。「近所の人」は80代以上で38.5%、「知人・友人」は20代、30代で5割以上、「町役場の窓口や職員」は30代、40代で3割台と他の年代より多くなっている。

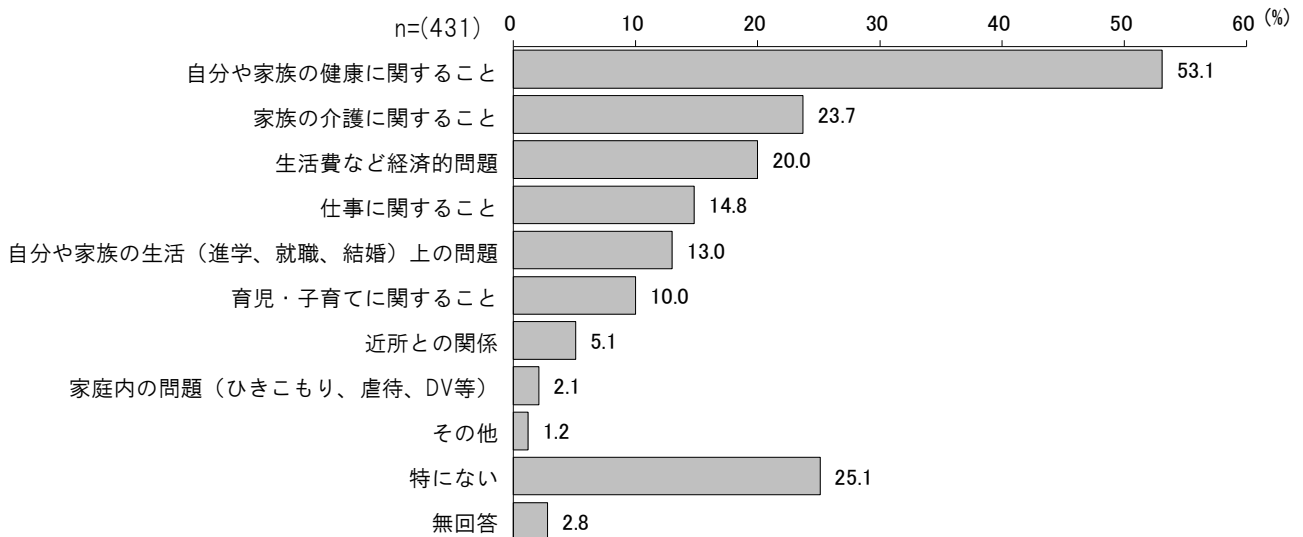
居住地区別にみると、「家族・親戚」はすべての地区で8割以上と多くなっている。「知人・友人」は山西小学校通学区で45.7%と他の居住地区より多くなっている。

		調査数 (n)	家族・親戚	知人・友人	医療機関の医師	町役場の窓口や職員	近所の人	地域包括支援センター	職場の人	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	自治会・町内会役員	その他	頼める人がいない	頼むつもりはない	無回答
年代	合計	431	88.2	40.6	32.3	28.1	20.9	14.2	10.4	8.8	8.4	5.8	2.3	2.3	1.9	1.2
	20代	31	96.8	67.7	22.6	16.1	16.1	-	25.8	-	-	3.2	6.5	3.2	-	-
	30代	58	94.8	50.0	27.6	32.8	22.4	5.2	15.5	-	-	1.7	-	3.4	5.2	-
	40代	51	94.1	37.3	35.3	37.3	21.6	9.8	13.7	9.8	7.8	-	-	3.9	2.0	-
	50代	73	86.3	37.0	27.4	23.3	15.1	6.8	13.7	2.7	2.7	4.1	1.4	4.1	2.7	2.7
	60代	102	83.3	39.2	35.3	29.4	21.6	23.5	7.8	16.7	10.8	4.9	1.0	1.0	1.0	1.0
	70代	64	85.9	37.5	37.5	26.6	12.5	18.8	3.1	15.6	12.5	7.8	4.7	1.6	1.6	1.6
	80代以上	52	84.6	28.8	34.6	26.9	38.5	23.1	1.9	7.7	19.2	11.5	5.8	-	-	1.9
居住地区	合計	431	88.2	40.6	32.3	28.1	20.9	14.2	10.4	8.8	8.4	5.8	2.3	2.3	1.9	1.2
	二宮小学校通学区	193	92.2	39.9	31.6	30.6	22.8	12.4	13.5	8.8	8.8	6.2	1.6	3.6	1.0	1.0
	一色小学校通学区	107	83.2	36.4	34.6	29.9	22.4	17.8	9.3	10.3	11.2	6.5	3.7	0.9	0.9	2.8
	山西小学校通学区	129	86.8	45.7	31.8	23.3	17.1	14.0	7.0	7.8	5.4	4.7	2.3	0.8	3.9	-

(4) 悩みや不安

問12 あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

悩みや不安は、「自分や家族の健康に関すること」が53.1%で特に多く、「家族の介護に関すること」、「生活費など経済的問題」が2割台となっている。「特にない」は25.1%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「自分や家族の健康に関すること」は50代以上で5割以上となっている。「生活費など経済的問題」は20代から50代で、「仕事に関すること」は20代から40代で、「家族の介護に関すること」は40代から60代で、「育児・子育てに関すること」は30代、40代で、「自分や家族の生活（進学、就職、結婚）上の問題」は40代で多くみられ、概ね30代から50代を中心に多様な悩みを抱えている様子がうかがえる。

居住地区別にみると、「自分や家族の健康に関すること」はすべての地区で特に多くなっている。「育児・子育てに関すること」は一色小学校通学区では二宮小学校通学区、山西小学校通学区の1割台に対して1.9%と少ない。

		調査数 (n)	自分や家族の健康に関すること (%)	家族の介護に関すること (%)	生活費など経済的問題 (%)	仕事に関すること (%)	進学・就職・結婚上の問題 (%)	自分や家族の生活（進学、就職、結婚）上の問題 (%)	育児・子育てに関すること (%)	近所との関係 (%)	家庭内の問題（ひきこもり、虐待、DV等） (%)	その他 (%)	特にない (%)	無回答 (%)
年代	合計	431	53.1	23.7	20.0	14.8	13.0	10.0	5.1	2.1	1.2	25.1	2.8	
	20代	31	45.2	6.5	29.0	45.2	16.1	6.5	-	-	-	3.2	22.6	-
	30代	58	37.9	17.2	25.9	24.1	12.1	41.4	5.2	1.7	1.7	27.6	-	
	40代	51	37.3	27.5	23.5	23.5	27.5	23.5	11.8	-	-	31.4	-	
	50代	73	52.1	34.2	28.8	15.1	11.0	2.7	-	-	2.7	31.5	1.4	
	60代	102	61.8	29.4	17.6	10.8	11.8	2.0	6.9	5.9	-	19.6	2.0	
	70代	64	59.4	18.8	10.9	1.6	9.4	1.6	3.1	1.6	1.6	28.1	3.1	
	80代以上	52	67.3	17.3	7.7	1.9	7.7	-	7.7	1.9	-	15.4	13.5	
居住地区	合計	431	53.1	23.7	20.0	14.8	13.0	10.0	5.1	2.1	1.2	25.1	2.8	
	二宮小学校通学区	193	52.8	25.9	19.7	16.6	13.5	11.4	5.2	2.1	-	23.3	1.0	
	一色小学校通学区	107	57.9	21.5	15.0	10.3	14.0	1.9	6.5	1.9	-	23.4	6.5	
	山西小学校通学区	129	49.6	22.5	24.0	16.3	11.6	14.7	3.9	2.3	3.9	29.5	2.3	

(5) 具体的な悩みや不安

問12で「特にない」以外の選択肢に○をつけた方

問12-1 悩みや不安を感じていることは、具体的にどんなことですか。

主なご意見は次の通りです。

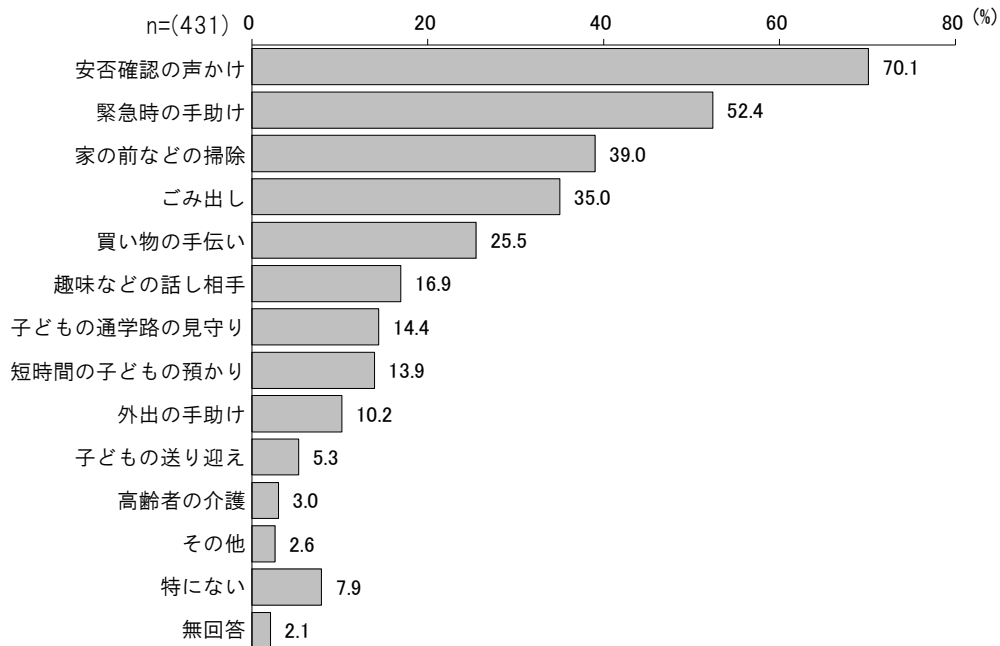
ご意見数：128件、延べご意見数：278件

主なご意見
1. 自分や家族の健康に関すること (延べ85件)
病気の事。
健康を保つのに老後に向かい不安を感じる。
2. 家族の介護に関すること (延べ43件)
両親の介護について。
家族それぞれ持病があるため。要介護2の親がいるため。
3. 仕事に関すること (延べ25件)
コロナ禍で就職出来ないこと。
仕事が忙しくて早く帰れない。
4. 生活費など経済的問題に関すること (延べ35件)
子供を育てながらフルタイムで働くのはきついけど働かないと生活が厳しいため余裕ができない。
経済面で給料が安くて、生活が苦しい。
5. 近所との関係に関すること (延べ6件)
近所の人に、付き合いづらい人がいる。自治会に入るメリットがわからない。
子供と高齢者の関わり方（公園で子供が遊べなくなっている、子供に文句をつける高齢者が目立っている等）。
6. 育児・子育てに関すること (延べ17件)
今後の子どもの発育に関すること。
子供が外で遊んでいて騒いでもしまったりすると、すぐ警察に通報されてしまう。外で遊ばせられない（庭など）。自分の家なのに、気を使わなければならない。すぐうるさい人がいてイヤ。
7. 自分や家族の生活（進学、就職、結婚）上の問題に関すること (延べ26件)
息子（37才）の未婚が心配。行政（町）で何かよい企画があればと思う。
これから息子にかかるお金が不安（習い事、進学）。まだまだ先ですが、あっという間にやってくると思うので。
8. その他 (延べ41件)
家が古くなったので修理したいがお金がない。
車がないと不便な場所なので（バス、昼は一時間に1本）、免許返納後の生活。

(6) 可能な支援

問13 隣近所に困っている人がいたときに、あなたはどのような手助けができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

可能な支援は、「安否確認の声かけ」が70.1%で最も多く、以下、「緊急時の手助け」が52.4%、「家の前などの掃除」、「ごみ出し」が3割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「安否確認の声かけ」は年代に関わらずできる手助けとして多くあげられ、特に30代から50代では7割以上となっている。「緊急時の手助け」もほとんどの年代で5割以上となっている。この他、「買い物の手伝い」、「ごみ出し」、「家の前などの掃除」なども多くの年代からあげられている。

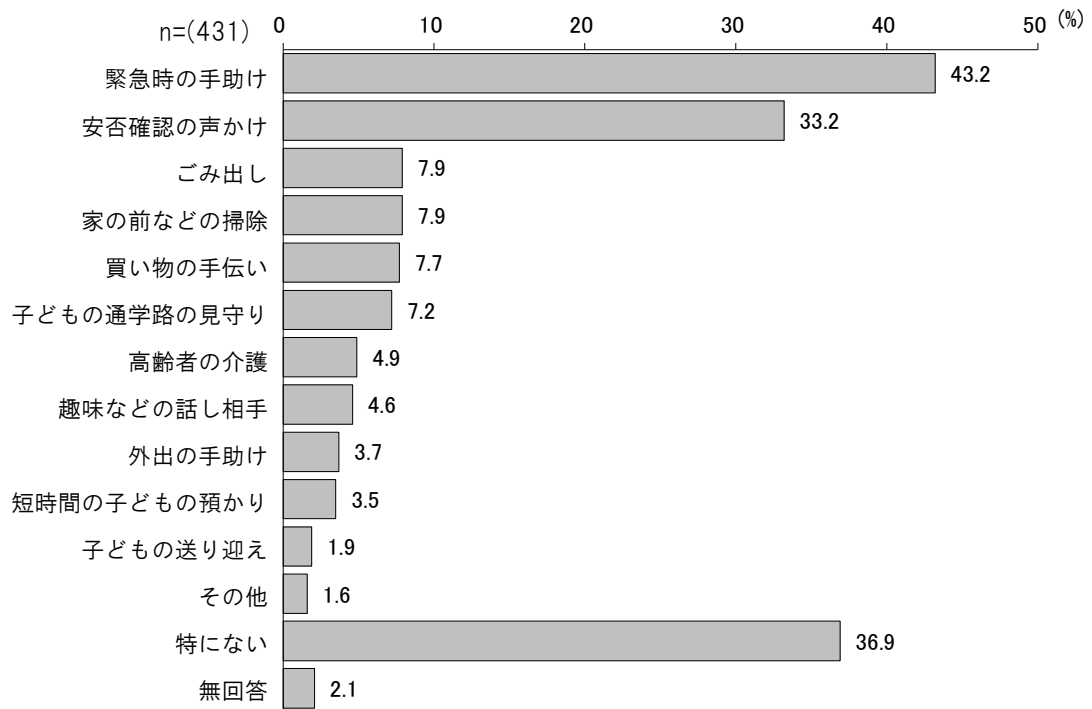
居住地区別にみると、すべての地区で「安否確認の声かけ」が6割以上、「緊急時の手助け」が4割以上、「家の前などの掃除」、「ごみ出し」が3割以上、「買い物の手伝い」が2割以上となっている。

		調査数 (n)	安否確認の声かけ	緊急時の手助け	家の前などの掃除	ごみ出し	買い物の手伝い	趣味などの話し相手	子どもの通学路の見守り	短時間の子どもの預かり	外出の手助け	子どもの送り迎え	高齢者の介護	その他	特にない	無回答
年代	合計	431	70.1	52.4	39.0	35.0	25.5	16.9	14.4	13.9	10.2	5.3	3.0	2.6	7.9	2.1
	20代	31	64.5	54.8	19.4	32.3	25.8	19.4	12.9	16.1	16.1	6.5	6.5	3.2	16.1	-
	30代	58	77.6	60.3	25.9	29.3	17.2	13.8	27.6	19.0	6.9	5.2	1.7	-	8.6	-
	40代	51	72.5	52.9	47.1	31.4	35.3	19.6	13.7	25.5	9.8	9.8	2.0	-	9.8	-
	50代	73	83.6	50.7	37.0	38.4	17.8	17.8	16.4	11.0	6.8	4.1	1.4	2.7	4.1	-
	60代	102	67.6	56.9	42.2	41.2	35.3	17.6	13.7	16.7	13.7	5.9	5.9	3.9	6.9	3.9
	70代	64	65.6	57.8	53.1	43.8	34.4	20.3	9.4	7.8	14.1	3.1	-	1.6	7.8	3.1
	80代以上	52	53.8	28.8	36.5	19.2	5.8	9.6	5.8	1.9	3.8	3.8	3.8	5.8	7.7	5.8
居住地区	合計	431	70.1	52.4	39.0	35.0	25.5	16.9	14.4	13.9	10.2	5.3	3.0	2.6	7.9	2.1
	二宮小学校通学区	193	71.0	48.7	40.4	33.7	25.4	15.5	16.1	14.5	9.3	5.7	2.6	2.1	10.4	2.1
	二色小学校通学区	107	64.5	51.4	40.2	35.5	25.2	20.6	15.0	11.2	12.1	3.7	3.7	5.6	8.4	2.8
	山西小学校通学区	129	73.6	59.7	34.9	36.4	26.4	16.3	11.6	15.5	10.1	6.2	3.1	0.8	3.9	1.6

(7) 必要な支援

問14 あなたやご家族が困っていることで、隣近所の人に手助けしてもらいたいことには、どのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

一方、必要な支援は、「緊急時の手助け」が43.2%で最も多く、これに「安否確認の声かけ」が33.2%で次いでいる。「特にない」は36.9%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、必要な支援においても可能な支援と同様に「緊急時の手助け」や「安否確認の声かけ」がすべての年代で多くなっている。「子どもの通学路の見守り」は20代から40代で、「買い物の手伝い」、「ごみ出し」は70代で他の年代より多くみられる。

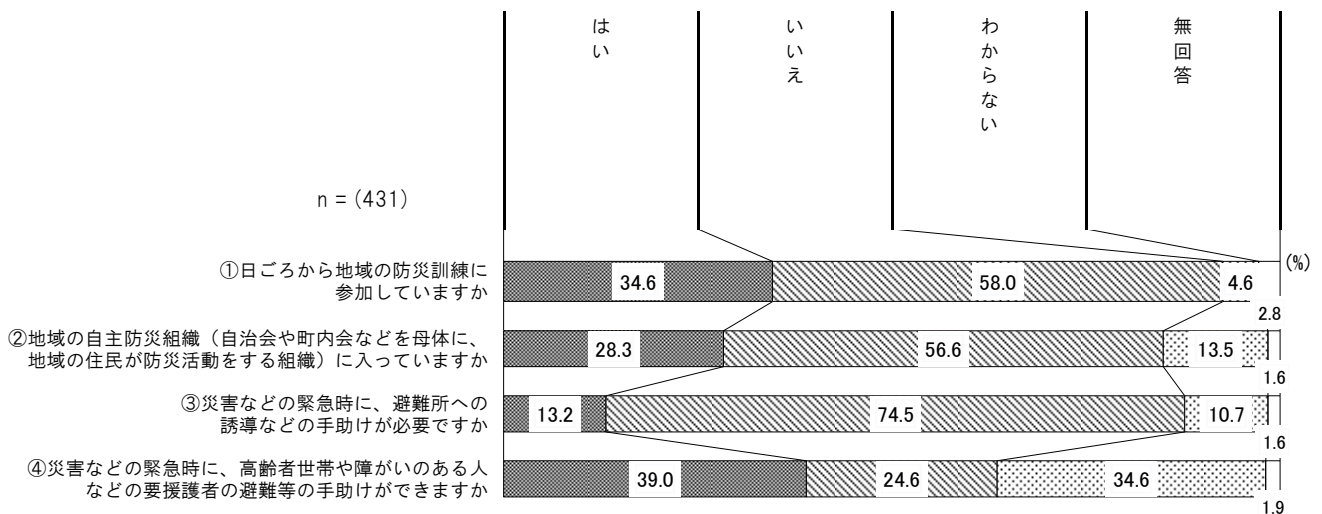
居住地区別にみると、「緊急時の手助け」や「安否確認の声かけ」がすべての地区で多くあげられている。

		調査数 (n)	緊急時の手助け	安否確認の声かけ	ごみ出し	家の前などの掃除	買い物の手伝い	子どもの通学路の見守り	高齢者の介護	趣味などの話し相手	外出の手助け	短時間の子どもの預かり	子どもの送り迎え	その他	特にない	無回答
年代	合計	431	43.2	33.2	7.9	7.9	7.7	7.2	4.9	4.6	3.7	3.5	1.9	1.6	36.9	2.1
	20代	31	51.6	32.3	6.5	3.2	9.7	12.9	6.5	3.2	6.5	6.5	3.2	-	35.5	-
	30代	58	46.6	41.4	3.4	8.6	1.7	27.6	3.4	5.2	1.7	13.8	3.4	-	32.8	-
	40代	51	43.1	35.3	9.8	11.8	9.8	13.7	3.9	5.9	3.9	7.8	7.8	2.0	29.4	2.0
	50代	73	37.0	38.4	2.7	4.1	2.7	1.4	2.7	8.2	1.4	-	-	2.7	46.6	-
	60代	102	44.1	26.5	8.8	7.8	6.9	1.0	6.9	5.9	3.9	1.0	-	2.0	43.1	1.0
	70代	64	45.3	31.3	14.1	7.8	15.6	1.6	6.3	1.6	6.3	-	1.6	1.6	35.9	1.6
	80代以上	52	38.5	30.8	9.6	11.5	9.6	1.9	3.8	-	3.8	-	-	1.9	25.0	11.5
居住地区	合計	431	43.2	33.2	7.9	7.9	7.7	7.2	4.9	4.6	3.7	3.5	1.9	1.6	36.9	2.1
	二宮小学校通学区	193	45.6	35.8	9.3	9.3	8.3	8.8	3.6	3.6	3.6	3.1	3.1	2.1	32.6	2.6
	二色小学校通学区	107	39.3	27.1	8.4	8.4	6.5	2.8	5.6	7.5	3.7	-	-	2.8	41.1	2.8
	山西小学校通学区	129	42.6	34.9	5.4	5.4	7.8	8.5	6.2	3.9	3.9	7.0	1.6	-	39.5	0.8

(8) 防災や災害時の取り組み

問15 あなたは防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応に関する以下の項目について、どのようにお考えですか。(それぞれひとつだけ○)

防災や災害時の取り組みは、④災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある人などの要援護者の避難等の手助けができる人（「はい」）が39.0%、①日ごろから地域の防災訓練に参加している人（「はい」）が34.6%、②地域の自主防災組織（自治会や町内会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織）に加入している人（「はい」）が28.3%となっている。③災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要な人（「はい」）は13.2%と少なくなっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

①防災訓練の参加状況

年代別にみると、防災訓練に参加している人（「はい」）は、40代以上で3割以上、特に60代、70代で4割台となっている。

居住地区別にみると、二宮小学校通学区と一色小学校通学区で3割以上が参加している。

		調査数 (n)	はい	いいえ	わからない	無回答
年代	合計	431	34.6	58.0	4.6	2.8
	20代	31	12.9	83.9	3.2	-
	30代	58	25.9	69.0	5.2	-
	40代	51	35.3	54.9	9.8	-
	50代	73	34.2	61.6	2.7	1.4
	60代	102	41.2	54.9	3.9	-
	70代	64	43.8	46.9	4.7	4.7
	80代以上	52	32.7	48.1	3.8	15.4
居住地区	合計	431	34.6	58.0	4.6	2.8
	二宮小学校通学区	193	38.3	56.0	4.1	1.6
	一色小学校通学区	107	35.5	56.1	4.7	3.7
	山西小学校通学区	129	27.9	62.8	5.4	3.9

②地域の自主防災組織への加入状況

年代別にみると、自主防災組織へ加入している人（「はい」）は、20代、30代では少ないが、40代以上で2割から3割台となっている。

居住地区別にみると、山西小学校通学区での加入者は32.6%と他の居住地区よりやや多くなっている。

(%)

		調査数 (n)	はい	いいえ	わからない	無回答
年代	合計	431	28.3	56.6	13.5	1.6
	20代	31	9.7	67.7	22.6	-
	30代	58	19.0	55.2	25.9	-
	40代	51	35.3	49.0	15.7	-
	50代	73	28.8	54.8	15.1	1.4
	60代	102	29.4	62.7	7.8	-
	70代	64	35.9	53.1	7.8	3.1
	80代以上	52	30.8	53.8	7.7	7.7
居住地区	合計	431	28.3	56.6	13.5	1.6
	二宮小学校通学区	193	26.4	57.5	16.1	-
	一色小学校通学区	107	26.2	57.0	13.1	3.7
	山西小学校通学区	129	32.6	55.0	10.1	2.3

③避難所への誘導などの手助けの必要性

年代別にみると、年代が高くなるほど手助けが必要とする人（「はい」）が多くなる傾向がみられ、80代以上で28.8%となっている。

居住地区別にみると、二宮小学校通学区で17.1%が必要としており、他の居住地区より多くなっている。

(%)

		調査数 (n)	はい	いいえ	わからない	無回答
年代	合計	431	13.2	74.5	10.7	1.6
	20代	31	6.5	83.9	9.7	-
	30代	58	5.2	74.1	20.7	-
	40代	51	5.9	82.4	11.8	-
	50代	73	8.2	84.9	6.8	-
	60代	102	16.7	75.5	7.8	-
	70代	64	17.2	73.4	6.3	3.1
	80代以上	52	28.8	46.2	15.4	9.6
居住地区	合計	431	13.2	74.5	10.7	1.6
	二宮小学校通学区	193	17.1	71.5	11.4	-
	一色小学校通学区	107	9.3	76.6	9.3	4.7
	山西小学校通学区	129	10.9	76.7	10.9	1.6

④要援護者の避難等の手伝い

年代別にみると、避難等の手伝いができる人（「はい」）は、70代まではできない人（「いいえ」）を上回っており、特に60代で51.0%と多く、50代、20代でも4割台となっている。

居住地区別にみると、手伝いができる人はすべての地区で4割前後となっている。

(%)

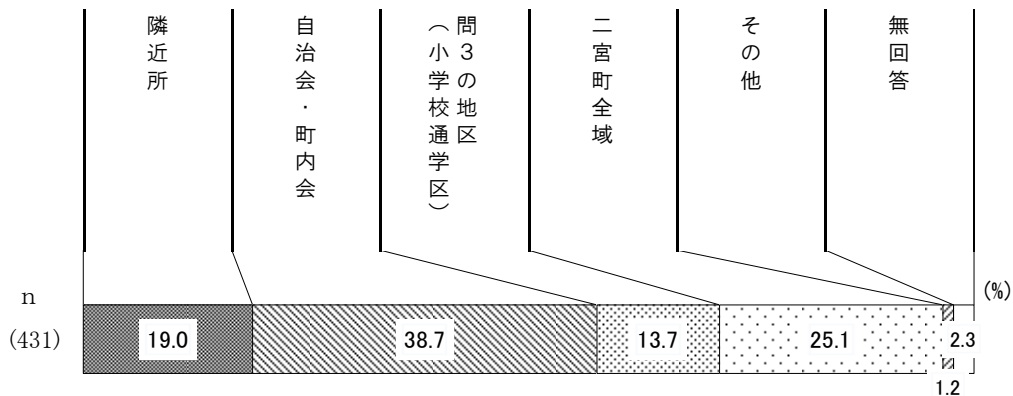
		調査数 (n)	はい	いいえ	わからない	無回答
年代	合計	431	39.0	24.6	34.6	1.9
	20代	31	45.2	22.6	32.3	-
	30代	58	31.0	24.1	44.8	-
	40代	51	31.4	25.5	43.1	-
	50代	73	46.6	19.2	34.2	-
	60代	102	51.0	15.7	33.3	-
	70代	64	39.1	20.3	34.4	6.3
	80代以上	52	17.3	55.8	19.2	7.7
居住地区	合計	431	39.0	24.6	34.6	1.9
	二宮小学校通学区	193	37.8	30.1	32.1	-
	一色小学校通学区	107	42.1	20.6	33.6	3.7
	山西小学校通学区	129	38.8	19.4	38.8	3.1

4. 地域の満足度について

(1) 地域の範囲

問16 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。(ひとつだけ○)

地域の範囲を「自治会・町内会」と考える人は38.7%となっており、「二宮町全域」が25.1%、「隣近所」、「問3の地区（小学校通学区）」が1割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「自治会・町内会」を地域と考える人は40代以上で多く、特に40代と80代以上で5割台となっている。20代、30代の若年層では「二宮町全域」とする人が4割台と他の年代より多くなっている。また、80代以上では「隣近所」も30.8%と他の年代より多くなっている。

居住地区別にみると、すべての地区で「自治会・町内会」が3割以上、「二宮町全域」で2割台となっている。

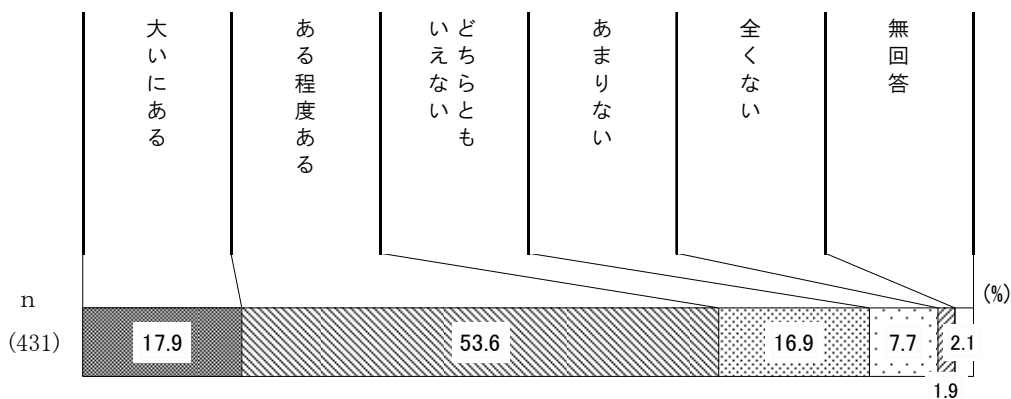
		調査数 (n)						(%)	
			隣近所	自治会・町内会	問3の地区 (小学校通学区)	二宮町全域	その他	無回答	
年代	合計	431	19.0	38.7	13.7	25.1	1.2	2.3	
	20代	31	16.1	12.9	25.8	45.2	-	-	
	30代	58	13.8	19.0	20.7	46.6	-	-	
	40代	51	9.8	56.9	3.9	29.4	-	-	
	50代	73	19.2	41.1	12.3	26.0	1.4	-	
	60代	102	22.5	36.3	18.6	17.6	2.0	2.9	
	70代	64	17.2	46.9	10.9	17.2	1.6	6.3	
	80代以上	52	30.8	50.0	3.8	7.7	1.9	5.8	
居住地区	合計	431	19.0	38.7	13.7	25.1	1.2	2.3	
	二宮小学校通学区	193	18.1	43.5	10.9	23.8	1.6	2.1	
	一色小学校通学区	107	24.3	31.8	16.8	22.4	1.9	2.8	
	山西小学校通学区	129	16.3	38.0	15.5	27.9	-	2.3	

(2) 地域への愛着

問17 あなたは、今住んでいる地域（問3で回答した地区）に愛着がありますか。

（ひとつだけ○）

地域への愛着は、「大いにある」人は17.9%、「ある程度ある」人は53.6%で両者をあわせた《愛着がある》人は71.5%となっている。《愛着がない》（「全くない」と「あまりない」の計）人は1割未満となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「大いにある」人と「ある程度ある」人の両者をあわせた《愛着がある》人ではすべての年代で5割以上となっており、特に60代以上では7割以上と多くなっている。

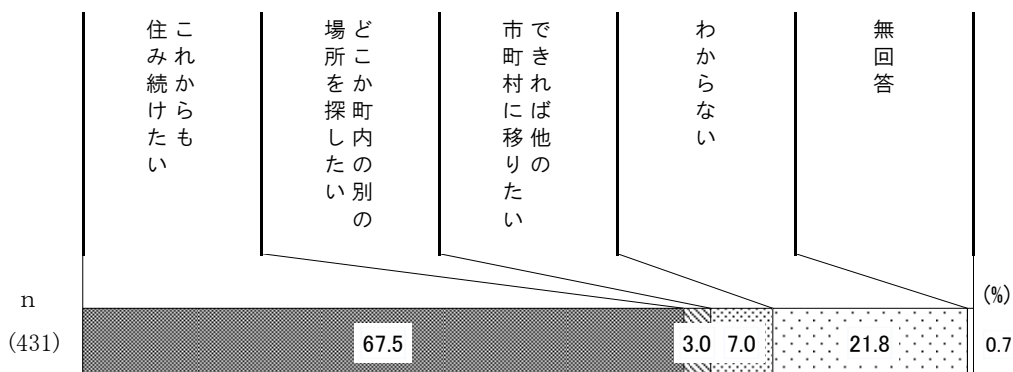
居住地区別にみると、《愛着がある》人ではすべての地区で6割以上となっている。

		調査数 (n)	大いにある	ある程度ある	どちらともいえない	あまりない	全くない	無回答
年代	合計	431	17.9	53.6	16.9	7.7	1.9	2.1
	20代	31	16.1	51.6	12.9	9.7	9.7	-
	30代	58	20.7	37.9	20.7	13.8	5.2	1.7
	40代	51	9.8	51.0	27.5	11.8	-	-
	50代	73	12.3	57.5	21.9	6.8	1.4	-
	60代	102	15.7	57.8	17.6	4.9	-	3.9
	70代	64	18.8	60.9	9.4	7.8	-	3.1
	80代以上	52	34.6	51.9	5.8	1.9	1.9	3.8
居住地区	合計	431	17.9	53.6	16.9	7.7	1.9	2.1
	二宮小学校通学区	193	21.2	52.8	16.6	7.3	1.6	0.5
	一色小学校通学区	107	17.8	56.1	12.1	7.5	2.8	3.7
	山西小学校通学区	129	12.4	52.7	21.7	8.5	1.6	3.1

(3) 二宮町での定住意向

問18 あなたは、これからも二宮町に住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ○)

二宮町での定住意向は、「これからも住み続けたい」と思う人が67.5%となっており、「どこか町内の別の場所を探したい」(3.0%)と思う人をあわせた《定住意向》がある人は70.5%となっている。「できれば他の市町村に移りたい」と思う人は1割未満となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、《定住意向》がある人は30代以上で半数を超え、70代以上では8割台を占めている。20代では「わからない」が45.2%と他の年代より多く、30代、50代でも3割台となっている。

居住地区別にみると、《定住意向》がある人は二宮小学校通学区、一色小学校通学区で7割台、山西小学校通学区でも67.4%となっている。

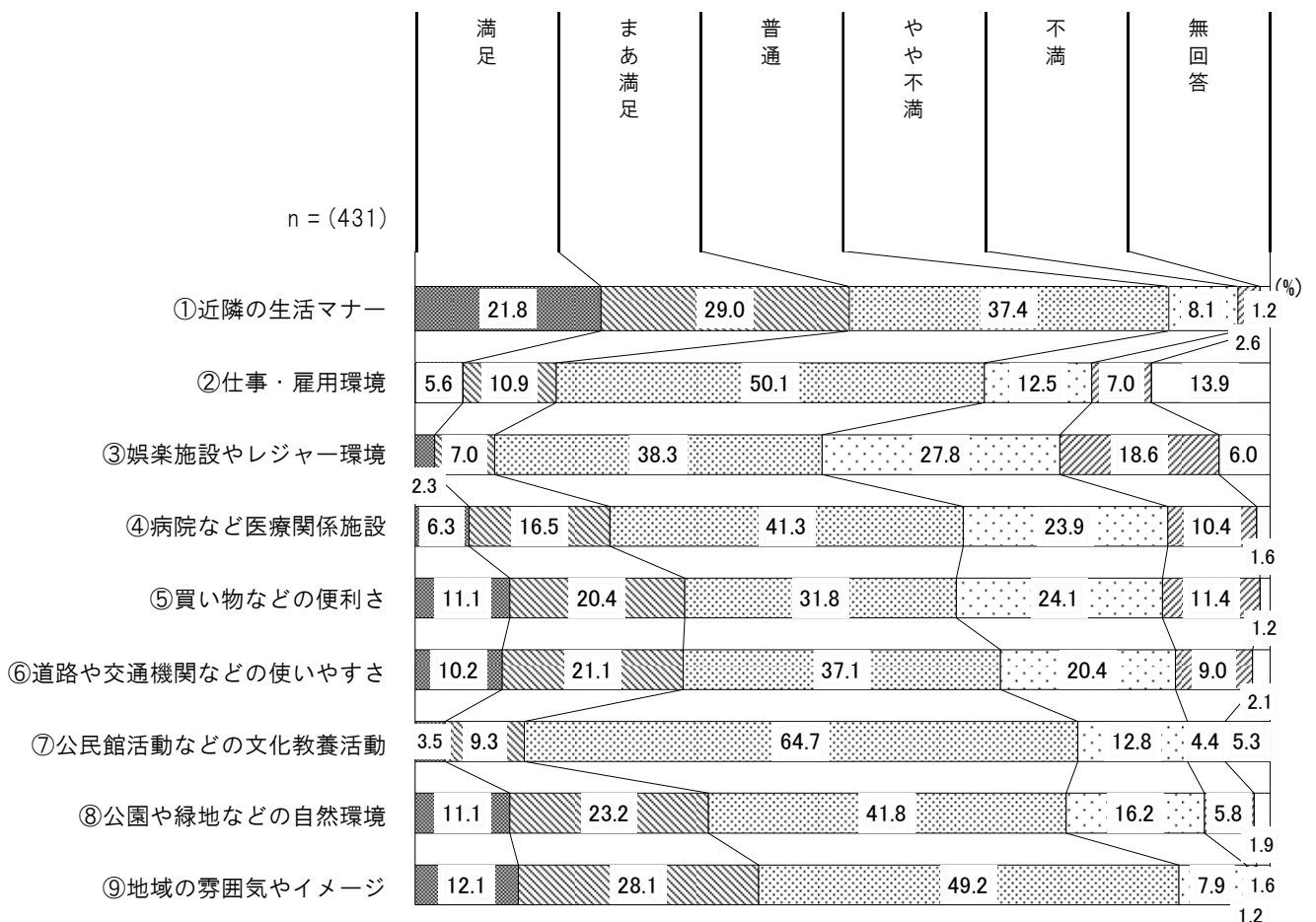
		調査数 (n)	これからも住み続けたい	探したい町内の別の場所を	移りたい市町村に	わからない	無回答
年代	合計	431	67.5	3.0	7.0	21.8	0.7
	20代	31	38.7	3.2	12.9	45.2	-
	30代	58	58.6	-	8.6	32.8	-
	40代	51	68.6	2.0	11.8	17.6	-
	50代	73	57.5	2.7	8.2	31.5	-
	60代	102	73.5	4.9	3.9	16.7	1.0
	70代	64	75.0	6.3	4.7	14.1	-
	80代以上	52	86.5	-	3.8	5.8	3.8
居住地区	合計	431	67.5	3.0	7.0	21.8	0.7
	二宮小学校通学区	193	66.8	4.7	6.2	21.8	0.5
	一色小学校通学区	107	72.0	0.9	5.6	21.5	-
	山西小学校通学区	129	65.1	2.3	9.3	21.7	1.6

(4) 居住地区の暮らしやすさ

問19 あなたが現在住んでいる地域（問3で回答した地区）の暮らしやすさはいかがですか。
（それぞれひとつだけ○）

居住地区の暮らしやすさを9項目に分けて聞いた。「満足」は“①近隣の生活マナー”が21.8%と他の項目より多くなっている。「まあ満足」をあわせた《満足》でみると、“①近隣の生活マナー”が50.8%、“⑨地域の雰囲気やイメージ”が40.2%、“⑧公園や緑地などの自然環境”、“⑤買い物などの便利さ”、“⑥道路や交通機関などの使いやすさ”が3割台となっている。

《不満》（「不満」と「やや不満」の計）は“③娯楽施設やレジャー環境”が46.4%、“⑤買い物などの便利さ”、“④病院など医療関係施設”が3割台となっている。この他《不満》は“②仕事・雇用環境”、“⑦公民館活動などの文化教養活動”では1割台であるが、《満足》より多くなっている。



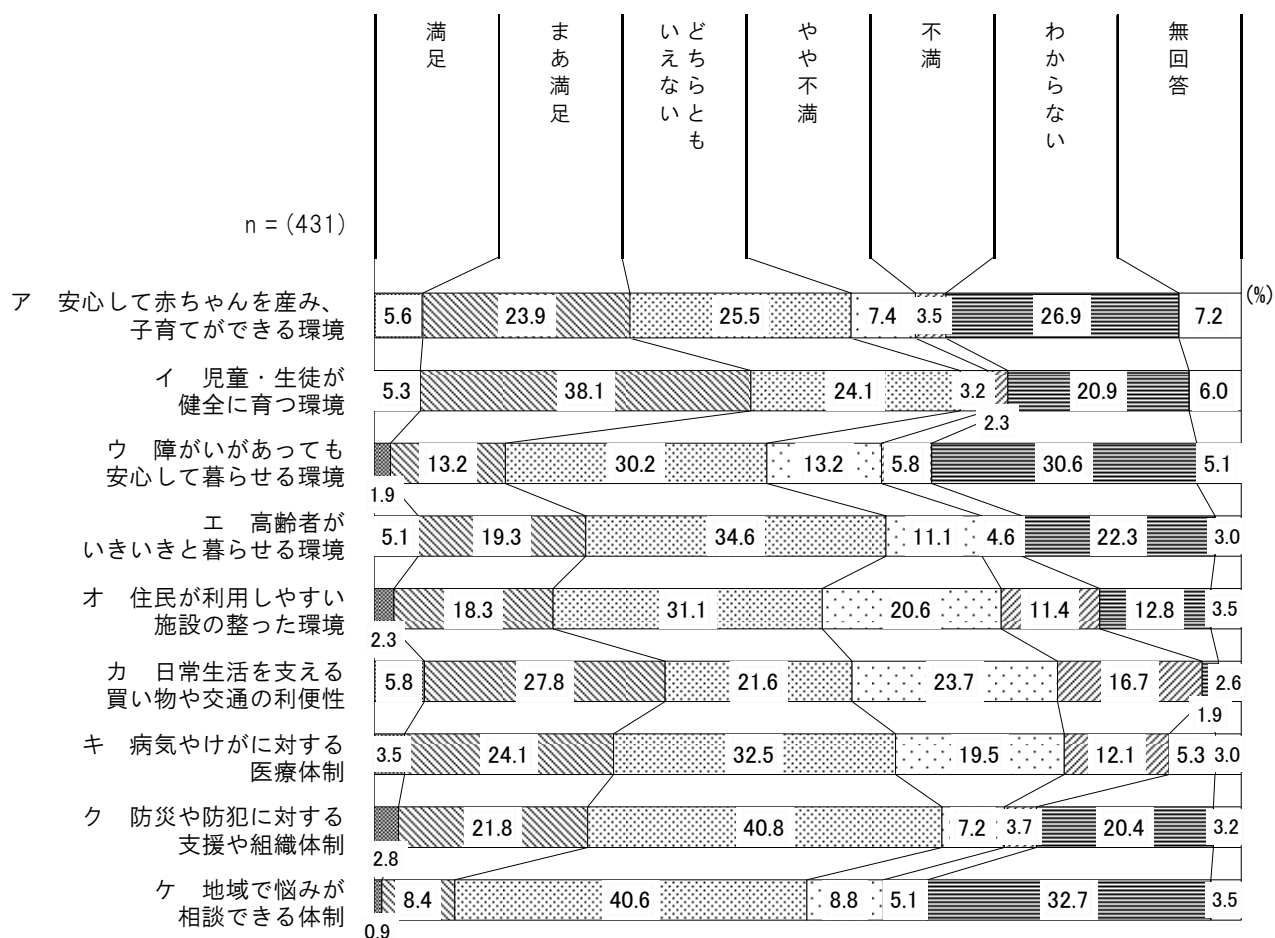
(5) 居住地区の満足度と重要度

問20 あなたは、お住まいの地域（問3で回答した地区）で、以下の項目についてどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。（それぞれひとつだけ○）

居住地区の満足度を9項目に分けて聞いた。「満足」はいずれの項目も1割未満となっているが、「まあ満足」をあわせた《満足》でみると、「イ 児童・生徒が健全に育つ環境」が43.4%、「カ 日常生活を支える買い物や交通の利便性」が33.6%、「ア 安心して赤ちゃんを産み、子育てができる環境」、「キ 病気やけがに対する医療体制」、「ク 防災や防犯に対する支援や組織体制」、「エ 高齢者がいきいきと暮らせる環境」、「オ 住民が利用しやすい施設の整った環境」が2割台となっている。

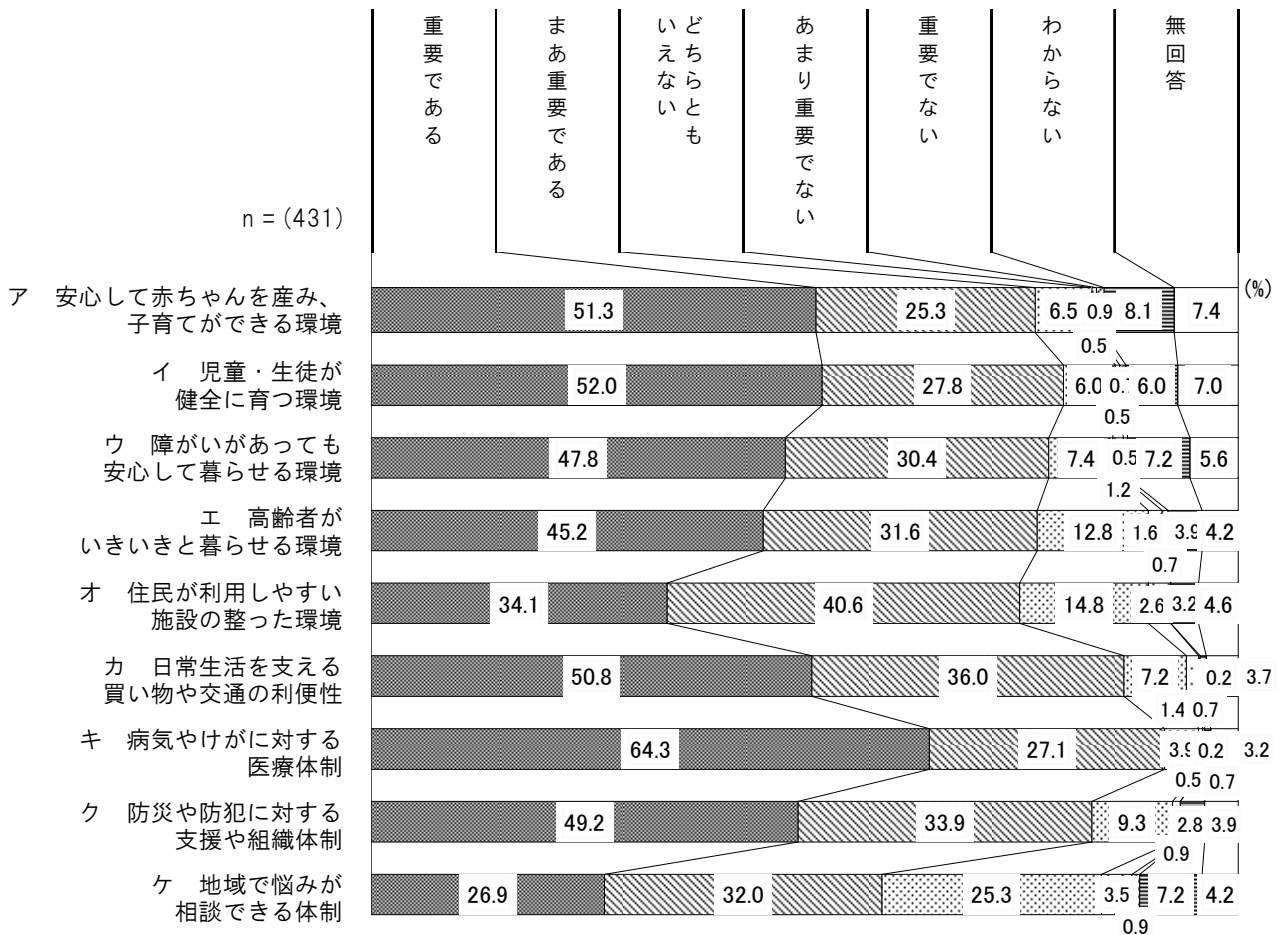
《不満》（「不満」と「やや不満」の計）では、「カ 日常生活を支える買い物や交通の利便性」が40.4%、「オ 住民が利用しやすい施設の整った環境」と「キ 病気やけがに対する医療体制」が3割台で《満足》を上回っている。《不満》はこの他、「ウ 障がいがあっても安心して暮らせる環境」、「ケ 地域で悩みが相談できる体制」が1割台であるが、《満足》を上回っている。

満足度



地域の重要度を9項目に分けて聞いた。「重要である」はほとんどの項目で4割以上となる一方、「重要でない」(「重要でない」と「あまり重要でない」の計)はいずれの項目も1割未満となっており、いずれの項目も重要であるという意識が高くなっている。その中でも「重要である」と「まあ重要である」をあわせた「重要である」で見ると特に“キ 病気やけがに対する医療体制”や“カ 日常生活を支える買い物や交通の利便性”、“ク 防災や防犯に対する支援や組織体制”では8割を占めている。

重要度

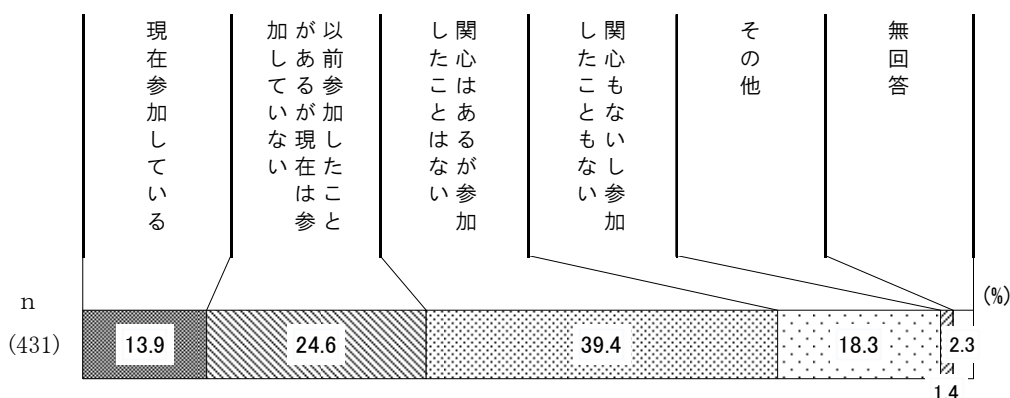


5. 地域活動やボランティア活動などについて

(1) 地域の支援活動への参加状況

問21 あなたは、地域活動、ボランティア活動や地域住民に対する各種の支援活動について、参加していますか。(ひとつだけ○)

各種支援活動への参加状況は、「現在参加している」人が13.9%、「以前参加したことがあるが現在は参加していない」人が24.6%で両者をあわせた《参加経験あり》は38.5%となっている。「関心もないし参加したこともない」人は18.3%、「関心はあるが参加したことはない」人は39.4%で両者をあわせた《参加経験なし》は57.7%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「現在参加している」人は70代で26.6%と他の年代より多くなっている。《参加経験あり》では、50代以上の参加経験が多く、70代で53.2%、80代以上で48.0%、50代、60代で4割前後となっている。《参加経験なし》は40代までの年代で7割台と多く、以降、年代が高くなるにつれて少なくなる。

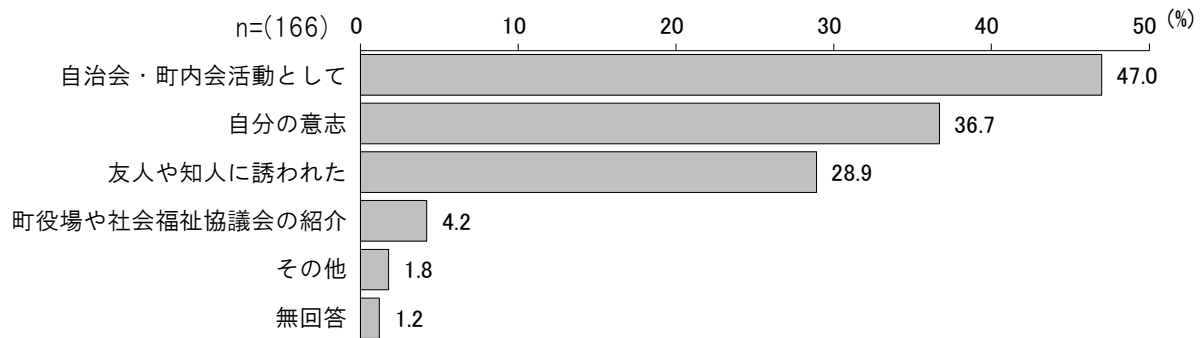
居住地区別にみると、すべての地区で《参加経験あり》は3割以上、《参加経験なし》は5割以上となっている。

		調査数 (n)	現在参加している	以前参加したことがあるが現在は参加していない	関心はあるが参加したことはない	関心もないし参加したこともない	その他	無回答
年代	合計	431	13.9	24.6	39.4	18.3	1.4	2.3
	20代	31	9.7	19.4	35.5	35.5	-	-
	30代	58	13.8	10.3	39.7	36.2	-	-
	40代	51	9.8	17.6	49.0	21.6	2.0	-
	50代	73	8.2	31.5	46.6	12.3	1.4	-
	60代	102	14.7	25.5	40.2	16.7	1.0	2.0
	70代	64	26.6	26.6	29.7	10.9	3.1	3.1
	80代以上	52	11.5	36.5	32.7	5.8	1.9	11.5
居住地区	合計	431	13.9	24.6	39.4	18.3	1.4	2.3
	二宮小学校通学区	193	12.4	26.9	38.9	18.7	1.0	2.1
	一色小学校通学区	107	14.0	26.2	37.4	15.9	2.8	3.7
	山西小学校通学区	129	16.3	20.2	41.9	19.4	0.8	1.6

(2) 参加したきっかけ

問21で「現在参加している」「以前参加したことがあるが現在は参加していない」を選んだ方
問21-1 参加したきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

参加したきっかけは、「自治会・町内会活動として」が47.0%で最も多く、以下、「自分の意志」は36.7%、「友人や知人に誘われた」は28.9%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、回答者数が少ないため参考程度となるが、全体の傾向と同様に、すべての年代で「自治会・町内会活動として」、「自分の意志」、「友人や知人に誘われた」が上位にあげられている。

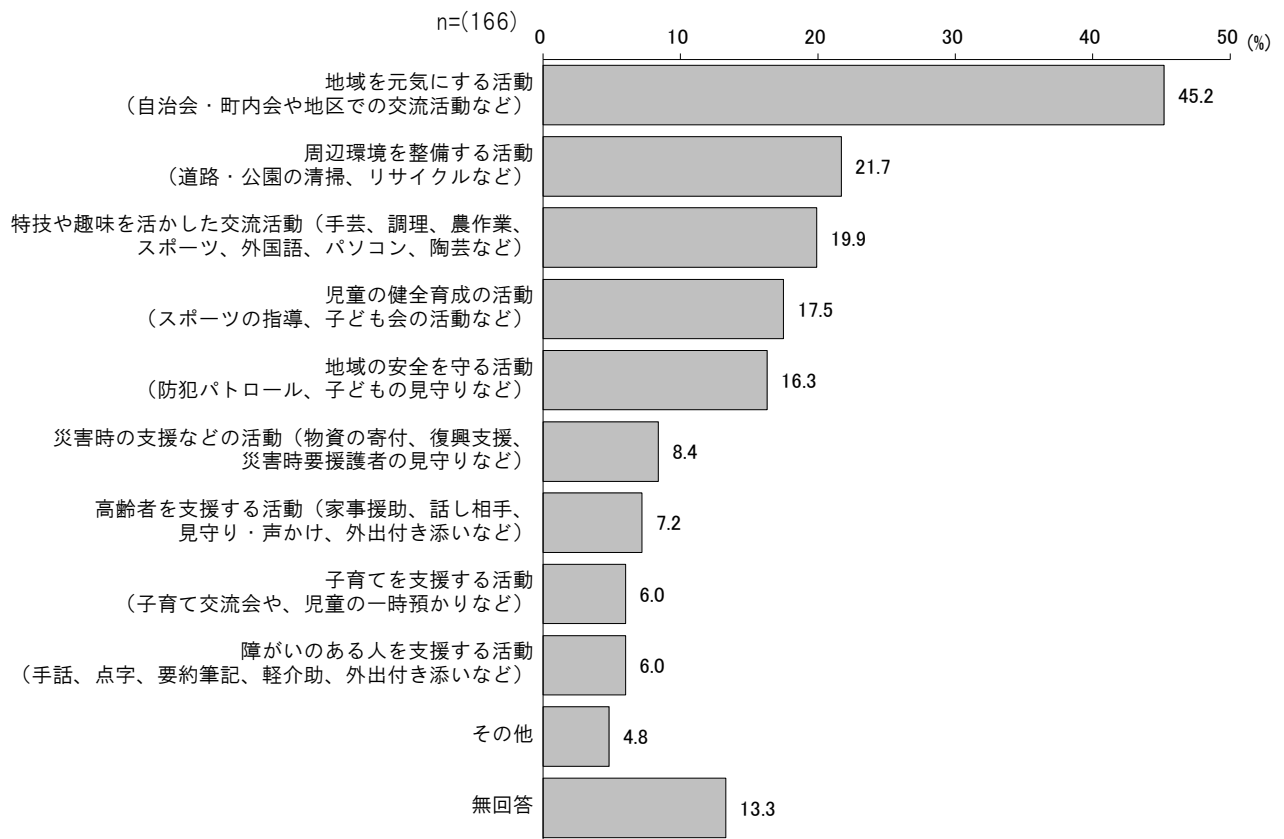
居住地区別にみると、「自治会・町内会活動として」はすべての地区で4割以上となっており、特に二宮小学校通学区では50.0%となっている。「自分の意志」はすべての地区で3割台となっている。

		調査数 (n)	自治会・町内会活動として (%)	自分の意志 (%)	友人や知人に誘われた (%)	町役場や社会福祉協議会の紹介 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
年代	合計	166	47.0	36.7	28.9	4.2	1.8	1.2
	20代	9	33.3	44.4	44.4	-	11.1	-
	30代	14	28.6	42.9	28.6	-	-	-
	40代	14	64.3	21.4	28.6	-	-	-
	50代	29	58.6	24.1	24.1	-	3.4	3.4
	60代	41	46.3	36.6	31.7	2.4	2.4	-
	70代	34	35.3	47.1	35.3	11.8	-	2.9
	80代以上	25	56.0	40.0	16.0	8.0	-	-
居住地区	合計	166	47.0	36.7	28.9	4.2	1.8	1.2
	二宮小学校通学区	76	50.0	39.5	26.3	2.6	3.9	-
	一色小学校通学区	43	44.2	32.6	32.6	4.7	-	2.3
	山西小学校通学区	47	44.7	36.2	29.8	6.4	-	2.1

(3) 参加している活動内容

問21で「現在参加している」「以前参加したことがあるが現在は参加していない」を選んだ方
 問21-2 あなたは現在どんな活動に参加していますか。または参加していましたか。
 (あてはまるものすべてに○)

参加している活動内容は、「地域を元気にする活動（自治会・町内会や地区での交流活動など）」が45.2%で特に多く、以下、「周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）」、「特技や趣味を活かした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など）」が2割前後となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、回答者数が少ないため参考程度となるが、「地域を元気にする活動（自治会・町内会や地区での交流活動など）」が年代を通じて多くあげられている。

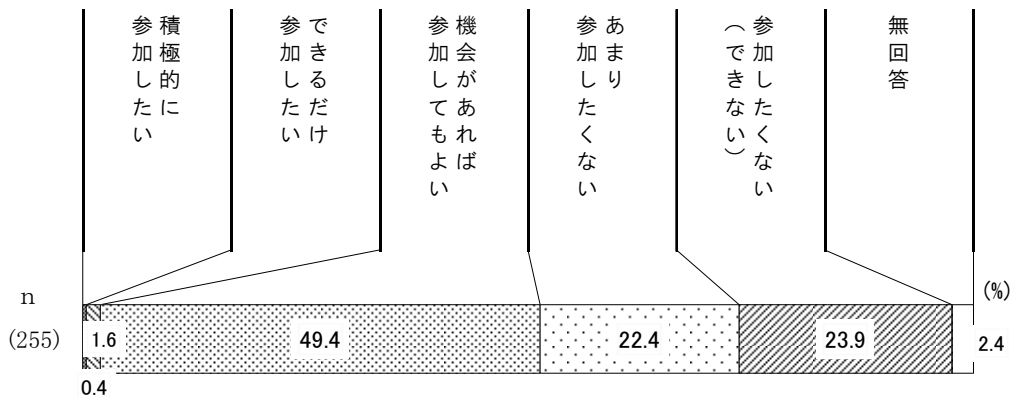
居住地区別にみると、「地域を元気にする活動（自治会・町内会や地区での交流活動など）」はすべての地区で3割以上となっており、特に山西小学校通学区では55.3%となっている。山西小学校通学区ではこの他、「児童の健全育成活動（スポーツの指導、子ども会の活動など）」、「子育てを支援する活動（子育て交流会や、児童の一時預かりなど）」も他の居住地区より多くなっている。

		調査数 (n)	地域を元気にする活動 (自治会・町内会や地区での交流活動など)	周辺環境を整備する活動 (道路・公園の清掃、リサイクルなど)	芸術・趣味を活かした交流活動 (手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など)	児童の健全育成の活動 (スポーツの指導、子ども会の活動など)	地域の安全を守る活動 (防犯パトロール、子どもの見守りなど)	災害時の支援などの活動 (物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど)	話し相手、見守り・声かけ、外出付き添いなど)	高齢者を支援する活動 (家事援助、会や、児童の一時預かりなど)	子育てを支援する活動 (子育て交流会)	障がいのある人を支援する活動 (手話、点字、要約筆記、軽介助、外出付き添いなど)	その他	無回答
年代	合計	166	45.2	21.7	19.9	17.5	16.3	8.4	7.2	6.0	6.0	4.8	13.3	
	20代	9	33.3	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	-	-	11.1	
	30代	14	21.4	14.3	21.4	14.3	21.4	-	-	14.3	-	14.3	14.3	
	40代	14	64.3	21.4	14.3	42.9	35.7	28.6	-	7.1	7.1	-	7.1	
	50代	29	48.3	6.9	10.3	27.6	17.2	6.9	-	6.9	3.4	10.3	17.2	
	60代	41	43.9	14.6	19.5	17.1	7.3	4.9	7.3	4.9	12.2	-	19.5	
	70代	34	55.9	26.5	20.6	5.9	11.8	8.8	11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	
	80代以上	25	36.0	44.0	32.0	8.0	24.0	8.0	16.0	-	-	-	4.0	12.0
居住地区	合計	166	45.2	21.7	19.9	17.5	16.3	8.4	7.2	6.0	6.0	4.8	13.3	
	二宮小学校通学区	76	43.4	21.1	14.5	15.8	15.8	6.6	6.6	3.9	6.6	6.6	15.8	
	一色小学校通学区	43	37.2	25.6	23.3	14.0	14.0	11.6	9.3	4.7	7.0	2.3	14.0	
	山西小学校通学区	47	55.3	19.1	25.5	23.4	19.1	8.5	6.4	10.6	4.3	4.3	8.5	

(4) 支援活動への参加意向

問22 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域住民に対する各種の支援活動に、どの程度参加していきたいと考えていますか。(ひとつだけ○)

支援活動への参加意向は、「積極的に参加したい」と思う人や「できるだけ参加したい」と思う人が1割未満であるが、「機会があれば参加してもよい」(49.4%)と思う人をあわせた《参加意向》がある人は51.4%となっている。「参加したくない(できない)」と思う人や「あまり参加したくない」と思う人は2割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、《参加意向》がある人は20代と80代以上を除き5割以上となっている。

居住地区別にみると、《参加意向》がある人は山西小学校通学区と二宮小学校通学区で5割台となっている。「参加したくない(できない)」と思う人や「あまり参加したくない」と思う人の合計は、一色小学校通学区で55.0%となっている。

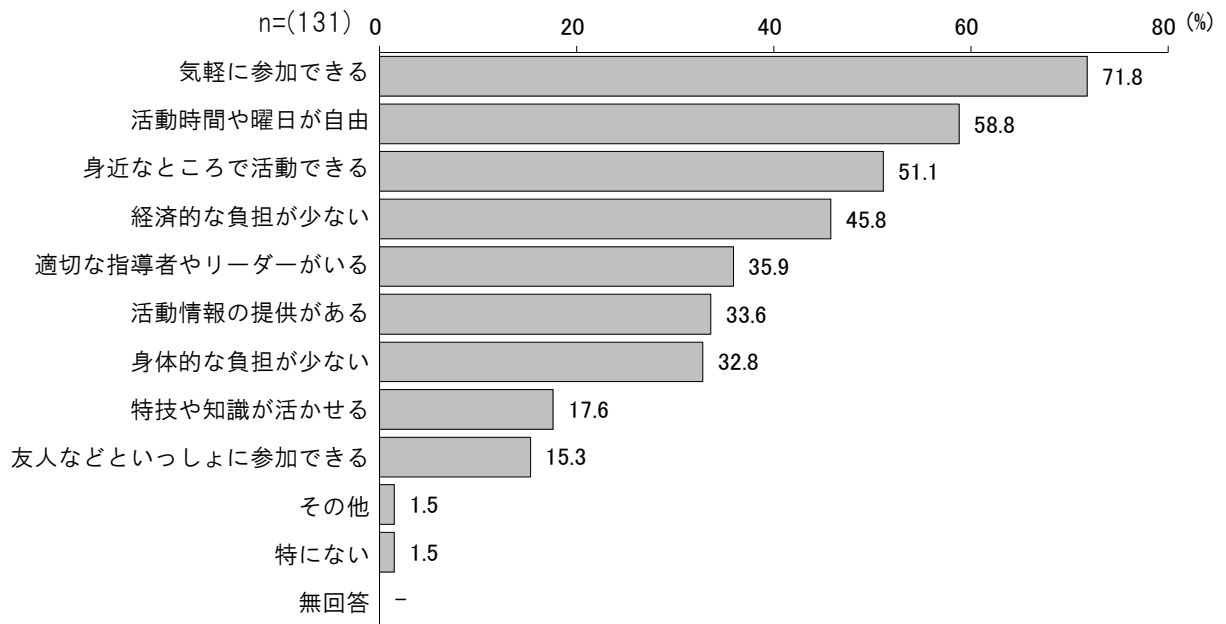
		調査数 (n)	積極的に参加したい	できるだけ参加したい	機会があれば参加してもよい	あまり参加したくない	参加したくない(できない)	無回答
年代	合計	255	0.4	1.6	49.4	22.4	23.9	2.4
	20代	22	-	-	40.9	13.6	40.9	4.5
	30代	44	2.3	4.5	47.7	25.0	20.5	-
	40代	37	-	-	59.5	10.8	18.9	10.8
	50代	44	-	2.3	56.8	27.3	13.6	-
	60代	59	-	1.7	52.5	27.1	16.9	1.7
	70代	28	-	-	53.6	14.3	32.1	-
	80代以上	21	-	-	14.3	33.3	52.4	-
居住地区	合計	255	0.4	1.6	49.4	22.4	23.9	2.4
	二宮小学校通学区	113	0.9	-	49.6	21.2	25.7	2.7
	一色小学校通学区	60	-	1.7	41.7	21.7	33.3	1.7
	山西小学校通学区	80	-	3.8	55.0	23.8	15.0	2.5

(5) 参加条件

問22で「積極的に参加したい」「できるだけ参加したい」「機会があれば参加してもよい」を選んだ方

問22-1 どのような条件であれば、参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

参加条件は、「気軽に参加できる」が71.8%で最も多く、以下、「活動時間や曜日が自由」、「身近なところで活動できる」が5割台、「経済的な負担が少ない」が4割台、「適切な指導者やリーダーがいる」、「活動情報の提供がある」、「身体的な負担が少ない」が3割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、回答者数が少ないため参考程度となるが、全体の傾向と同様に、ほとんどの年代で「気軽に参加できる」、「活動時間や曜日が自由」、「身近なところで活動できる」、「経済的な負担が少ない」などが多くあげられている。

居住地区別にみると、「気軽に参加できる」は二宮小学校通学区、山西小学校通学区で7割台と多いが、一色小学区通学区では46.2%となっている。すべての地区で「活動時間や曜日が自由」が5割台、「経済的な負担が少ない」が4割台となっている。「身近なところで活動できる」は山西小学校通学区で61.7%、二宮小学校通学区で50.9%、一色小学校通学区で34.6%と居住地区による違いがみられる。

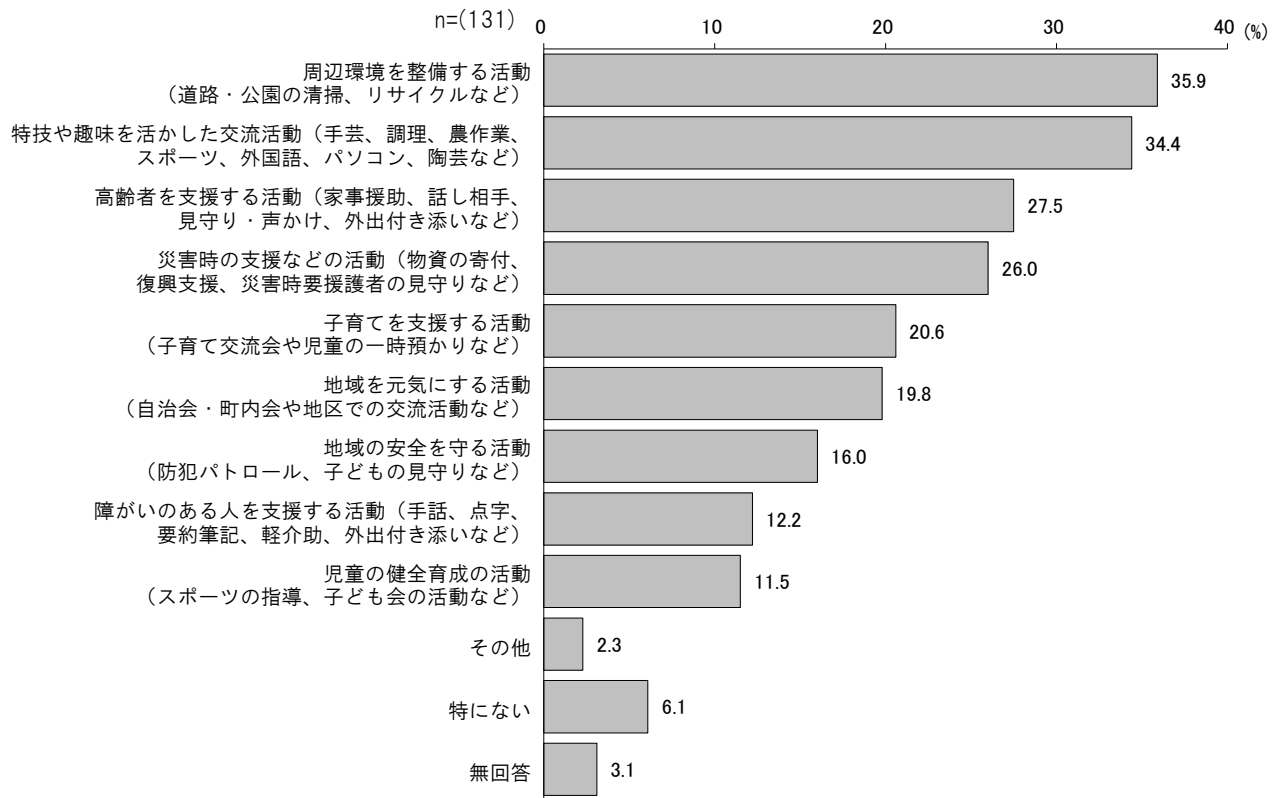
		調査数 (n)	気軽に 参加できる	活動時間 や曜日が 自由	身近な ところで 活動 できる	経済的 な負担が 少ない	適切な 指導者 やリー ダー	活動 情報の 提供が ある	身体 的な負 担が少 ない	特技 や知識 が活か せる	友人 などと いつし よに 参加 できる	その他	特 に ない	無 回 答
年代	合計	131	71.8	58.8	51.1	45.8	35.9	33.6	32.8	17.6	15.3	1.5	1.5	-
	20代	9	88.9	55.6	33.3	44.4	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	-	-	-
	30代	24	75.0	62.5	75.0	58.3	25.0	41.7	12.5	20.8	20.8	-	-	-
	40代	22	86.4	63.6	63.6	50.0	63.6	31.8	9.1	22.7	18.2	-	-	-
	50代	26	76.9	61.5	46.2	38.5	26.9	38.5	42.3	19.2	11.5	-	-	-
	60代	32	62.5	65.6	43.8	53.1	34.4	31.3	59.4	18.8	6.3	6.3	-	-
	70代	15	46.7	40.0	33.3	26.7	40.0	26.7	33.3	-	26.7	-	13.3	-
	80代以上	3	66.7	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
居住 地区	合計	131	71.8	58.8	51.1	45.8	35.9	33.6	32.8	17.6	15.3	1.5	1.5	-
	二宮小学校通学区	57	78.9	59.6	50.9	43.9	35.1	28.1	21.1	17.5	14.0	1.8	-	-
	一色小学校通学区	26	46.2	53.8	34.6	46.2	42.3	34.6	50.0	19.2	11.5	3.8	7.7	-
	山西小学校通学区	47	78.7	59.6	61.7	48.9	34.0	40.4	38.3	17.0	19.1	-	-	-

(6) 参加してみたい支援活動

問22で「積極的に参加したい」「できるだけ参加したい」「機会があれば参加してもよい」を選んだ方

問22-2 あなたが今後参加してみたい地域活動やボランティア活動、地域住民に対する各種支援活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

参加してみたい支援活動は、「周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）」（35.9%）、「特技や趣味を活かした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など）」（34.4%）が僅差で多く、以下、「高齢者を支援する活動（家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出付き添いなど）」、「災害時の支援などの活動（物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど）」、「子育てを支援する活動（子育て交流会や児童の一時預かりなど）」が2割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、回答者数が少ないため参考程度となるが、全体の傾向と同様に、上位項目である「周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）」や「特技や趣味を活かした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など）」などが概ね多くなっている。

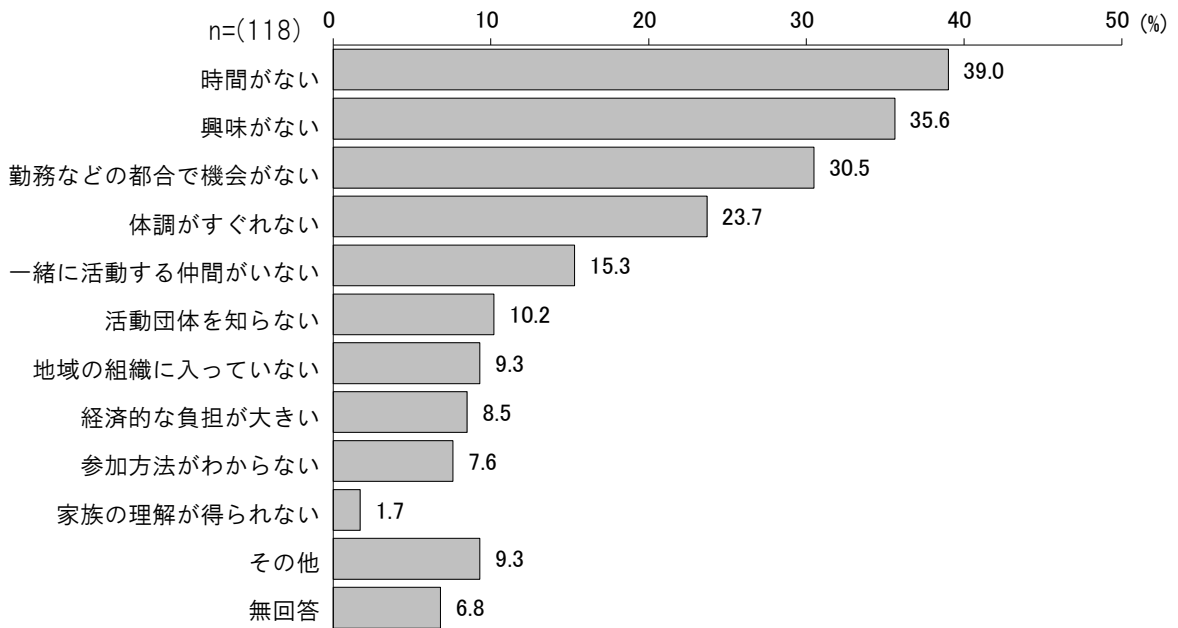
居住地区別にみると、二宮小学校通学区では「子育てを支援する活動（子育て交流会や児童の一時預かりなど）」、「地域の安全を守る活動（防犯パトロール、子どもの見守りなど）」が他の居住地区より多くなっている。

		調査数 (n)	周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）	特技や趣味を活かした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など）	高齢者を支援する活動（家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出付き添いなど）	災害時の支援などの活動（物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど）	子育てを支援する活動（子育て交流会や児童の一時預かりなど）	地域を元気にする活動（自治会・町内会や地区での交流活動など）	地域の安全を守る活動（防犯パトロール、子どもの見守りなど）	障がいのある人を支援する活動（手話、点字、要約筆記、軽介助、外出付き添いなど）	児童の健全育成の活動（スポーツの指導、子ども会の活動など）	その他	特になし	無回答
年代	合計	131	35.9	34.4	27.5	26.0	20.6	19.8	16.0	12.2	11.5	2.3	6.1	3.1
	20代	9	44.4	33.3	33.3	44.4	22.2	11.1	11.1	22.2	22.2	-	11.1	-
	30代	24	45.8	37.5	25.0	29.2	50.0	25.0	25.0	12.5	29.2	-	4.2	4.2
	40代	22	50.0	22.7	31.8	36.4	22.7	27.3	13.6	9.1	9.1	4.5	-	-
	50代	26	38.5	30.8	34.6	19.2	3.8	15.4	15.4	23.1	3.8	3.8	11.5	-
	60代	32	28.1	46.9	25.0	28.1	15.6	21.9	9.4	6.3	6.3	3.1	3.1	6.3
	70代	15	13.3	26.7	13.3	6.7	13.3	13.3	20.0	6.7	6.7	-	13.3	6.7
	80代以上	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-
居住地区	合計	131	35.9	34.4	27.5	26.0	20.6	19.8	16.0	12.2	11.5	2.3	6.1	3.1
	二宮小学校通学区	57	38.6	28.1	28.1	26.3	28.1	19.3	22.8	15.8	15.8	5.3	8.8	3.5
	一色小学校通学区	26	23.1	46.2	19.2	26.9	11.5	15.4	11.5	7.7	-	-	3.8	3.8
	山西小学校通学区	47	38.3	36.2	31.9	25.5	17.0	23.4	10.6	10.6	12.8	-	4.3	2.1

(7) 参加できない理由

問22で「あまり参加したくない」「参加したくない(できない)」を選んだ方
 問22-3 参加したくない・できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

参加できない理由は、「時間がない」、「興味がない」、「勤務などの都合で機会がない」が3割台で多く、これに「体調がすぐれない」が23.7%で次いでいる。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、回答者数が少ないため参考となるが、「興味がない」は20代で75.0%と高くなっており、年代が上がるにつれて減少する傾向となっている。

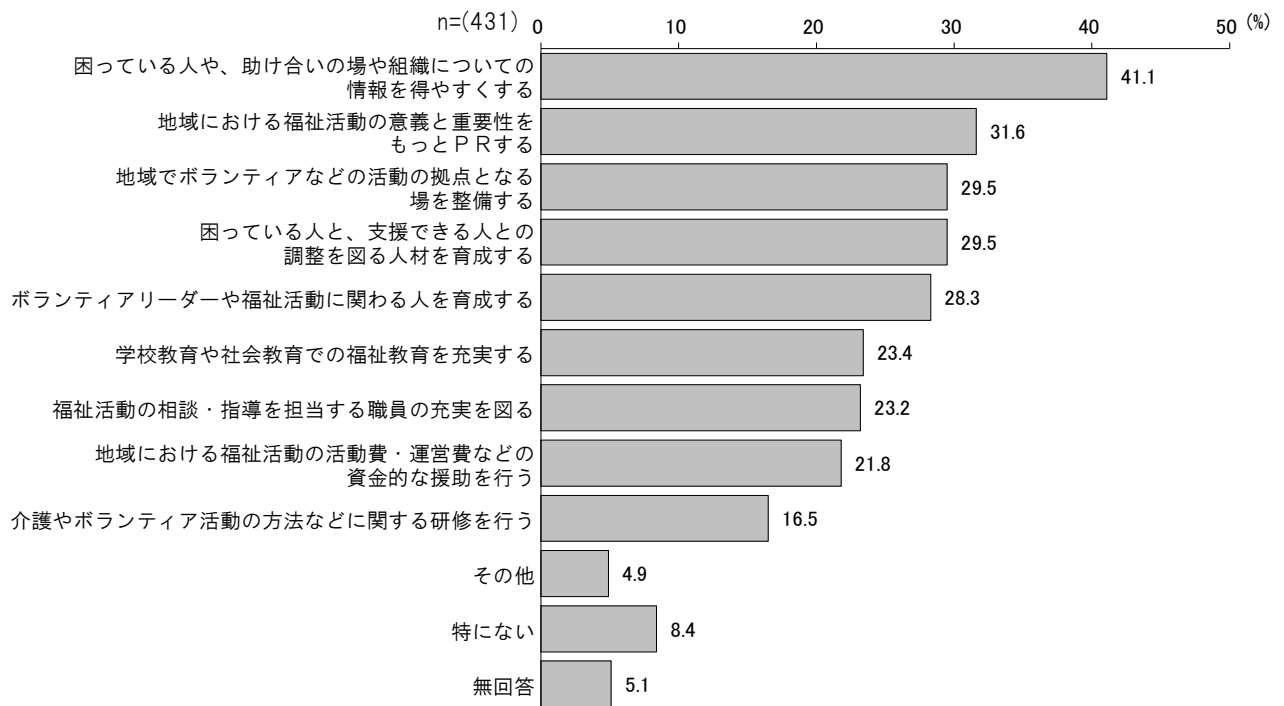
居住地区別にみると、「時間がない」はすべての地区で3割以上となっており、特に山西小学校通学区では45.2%となっている。「興味がない」は二宮小学校通学区で26.4%、一色小学校通学区で36.4%、山西小学校通学区で48.4%と居住地区による違いがみられる。

		調査数 (n)	時間がない	興味がない	勤務などの都合で機会がない	体調がすぐれない	一緒に活動する仲間がいない	活動団体を知らない	地域の組織に入っていない	経済的な負担が大きい	参加方法がわからない	家族の理解が得られない	その他	無回答
年代	合計	118	39.0	35.6	30.5	23.7	15.3	10.2	9.3	8.5	7.6	1.7	9.3	6.8
	20代	12	58.3	75.0	25.0	8.3	16.7	25.0	8.3	-	25.0	-	-	-
	30代	20	60.0	40.0	40.0	-	10.0	5.0	10.0	-	10.0	-	25.0	10.0
	40代	11	54.5	36.4	63.6	-	18.2	27.3	9.1	36.4	18.2	18.2	-	-
	50代	18	55.6	27.8	55.6	11.1	22.2	16.7	16.7	11.1	5.6	-	5.6	-
	60代	26	34.6	34.6	30.8	26.9	15.4	7.7	7.7	11.5	-	-	7.7	11.5
	70代	13	15.4	23.1	-	46.2	23.1	-	15.4	-	7.7	-	15.4	-
	80代以上	18	-	22.2	-	66.7	5.6	-	-	5.6	-	-	5.6	16.7
居住地区	合計	118	39.0	35.6	30.5	23.7	15.3	10.2	9.3	8.5	7.6	1.7	9.3	6.8
	二宮小学校通学区	53	37.7	26.4	34.0	20.8	15.1	13.2	9.4	11.3	9.4	3.8	11.3	7.5
	一色小学校通学区	33	36.4	36.4	24.2	33.3	15.2	6.1	12.1	9.1	3.0	-	6.1	6.1
	山西小学校通学区	31	45.2	48.4	32.3	19.4	16.1	9.7	6.5	3.2	9.7	-	9.7	6.5

(8) 支援活動を活発にするために重要なこと

問23 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

支援活動を活発にするために重要なことは、「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が41.1%で最も多く、以下、「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」、「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」と「困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する」、「ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する」が3割前後となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」は30代、40代で5割台、60代、70代でも4割台となっている。「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」は70代と20代で4割前後、「地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う」は20代と60代で3割前後と他の年代より多くなっている。

居住地区別にみると、山西小学校通学区では「ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する」が35.7%、「介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う」が23.3%と他の居住地区より多くなっている。一色小学校通学区では「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が37.4%と多くなっているが、それ以外のすべての項目において、他の居住地区と比較して少なくなっている。

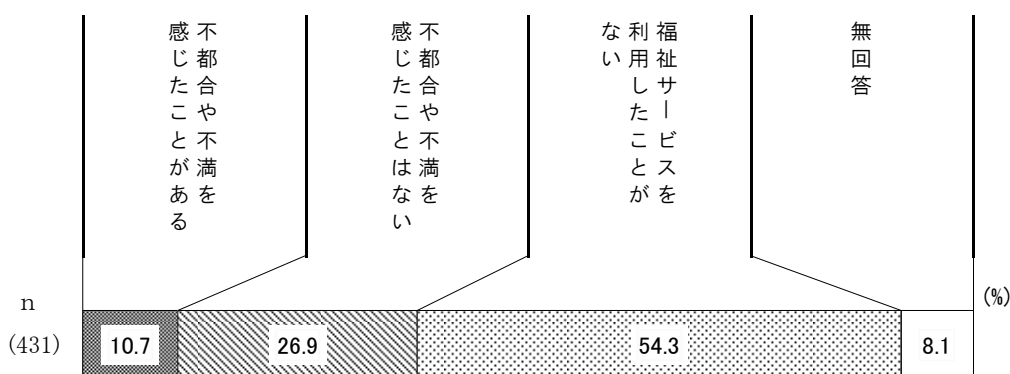
		調査数 (n)	困っている人や、 組織についての情報 を得やすくする	地域における福祉活 動の意義と重要性を もっとPRする	地域でボランティア などの活動の拠点と なる場を整備する	困っている人と、支 援できる人との調整を 図る人材を育成する	ボラン ティア リーダ ーや福 祉活動 に関わ る人を 育成す る	学校教 育や社 会教育 での福 祉教育 を充実 する	福祉活 動の相 談・指 導を担 当する 職員の 充実を 図る	地域に おける 福祉活 動の資 金的な 援助を 行う・ 運営費 などの 活動費 を行う	介護や ボラン ティア 活動の 方法に 関する 研修を 行う	その他	特にな い	無回 答
年代	合計	431	41.1	31.6	29.5	29.5	28.3	23.4	23.2	21.8	16.5	4.9	8.4	5.1
	20代	31	38.7	38.7	32.3	35.5	16.1	35.5	16.1	32.3	12.9	6.5	9.7	-
	30代	58	51.7	34.5	31.0	34.5	20.7	31.0	22.4	20.7	15.5	8.6	6.9	3.4
	40代	51	52.9	27.5	31.4	31.4	29.4	27.5	23.5	15.7	2.0	9.8	-	
	50代	73	32.9	31.5	24.7	20.5	23.3	21.9	24.7	15.1	11.0	6.8	1.4	
	60代	102	44.1	31.4	36.3	36.3	41.2	20.6	24.5	28.4	24.5	2.0	3.9	6.9
	70代	64	46.9	40.6	28.1	29.7	29.7	23.4	23.4	12.5	17.2	3.1	9.4	6.3
	80代以上	52	17.3	17.3	19.2	17.3	21.2	9.6	23.1	9.6	5.8	1.9	17.3	15.4
居住地区	合計	431	41.1	31.6	29.5	29.5	28.3	23.4	23.2	21.8	16.5	4.9	8.4	5.1
	二宮小学校通学区	193	40.9	25.9	33.2	32.1	25.4	23.3	24.9	24.9	15.5	6.2	9.8	4.1
	一色小学校通学区	107	34.6	37.4	28.0	19.6	25.2	19.6	17.8	18.7	10.3	4.7	9.3	8.4
	山西小学校通学区	129	46.5	35.7	25.6	34.1	35.7	27.1	25.6	20.2	23.3	3.1	4.7	3.9

6. 福祉サービスなどについて

(1) 福祉サービス利用時に感じた不都合・不満

問24 あなたやあなたのご家族は、これまで「福祉サービス」を利用する際に、不都合を感じたことや不満に思ったことはありますか。(ひとつだけ○)

福祉サービス利用時に感じた不都合・不満は、「不都合や不満を感じたことがある」人が10.7%、「不都合や不満を感じたことはない」人が26.9%となっている。「福祉サービスを利用したことがない」人は54.3%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「不都合や不満を感じたことがある」人は30代で22.4%と他の年代より多くなっている。「不都合や不満を感じたことはない」人はすべての年代で2割以上となっている。

居住地区別にみると、「不都合や不満を感じたことがある」人は二宮小学校通学区で13.5%と他の居住地区より多くなっている。

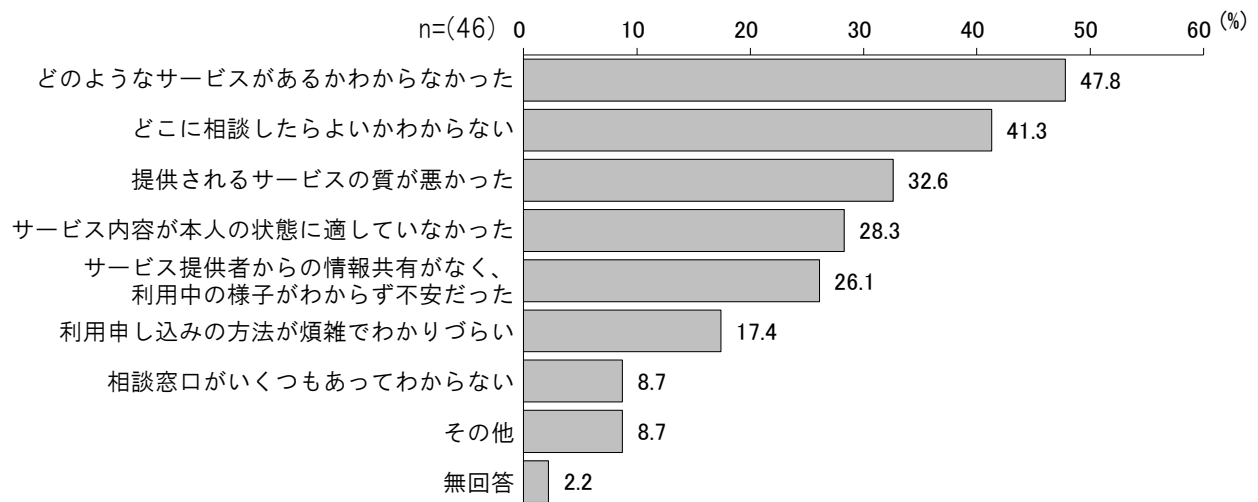
		調査数 (n)	不都合や不満を感じたことがある (%)	不都合や不満を感じたことはない (%)	福祉サービスを利用したことがない (%)	無回答 (%)
年代	合計	431	10.7	26.9	54.3	8.1
	20代	31	6.5	22.6	71.0	-
	30代	58	22.4	25.9	41.4	10.3
	40代	51	11.8	29.4	51.0	7.8
	50代	73	8.2	23.3	65.8	2.7
	60代	102	12.7	30.4	51.0	5.9
	70代	64	3.1	28.1	62.5	6.3
	80代以上	52	7.7	25.0	42.3	25.0
居住地区	合計	431	10.7	26.9	54.3	8.1
	二宮小学校通学区	193	13.5	27.5	47.7	11.4
	一色小学校通学区	107	7.5	22.4	65.4	4.7
	山西小学校通学区	129	9.3	30.2	54.3	6.2

(2) 福祉サービスに対する不都合・不満の内容

問24で「不都合や不満を感じたことがある」を選んだ方

問24-1 「福祉サービス」のどのようなことに不都合を感じたり不満に思ったりしましたか。
(あてはまるものすべてに○)

福祉サービスに対する不都合、不満の内容は、「どのようなサービスがあるかわからなかった」が47.8%で最も多く、以下、「どこに相談したらよいかわからない」が41.3%、「提供されるサービスの質が悪かった」が32.6%、「サービス内容が本人の状態に適していなかった」が28.3%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

※年代別、居住地区別は回答者数が少ないため、表を参考とする。

		調査数 (n)	どのようなサービスがあるか	どこに相談したらよいか	提供されるサービスの質が悪かった	サービス内容が本人の状態に適していなかった	共有がなく、不安だった	サービス提供者からの情報共有が	利用申し込みの方法が煩雑で	相談窓口がいくつもあって	その他	無回答
年代	合計	46	47.8	41.3	32.6	28.3	26.1	17.4	8.7	8.7	2.2	
	20代	2	100.0	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	
	30代	13	15.4	30.8	23.1	30.8	38.5	15.4	-	23.1	-	
	40代	6	50.0	50.0	16.7	50.0	16.7	16.7	-	-	-	
	50代	6	33.3	50.0	50.0	50.0	33.3	33.3	16.7	-	-	
	60代	13	61.5	53.8	46.2	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	-	
	70代	2	100.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	
	80代以上	4	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
居住地区	合計	46	47.8	41.3	32.6	28.3	26.1	17.4	8.7	8.7	2.2	
	二宮小学校通学区	26	53.8	42.3	42.3	19.2	38.5	19.2	11.5	3.8	3.8	
	一色小学校通学区	8	62.5	50.0	25.0	37.5	12.5	25.0	-	-	-	
	山西小学校通学区	12	25.0	33.3	16.7	41.7	8.3	8.3	8.3	25.0	-	

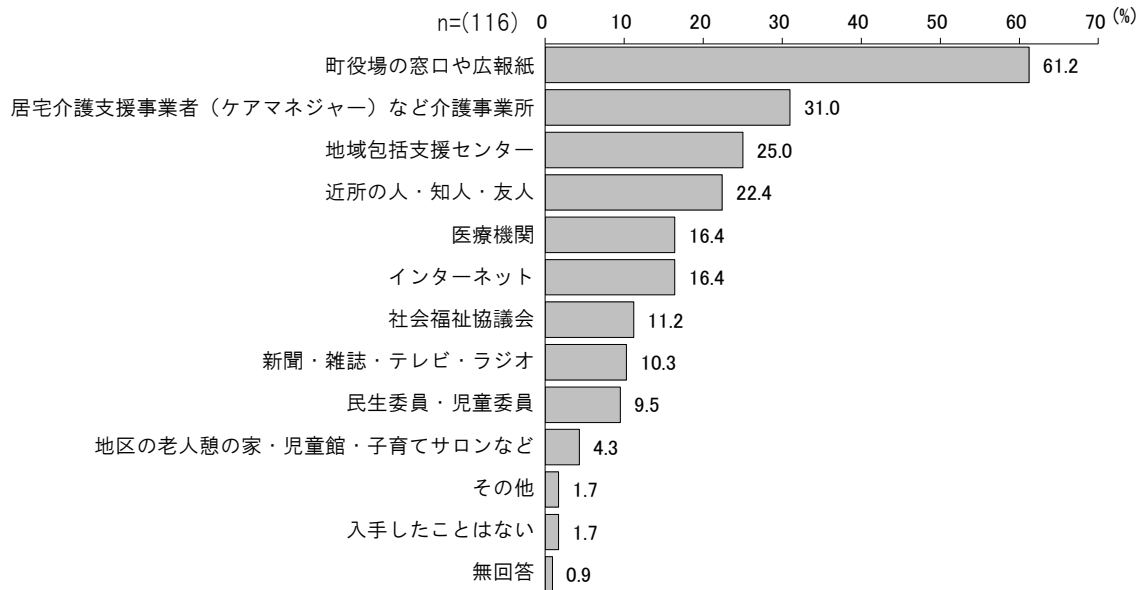
(3) 福祉サービスに関する情報の入手先

問24で「不都合や不満を感じたことはない」を選んだ方

問24-2 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

福祉サービスに関する情報の入手先は、「町役場の窓口や広報紙」が61.2%で最も多く、以下、「居宅介護支援事業者（ケアマネジャー）など介護事業所」が31.0%、「地域包括支援センター」、「近所の人・知人・友人」が2割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、回答者数が少ないため、表を参考とする。

居住地区別にみると、「町役場の窓口や広報紙」はすべての地区で5割以上となっており、特に二宮小学校通学区では66.0%となっている。「地域包括支援センター」は山西小学校通学区で33.3%、「インターネット」は二宮小学校通学区で20.8%と他の居住地区より多くなっている。

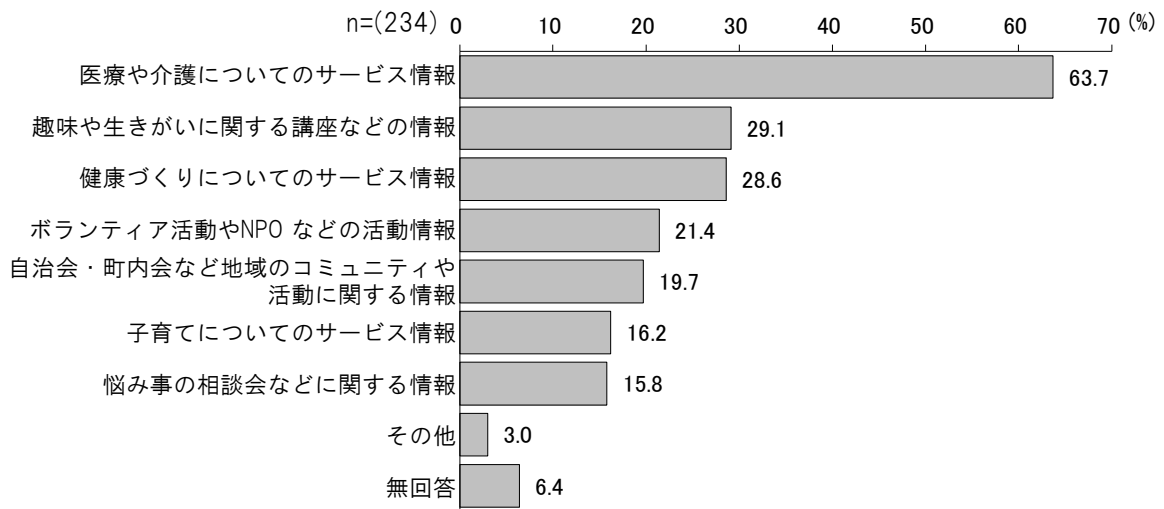
	調査数 (n)	割合 (%)													
		町役場の窓口や広報紙	居宅介護支援事業者（ケアマネジャー）など介護事業所	地域包括支援センター	近所の人・知人・友人	医療機関	インターネット	社会福祉協議会	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	民生委員・児童委員	地区の老人憩の家・児童館・子育てサロンなど	その他	入手したことはない	無回答	
年代	合計	116	61.2	31.0	25.0	22.4	16.4	16.4	11.2	10.3	9.5	4.3	1.7	1.7	0.9
	20代	7	57.1	14.3	28.6	57.1	14.3	14.3	-	-	28.6	-	-	-	-
	30代	15	93.3	-	-	26.7	-	26.7	-	-	-	6.7	-	6.7	-
	40代	15	73.3	6.7	-	33.3	13.3	33.3	-	6.7	6.7	13.3	6.7	-	-
	50代	17	58.8	58.8	29.4	29.4	17.6	17.6	23.5	5.9	11.8	-	5.9	-	-
	60代	31	58.1	45.2	38.7	12.9	32.3	16.1	12.9	16.1	6.5	-	-	3.2	-
	70代	18	44.4	27.8	33.3	16.7	16.7	5.6	11.1	22.2	11.1	-	-	-	-
	80代以上	13	46.2	38.5	30.8	7.7	-	-	15.4	7.7	15.4	15.4	-	-	7.7
居住地区	合計	116	61.2	31.0	25.0	22.4	16.4	16.4	11.2	10.3	9.5	4.3	1.7	1.7	0.9
	二宮小学校通学区	53	66.0	20.8	20.8	24.5	13.2	20.8	11.3	3.8	7.5	3.8	3.8	1.9	-
	一色小学校通学区	24	58.3	41.7	20.8	12.5	25.0	12.5	8.3	25.0	12.5	4.2	-	-	4.2
	山西小学校通学区	39	56.4	38.5	33.3	25.6	15.4	12.8	12.8	10.3	10.3	5.1	-	2.6	-

(4) 充実してほしい福祉サービスの情報

問24で「福祉サービスを利用したことがない」を選んだ方

問24-3 「福祉サービス」について、どのような情報を知りたい、またはどのような情報を充実してほしいと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

充実してほしい福祉サービスの情報は、「医療や介護についてのサービス情報」が63.7%と特に多く、以下、「趣味や生きがいに関する講座などの情報」、「健康づくりについてのサービス情報」、「ボランティア活動やNPOなどの活動情報」が2割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、回答者数が少ないため参考程度となるが、「医療や介護についてのサービス情報」はすべての年代で5割以上、特に60代では75.0%となっている。

居住地区別にみると、「医療や介護についてのサービス情報」はすべての地区で6割台となっている。「健康づくりについてのサービス情報」は二宮小学校通学区で35.9%、「自治会・町内会など地域のコミュニティや活動に関する情報」は一色小学校通学区で25.7%、「子育てについてのサービス情報」は山西小学校通学区で22.9%と他の居住地区より多くなっている。

		調査数 (n)	医療や介護についてのサービス情報 (%)	趣味や生きがいに関する講座などの情報 (%)	健康づくりについてのサービス情報 (%)	NPOボランティアなどの活動情報 (%)	自治会・町内会など地域のコミュニティや活動に関する情報 (%)	子育てについてのサービス情報 (%)	悩み事の相談会などに関する情報 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
年代	合計	234	63.7	29.1	28.6	21.4	19.7	16.2	15.8	3.0	6.4
	20代	22	50.0	40.9	18.2	22.7	9.1	36.4	9.1	4.5	-
	30代	24	50.0	29.2	25.0	29.2	33.3	62.5	20.8	-	8.3
	40代	26	69.2	38.5	23.1	23.1	26.9	26.9	30.8	-	-
	50代	48	66.7	25.0	18.8	16.7	10.4	-	10.4	8.3	10.4
	60代	52	75.0	30.8	36.5	32.7	21.2	13.5	13.5	1.9	1.9
	70代	40	57.5	25.0	37.5	17.5	22.5	2.5	12.5	2.5	12.5
	80代以上	22	63.6	18.2	36.4	-	18.2	-	22.7	-	9.1
居住地区	合計	234	63.7	29.1	28.6	21.4	19.7	16.2	15.8	3.0	6.4
	二宮小学校通学区	92	63.0	26.1	35.9	20.7	17.4	14.1	14.1	2.2	3.3
	一色小学校通学区	70	62.9	31.4	27.1	18.6	25.7	11.4	15.7	5.7	8.6
	山西小学校通学区	70	64.3	31.4	21.4	24.3	17.1	22.9	17.1	1.4	8.6

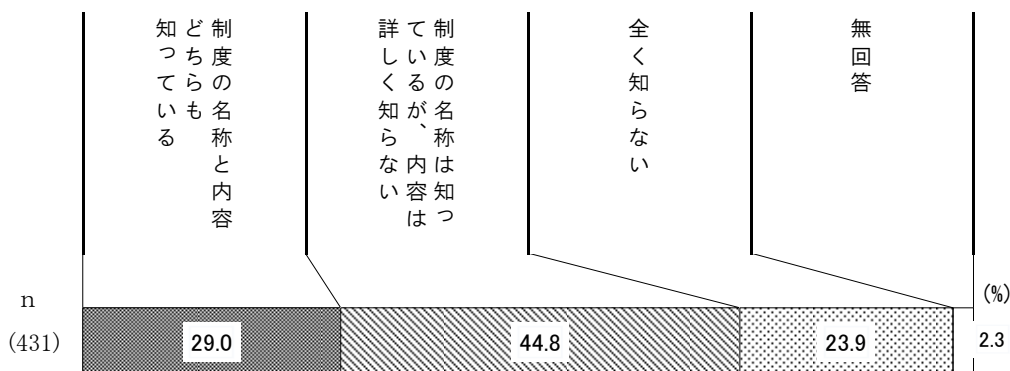
7. 福祉に関する制度・取組みについて

(1) 成年後見制度の認知度

問25 あなたは、「成年後見制度※」を知っていましたか。(ひとつだけ○)

※認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分ではない方を保護するための制度です。

成年後見制度の認知度は、「制度の名称と内容どちらも知っている」人が29.0%、「制度の名称は知っているが、内容は詳しく知らない」人が44.8%、「全く知らない」人が23.9%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「制度の名称と内容どちらも知っている」人は30代と、50代から70代で3割台となっている。「制度の名称は知っているが、内容は詳しく知らない」人は60代以上で5割台となっている。「全く知らない」人は20代で51.6%であるが、年代が上がるにつれて少なくなる。

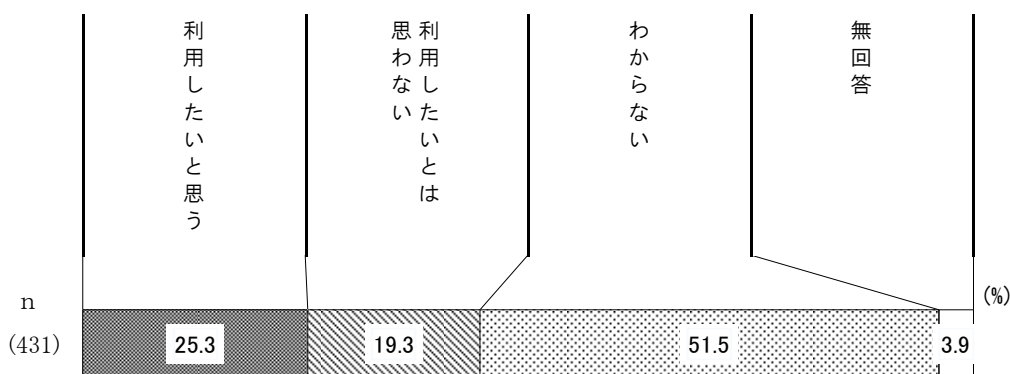
居住地区別にみると、「全く知らない」人は山西小学校通学区で31.8%と他の居住地区より多くなっている。

		調査数 (n)	知っている （名称と 内容ど ちらも	知っている （名称は 詳しく 知らない が、	全く 知らない	無 回答
年代	合計	431	29.0	44.8	23.9	2.3
	20代	31	16.1	32.3	51.6	-
	30代	58	32.8	31.0	34.5	1.7
	40代	51	23.5	39.2	35.3	2.0
	50代	73	39.7	37.0	21.9	1.4
	60代	102	31.4	53.9	14.7	-
	70代	64	31.3	50.0	17.2	1.6
	80代以上	52	15.4	59.6	13.5	11.5
居住 地区	合計	431	29.0	44.8	23.9	2.3
	二宮小学校通学区	193	29.5	46.6	21.2	2.6
	一色小学校通学区	107	31.8	47.7	18.7	1.9
	山西小学校通学区	129	26.4	39.5	31.8	2.3

(2) 成年後見制度の利用意向

問26 あなたは、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(ひとつだけ○)

成年後見制度の利用意向は、「利用したいと思う」人が25.3%、「利用したいとは思わない」人が19.3%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「利用したいと思う」人は70代までで2割以上となっている。

居住地区別にみると、「利用したいと思う」人はすべての地区で2割台となっている。

		調査数 (n)	利用したいと思う (%)	利用したいとは思わない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
年代	合計	431	25.3	19.3	51.5	3.9
	20代	31	29.0	9.7	61.3	-
	30代	58	31.0	13.8	53.4	1.7
	40代	51	27.5	7.8	60.8	3.9
	50代	73	26.0	13.7	60.3	-
	60代	102	29.4	21.6	48.0	1.0
	70代	64	20.3	29.7	45.3	4.7
	80代以上	52	11.5	32.7	36.5	19.2
居住地区	合計	431	25.3	19.3	51.5	3.9
	二宮小学校通学区	193	26.4	18.1	50.8	4.7
	一色小学校通学区	107	24.3	21.5	52.3	1.9
	山西小学校通学区	129	24.8	19.4	51.2	4.7

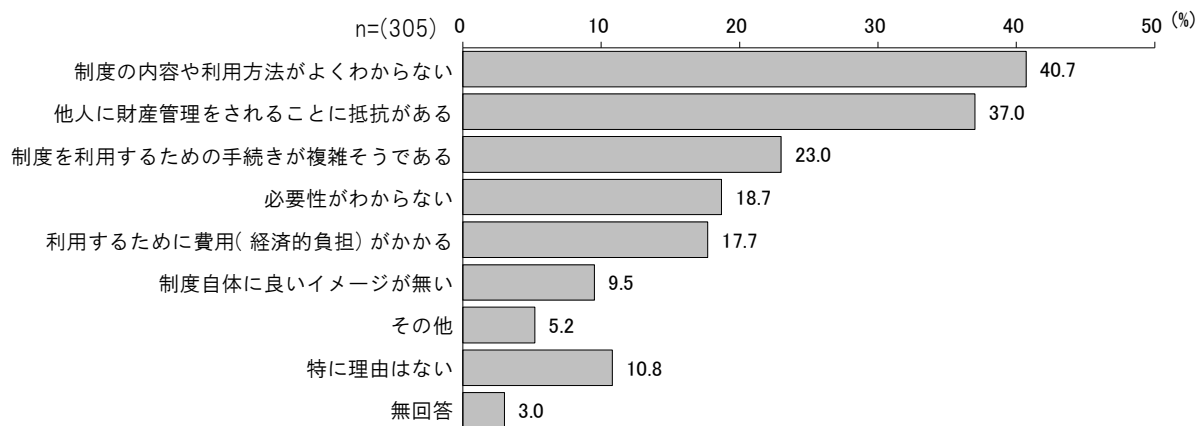
(3) 成年後見制度を利用したくない理由

問26で「利用したいとは思わない」「わからない」を選んだ方

問26-1 あなたが、利用したいと思わない、わからないと答えた理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

成年後見制度を利用したくない理由は、「制度の内容や利用方法がよくわからない」が40.7%で最も多く、以下、「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が37.0%、「制度を利用するための手続きが複雑そうである」が23.0%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「制度の内容や利用方法がよくわからない」はすべての年代で3割以上となっており、特に20代、40代で6割台、30代でも41.0%となっている。「他人に財産管理をされることに抵抗がある」は30代、60代で4割台、「制度を利用するための手続きが複雑そうである」は30代、40代で3割前後、「利用するために費用(経済的負担)がかかる」は60代で26.8%、「必要性がわからない」は70代で29.2%と他の年代より多くなっている。

居住地区別にみると、「制度の内容や利用方法がよくわからない」はすべての居住地区で3割以上、特に山西小学校通学区で48.4%、「他人に財産管理をされることに抵抗がある」はすべての居住地区で3割以上、特に二宮小学校通学区で41.4%と他の居住地区より多くなっている。

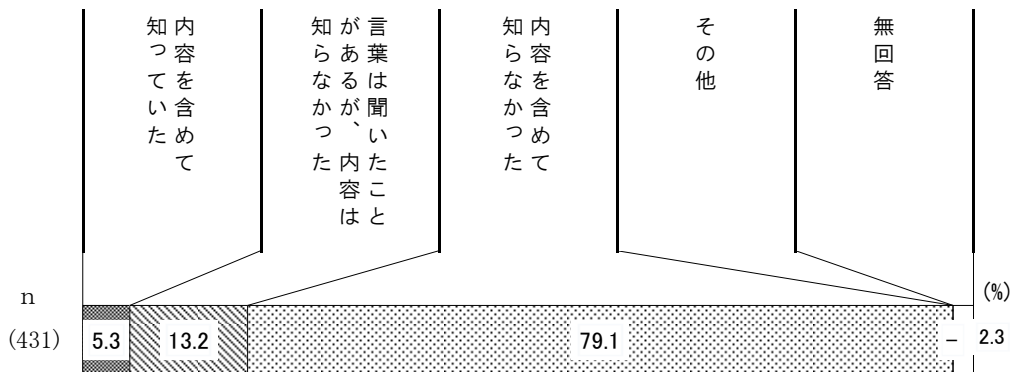
		調査数 (n)	よ制度 く度の わから ない 内容や 利用 方法が	こ 他人 に 抵抗 が 管理 を される	手 制度 を 利用 する ため の ある	必 要 性 が わ か ら ない	(利 用 す る た め に 費 用 か か る	が 制 度 自 体 に 良 い イ メ ー ジ	そ の 他	特 に 理 由 は な い	(%) 無 回 答
年代	合計	305	40.7	37.0	23.0	18.7	17.7	9.5	5.2	10.8	3.0
	20代	22	68.2	27.3	22.7	22.7	13.6	-	-	4.5	4.5
	30代	39	41.0	46.2	28.2	17.9	15.4	2.6	2.6	12.8	-
	40代	35	60.0	25.7	31.4	14.3	14.3	5.7	-	2.9	2.9
	50代	54	38.9	33.3	24.1	16.7	14.8	11.1	7.4	11.1	1.9
	60代	71	31.0	49.3	15.5	15.5	26.8	12.7	8.5	11.3	1.4
	70代	48	35.4	33.3	22.9	29.2	12.5	12.5	6.3	10.4	6.3
	80代以上	36	33.3	30.6	22.2	16.7	19.4	13.9	5.6	19.4	5.6
居住地区	合計	305	40.7	37.0	23.0	18.7	17.7	9.5	5.2	10.8	3.0
	二宮小学校通学区	133	38.3	41.4	18.8	21.8	18.0	12.0	6.8	9.0	3.8
	一色小学校通学区	79	36.7	34.2	25.3	13.9	16.5	5.1	7.6	12.7	3.8
	山西小学校通学区	91	48.4	34.1	27.5	18.7	18.7	9.9	1.1	9.9	1.1

(4)「ことわからない相談窓口」の認知度

問27 あなたは、令和3年4月から二宮町役場に「ことわからない相談窓口※」が開設されたことを知っていましたか。(ひとつだけ○)

※ひきこもりや介護、貧困といった複合的な課題を抱える家庭等に対し、関係機関と連携しつつ課題解決に向けて支援する総合的な相談窓口です。

「ことわからない相談窓口」の認知度は、「内容を含めて知っていた」人は5.3%、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らなかった」人が13.2%で両者をあわせた《認知している》人は18.5%となっている。「内容を含めて知らなかった」人は79.1%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、《認知している》人は60代以上で2割台となっている。

居住地区別にみると、《認知している》人は一色小学校通学区と山西小学校通学区で2割台となっている。

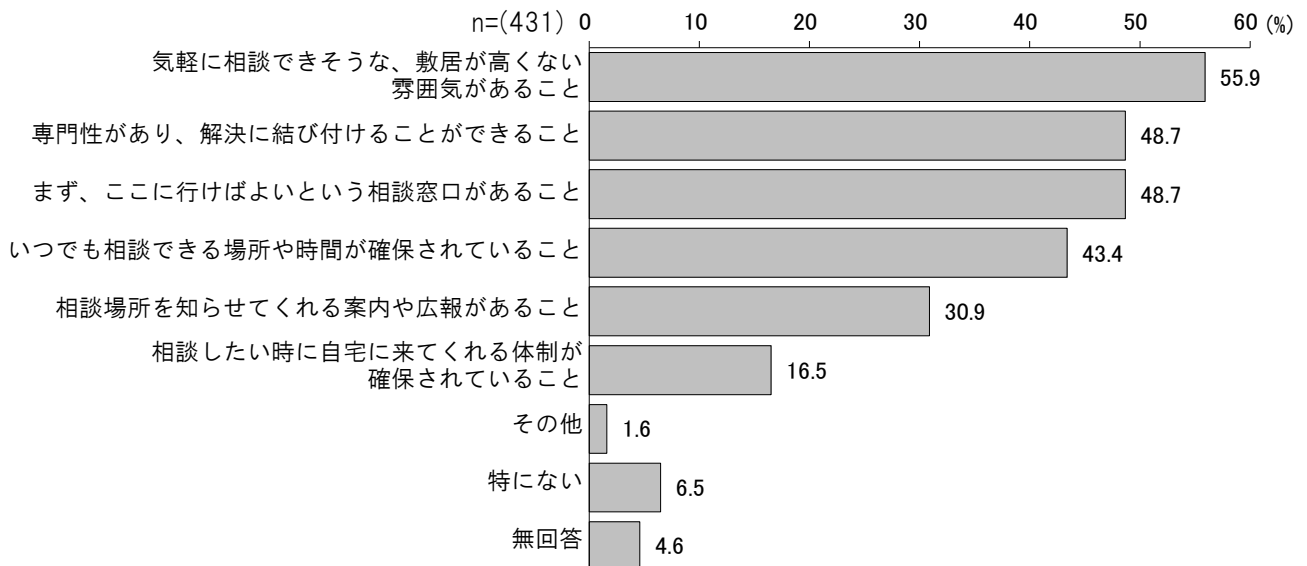
		調査数 (n)	内容を含めて知っていた	言葉は聞いたことがあるが、内容は知らなかった	内容を含めて知らなかった	その他	無回答
年代	合計	431	5.3	13.2	79.1	-	2.3
	20代	31	6.5	3.2	90.3	-	-
	30代	58	6.9	3.4	84.5	-	5.2
	40代	51	3.9	13.7	80.4	-	2.0
	50代	73	5.5	8.2	86.3	-	-
	60代	102	4.9	16.7	77.5	-	1.0
	70代	64	4.7	21.9	71.9	-	1.6
	80代以上	52	5.8	19.2	67.3	-	7.7
	居住地区	合計	431	5.3	13.2	79.1	-
二宮小学校通学区		193	4.1	11.4	81.9	-	2.6
一色小学校通学区		107	8.4	14.0	76.6	-	0.9
山西小学校通学区		129	4.7	15.5	76.7	-	3.1

(5) 「ことわらない相談窓口」に期待すること

問27-1 あなたが「ことわらない相談窓口」に期待することは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

「ことわらない相談窓口」に期待することは、「気軽に相談できそうな、敷居が高くない雰囲気があること」が55.9%で最も多く、以下、「専門性があり、解決に結び付けることができること」と「まず、ここに行けばよいという相談窓口があること」、「いつでも相談できる場所や時間が確保されていること」が4割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「気軽に相談できそうな、敷居が高くない雰囲気があること」は60代までの年代で5割以上となっている。「専門性があり、解決に結び付けることができること」、「まず、ここに行けばよいという相談窓口があること」、「いつでも相談できる場所や時間が確保されていること」も多くの年代で4割から5割台となっている。80代以上では「相談場所を知らせてくれる案内や広報があること」が40.4%、「相談したい時に自宅に来てくれる体制が確保されていること」が25.0%で他の年代より多くなっている。

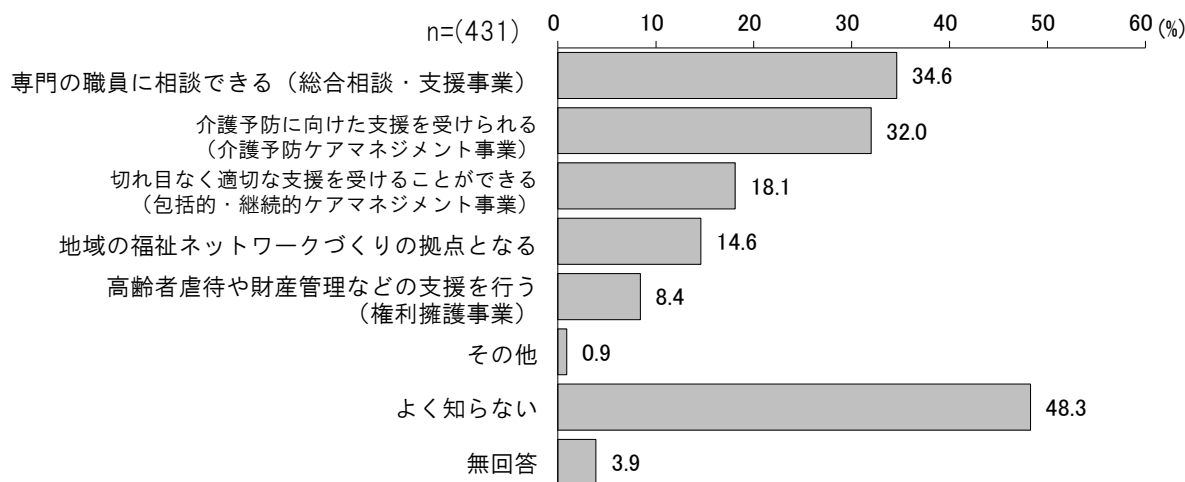
居住地区別にみると、一色小学校通学区では「いつでも相談できる場所や時間が確保されていること」、「相談したい時に自宅に来てくれる体制が確保されていること」、「気軽に相談できそうな、敷居が高くない雰囲気があること」、「専門性があり、解決に結び付けることができること」では他の居住地区より割合が少なくなっている。

		調査数 (n)	(%)								
			気軽に相談できそうな、敷居が高くない雰囲気があること	専門性があり、解決に結び付けることができること	まず、ここに行けばよいという相談窓口があること	いつでも相談できる場所や時間が確保されていること	相談場所を知らせてくれる案内や広報があること	相談したい時に自宅に来てくれる体制が確保されていること	その他	特になし	無回答
年代	合計	431	55.9	48.7	48.7	43.4	30.9	16.5	1.6	6.5	4.6
	20代	31	51.6	48.4	35.5	48.4	29.0	9.7	-	16.1	3.2
	30代	58	67.2	53.4	50.0	48.3	31.0	19.0	1.7	12.1	3.4
	40代	51	72.5	52.9	51.0	51.0	35.3	17.6	-	3.9	2.0
	50代	73	58.9	53.4	43.8	39.7	20.5	13.7	4.1	5.5	2.7
	60代	102	55.9	54.9	52.0	44.1	30.4	12.7	2.0	1.0	3.9
	70代	64	45.3	40.6	51.6	32.8	32.8	18.8	-	9.4	6.3
	80代以上	52	38.5	30.8	50.0	44.2	40.4	25.0	1.9	5.8	11.5
居住地区	合計	431	55.9	48.7	48.7	43.4	30.9	16.5	1.6	6.5	4.6
	二宮小学校通学区	193	59.6	53.4	49.7	45.1	29.5	18.7	2.6	3.6	5.7
	一色小学校通学区	107	41.1	37.4	48.6	35.5	28.0	12.1	1.9	10.3	2.8
	山西小学校通学区	129	62.8	51.2	48.1	47.3	34.9	16.3	-	7.0	4.7

(6) 地域包括支援センターの役割認知度

問28 地域包括支援センターが担っている下記のような役割のうち、あなたが知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

地域包括支援センターの役割認知度は、「専門の職員に相談できる（総合相談・支援事業）」、「介護予防に向けた支援を受けられる（介護予防ケアマネジメント事業）」が3割台で多くなっている。「よく知らない」は48.3%となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「専門の職員に相談できる（総合相談・支援事業）」は40代を除くすべての年代で3割台となっている。「介護予防に向けた支援を受けられる（介護予防ケアマネジメント事業）」は70代までは年代が高くなるにつれて多くなり60代、70代で4割前後となっている。「切れ目なく適切な支援を受けることができる（包括的・継続的ケアマネジメント事業）」は60代で28.4%と他の年代より多い。

居住地区別にみると、「専門の職員に相談できる（総合相談・支援事業）」、「介護予防に向けた支援を受けられる（介護予防ケアマネジメント事業）」はすべての地区で概ね3割台となっている。

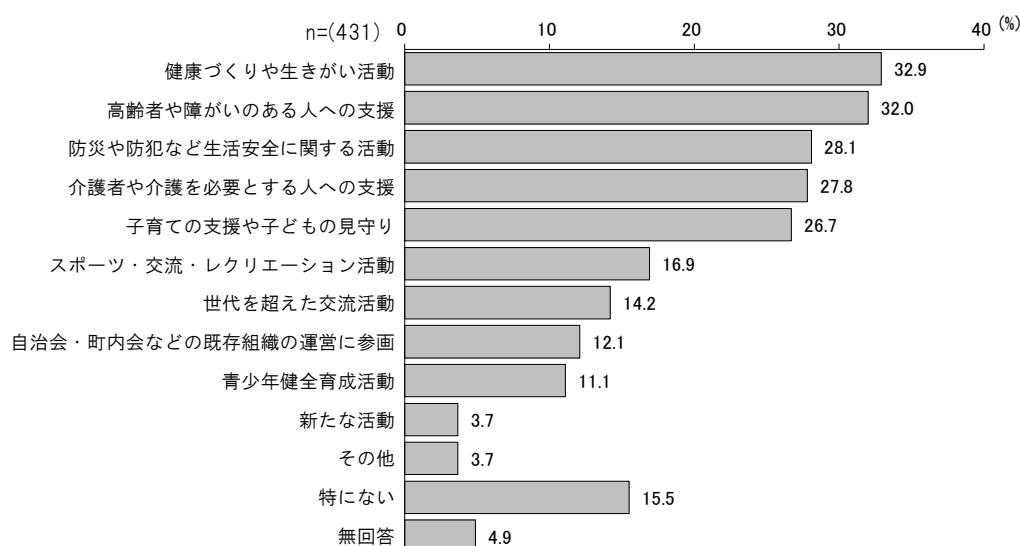
		調査数 (n)	専門の職員に相談できる (総合相談・支援事業)	介護予防に向けた支援を受けられる (介護予防ケアマネジメント事業)	切れ目なく適切な支援を受けることができる (包括的・継続的ケアマネジメント事業)	地域の福祉ネットワークづくりの拠点となる	高齢者虐待や財産管理などの支援を行う (権利擁護事業)	その他	よく知らない	無回答
年代	合計	431	34.6	32.0	18.1	14.6	8.4	0.9	48.3	3.9
	20代	31	35.5	16.1	12.9	16.1	12.9	3.2	64.5	-
	30代	58	37.9	20.7	15.5	19.0	8.6	-	55.2	5.2
	40代	51	19.6	25.5	7.8	13.7	7.8	-	66.7	-
	50代	73	35.6	35.6	15.1	16.4	5.5	-	47.9	1.4
	60代	102	39.2	39.2	28.4	18.6	12.7	2.0	42.2	1.0
	70代	64	31.3	40.6	18.8	7.8	4.7	-	45.3	3.1
	80代以上	52	38.5	30.8	17.3	7.7	5.8	1.9	28.8	19.2
居住地区	合計	431	34.6	32.0	18.1	14.6	8.4	0.9	48.3	3.9
	二宮小学校通学区	193	35.8	32.6	18.7	15.5	8.3	1.0	49.2	4.7
	一色小学校通学区	107	32.7	29.0	16.8	10.3	7.5	1.9	47.7	1.9
	山西小学校通学区	129	34.9	34.1	18.6	17.1	9.3	-	46.5	4.7

8. これからの地域福祉について

(1) 地域住民として取り組みたい活動

問29 今後、住みよいまちづくりを進めるうえで、あなたは地域住民としてどのような活動に取り組んでいきたいとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

地域住民として取り組みたい活動は、「健康づくりや生きがい活動」(32.9%)、「高齢者や障がいのある人への支援」(32.0%)が僅差で多く、以下「防災や防犯など生活安全に関する活動」、「介護者や介護を必要とする人への支援」、「子育ての支援や子どもの見守り」が2割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「健康づくりや生きがい活動」は70代までは年代が上がるにつれて多く、60代、70代で4割台となっている。「高齢者や障がいのある人への支援」、「介護者や介護を必要とする人への支援」は40代以上の年代で多くみられる。「子育ての支援や子どもの見守り」は30代で58.6%と他の年代と比較して特に多くなっている。また、「防災や防犯など生活安全に関する活動」は30代、40代を中心に多くなっている。

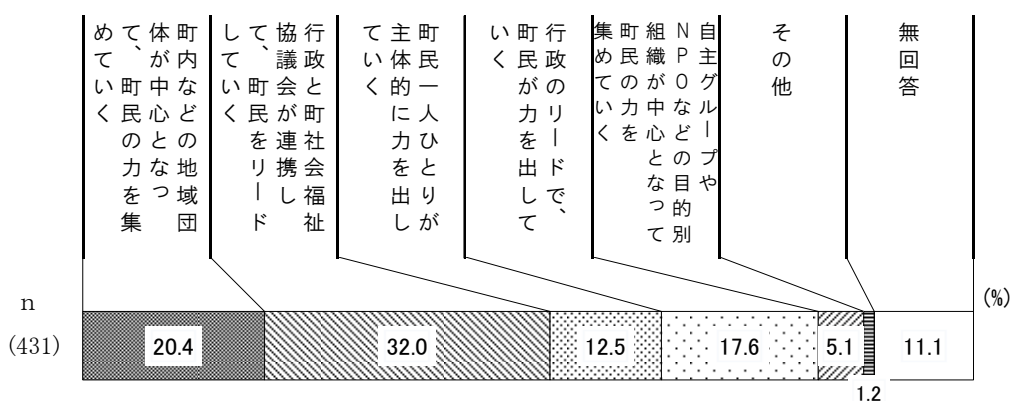
居住地区別にみると、「健康づくりや生きがい活動」、「高齢者や障がいのある人への支援」はすべての地区で3割台となっている。

		調査数 (n)	健康づくりや生きがい活動	高齢者や障がいのある人への支援	防災や防犯など生活安全に関する活動	介護者や介護を必要とする人への支援	子育ての支援や子どもの見守り	スポーツ・交流・レクリエーション活動	世代を超えた交流活動	自治会・町内会などの既存組織の運営に参画	青少年健全育成活動	新たな活動	その他	特にない	無回答
年代	合計	431	32.9	32.0	28.1	27.8	26.7	16.9	14.2	12.1	11.1	3.7	3.7	15.5	4.9
	20代	31	9.7	19.4	16.1	12.9	29.0	35.5	9.7	3.2	6.5	12.9	3.2	19.4	3.2
	30代	58	22.4	27.6	32.8	15.5	58.6	22.4	20.7	10.3	19.0	5.2	-	20.7	3.4
	40代	51	29.4	39.2	33.3	31.4	29.4	3.9	19.6	23.5	13.7	3.9	2.0	23.5	-
	50代	73	30.1	32.9	27.4	32.9	16.4	16.4	8.2	8.2	9.6	2.7	5.5	13.7	1.4
	60代	102	44.1	35.3	28.4	33.3	27.5	17.6	15.7	7.8	8.8	2.0	2.9	11.8	2.9
	70代	64	43.8	28.1	28.1	25.0	17.2	17.2	15.6	17.2	12.5	4.7	1.6	10.9	9.4
	80代以上	52	30.8	34.6	25.0	32.7	11.5	11.5	7.7	15.4	7.7	-	11.5	15.4	15.4
居住地区	合計	431	32.9	32.0	28.1	27.8	26.7	16.9	14.2	12.1	11.1	3.7	3.7	15.5	4.9
	二宮小学校通学区	193	33.7	31.6	28.5	28.5	28.0	18.1	16.1	11.9	9.3	4.7	4.7	14.5	5.2
	一色小学校通学区	107	33.6	34.6	29.0	27.1	19.6	15.0	9.3	11.2	9.3	0.9	3.7	13.1	4.7
	山西小学校通学区	129	30.2	30.2	26.4	27.1	30.2	16.3	14.7	13.2	14.7	4.7	2.3	19.4	4.7

(2) 地域福祉推進のための望ましい形

問30 町民が支え合って暮らしやすいまちづくりを進める（地域福祉を推進する）とき、どのような形が望ましいと思いますか。（ひとつだけ○）

地域福祉推進のための望ましい形は、「行政と町社会福祉協議会が連携して、町民をリードしていく」が32.0%で最も多く、「町内などの地域団体が中心となって、町民の力を集めていく」が20.4%、「行政のリードで、町民が力を出していく」、「町民一人ひとりが主体的に力を出していく」が1割台となっている。



クロス集計【年代別・居住地区別】

年代別にみると、「行政と町社会福祉協議会が連携して、町民をリードしていく」は20代で41.9%、50代、60代で3割台となっている。20代ではこの他、「町内などの地域団体が中心となって、町民の力を集めていく」も32.3%と他の年代より多くなっている。

居住地区別にみると、すべての地区で「行政と町社会福祉協議会が連携して、町民をリードしていく」が3割台、「町内などの地域団体が中心となって、町民の力を集めていく」が2割台となっている。「行政のリードで、町民が力を出していく」は二宮小学校通学区で21.8%と他の居住地区よりやや多くなっている。

		調査数 (n)	町内などの地域団体が中心となって、町民の力を集めていく (%)	行政と町社会福祉協議会が連携して、町民をリードしていく (%)	行政のリードで、町民が力を出していく (%)	町民一人ひとりが主体的に力を出していく (%)	自主グループやNPOなどの目的別組織が中心となって町民の力を集めていく (%)	その他 (%)	無回答 (%)
年代	合計	431	20.4	32.0	12.5	17.6	5.1	1.2	11.1
	20代	31	32.3	41.9	6.5	6.5	9.7	-	3.2
	30代	58	17.2	29.3	17.2	15.5	3.4	1.7	15.5
	40代	51	23.5	29.4	17.6	19.6	5.9	-	3.9
	50代	73	21.9	32.9	8.2	23.3	4.1	4.1	5.5
	60代	102	14.7	37.3	12.7	20.6	5.9	-	8.8
	70代	64	25.0	26.6	17.2	12.5	4.7	1.6	12.5
	80代以上	52	17.3	26.9	5.8	17.3	3.8	-	28.8
居住地区	合計	431	20.4	32.0	12.5	17.6	5.1	1.2	11.1
	二宮小学校通学区	193	20.2	31.1	12.4	21.8	4.1	1.0	9.3
	一色小学校通学区	107	20.6	33.6	12.1	12.1	8.4	0.9	12.1
	山西小学校通学区	129	20.2	31.8	13.2	16.3	3.9	1.6	13.2

9. 自由回答

そのほか、二宮町の福祉について、何かご意見などがあれば教えてください。

ご意見	性別	年代	居住地区 (小学校 通学区)
このアンケートの結果を知りたいのですが、HPなどに掲載して頂くことは可能なのでしょうか？	20代	男性	二宮
町内の小中でインクルーシブで教育を発達させ、子供達に知ってもらい理解してもらうこと。	20代	男性	二宮
実際に取り組んでいることの中で、町民の悩みや困っていることを、どのように解決や改善したのかの内容を、多くの町民の目につく場所に掲示されていると、二宮町の福祉が見えてくるのではないかと思います。20代社会人としては、平日昼間は二宮にいないので、二宮町がどんな福祉事業を行っているのか、正直なところ分かりません。	20代	女性	二宮
本当に困っている人が手を挙げられず、虐げられているのは苦痛です。が、自分で楽をする為に世話になり文句を言うのは納得出来ません。皆で助け合って、適切な暮らしが出来るようになったら良いと思います（偉そうにすみません…）。	20代	女性	二宮
町の福祉について参加したこともなく、知識も興味もありませんでした。できる事があれば参加したい気持ちもあります。目にふれやすかったり、参加へのハードルが下がると良いと思いました。	20代	女性	一色
こういう町民にアンケートをとるのも良いが、税金でやっているだろうし、こんなITの時代に紙のむだ。役所はコピーや控えなど、もっと多くの紙を無駄使いしていることがよく分かりますね。せめて町民税を良い方法で返すよう努力して下さい。	20代	女性	一色
相談窓口が気軽に寄れる場所にあると良い。又、その場所が分かりやすいよう広報で知らせたり、看板が出ていると分かりやすくして良い。町役場一箇所集中でなく、複数あると有難いです。	20代	女性	山西
子育て支援（オムツ等の日用品の支給等）して欲しい…。	20代	-	山西
町民の健康寿命向上を図る為、町内の公園に健康遊具を少しでも増やして欲しいです。健康遊具巡りができるくらいたくさん欲しいです。	30代	男性	二宮
とにかくよく分からない。情報が入ってこない。こちらから情報をとりに行ってからでは遅い。	30代	男性	二宮
保育園の登園時の支援を充実して欲しい（駅に集合してバスで登園など）。	30代	男性	二宮
広報誌等に町に対しての否定意見も載せるべき。NOという意見にフタをするのは、今の世ではありえない。子育て世代に住みよい町にするとおきながら、有権者（高齢者）の意見しか聞こうとしない。夜間救急で小児科が近くになく、平塚まで行かなければならない。隣の町や市と、一刻も早く合併して欲しいと心から願います。出来るならば、多少不便でも大磯に引越したい。Y o u T	30代	男性	山西

ご意見	性別	年代	居住地区 (小学校 通学区)
ubeにかけるお金があるなら、保育士さん等の給料を上げてやって下さい。子育て世代に対して、町のどこに魅力があるのか逆に教えて欲しい。いい加減過去に投資するより未来に投資しませんか？この意見もフタをするのでしょうか…。			
町役場の子育て健康課に行った時の事ですが、コロナ禍にもかかわらずマスクをしていない職員が大半。電話対応していた方も、イスにだらりと腰かけアゴを上げ上を向いて電話しており、とても真面目に仕事をしている様には見えませんでした。場所も閉鎖的で暗く、雰囲気も悪い。これから子育てしていく人が行く所なので改善して下さい。他の部署からも見える所にして下さい。	30代	女性	二宮
今、不妊治療を行っているが、二宮町には補助金制度がなぜないのでしょうか。近隣の平塚にも大磯にも、県の補助金に上乘せて補助がでます。検討頂けないでしょうか	30代	女性	二宮
交流を望む人、望まない人がいるの思うので、町全体で何かをやる必要もないのかな…と思います（例えば、町民運動会など）。その分のお金を福祉事業にあてれば良い。自分の時間を削ってまで活動する気にはなれない。支援が必要な方に、支援がいき届くようになっていけば良いと思います。	30代	女性	二宮
町役場に行くのに不便を感じる（母親が足が悪いので）。あづま山に歩いて行けないのが残念。良い景観を見られない、図書館に行くのに不便。	30代	女性	二宮
歩道が狭く、デコボコしている道が多いように感じます。ベビーカーや車イスなど通りづらいと思う場所がきれいに整うと、よりイイな—と思います。	30代	女性	二宮
ラディアン以外の小さな公園の整備をして欲しい。草が生え放題だったり、砂場にも草が生えていたり、ラディアン以外の公園は遊びにくいです。	30代	女性	二宮
高齢化が進んでいる中、障害者など弱者にやさしい町づくりを目指して欲しい。	30代	女性	一色
子育て支援センターも利用しますが、一時預かりの受けられる条件の緩和をお願いしたいです。→保育園へ行っているや親のリフレッシュの為は、NGと言われショックを受けました。ご時世的なこともあると思いますが、もう少し皆が子どもを一時預かれる環境があると嬉しいです。	30代	女性	山西
まだコロナ禍ではありますが、お祭り、町民運動会など、子ども達が楽しみにできるイベントが再開されることを願っています。	30代	女性	山西
障害児、者に対して、差別をしないで欲しい。もっと他市町村みたく手厚く介助が出来るように、早急に対応すべきでは?!ファミサポを障害児だからと言って使えず、ヘルパーを頼んで下さいと言うのは、ここからして差別にあたると思います。他の市町村は障害児でも、ファミサポは使えてますよ。使えないのはどうかと思う。住みにくい町だと感じてしまっておりません。受給者証の基準って、両親のフルタイムで仕事ってなんですか?障害児をかかえて、両親	30代	女性	山西

ご意見	性別	年代	居住地区 (小学校 通学区)
フルタイムで働けてありえないですか？サポート受けれないのに、それを求めるのはどうかと思いますし無理です。			
より良い町づくりの為、頑張ってください（具体的に町民をリードし、助けて下さい！）。	40代	男性	二宮
今後は、少子高齢化の影響が大きく現れ、働く世代の時間的な余裕が今以上になくなっていくと考えられます。ボランティア活動に依存することは危険で、もっとお金をかけて人を雇うべき。	40代	男性	二宮
職員の町内居住率を、一定の基準で担保しておいて欲しい（防災面や夜間公務）。町が臨時雇用する際に最低賃金を設定すると、生活困窮者は従事できない。それに転落する者も出る。既居住者への地域コミュニティ再構築の機会づくり。転入者との関係づくり。報連相、日常会話を深め意志の疎通が充分にできる職員がめっきり減った。	40代	男性	二宮
誰かに頼るのを先に考えるのではなく、一人々が行動をして生き抜ける環境であれば充分だと思います。	40代	男性	山西
こちらのアンケートにプレッシャーを感じる。邁進せざるをえない感じ。地域の事に参加出来る事はしていますが、全ての人が同じ姿勢では無い。アンケートに疲れを感じる。南口に大きなスーパーを呼んで下さい！！	40代	女性	二宮
ペットとの共存⇒飼い主への教育もして欲しい。元町地区の犬の騒音は、日常生活に支障をきたすレベルです。近隣住民がピリピリしています。	40代	女性	二宮
子育て世代にもっと支援を！！	40代	女性	山西
断わらない相談窓口のように、複合的な問題を解決できることを望みます。	40代	女性	山西
役人の窓口担当者に話を聞いてもらいたい（出来ないと言われる）。担当から連絡させます、はやめて頂きたい（連絡が来ない）。窓口での相談内容をすべて、管理共有、監視する部所が必要だと思います。	50代	男性	二宮
以前、社会福祉協議会で行っていた『ふれあい研修会』、会費徴収の形で復活して欲しいです。よろしくお願いします。	50代	男性	二宮
自助努力を促す方向での施策を望む。例えば、そのためには道路段差は障害になる。ある程度の大変さ、は行政施策で解決するのではなく、解決策に対し調整をつけて許可を出していく方向に注力願いたい。事業をするのではなく、自主的にできる環境を整えて欲しい。	50代	男性	二宮
知識や興味のない人にとって、福祉がどういう事かすぐわからないので、”こんな事ですよ、こんな事やっていますよ”“みたいな事がわかる様な広報をしてはどうか（何度もやっているかもしれませんが、定期的にやれば目につくかも）。	50代	男性	二宮
福祉とは関係のない事ですが、5年位前から新幹線の通過で家がかなり揺れる。最近、更に振動が酷く感じる。	50代	男性	二宮

ご意見	性別	年代	居住地区 (小学校 通学区)
一人暮らしの老人も多そうですが、近所付き合いのない方の見守りは出来ているのかな…？	50代	男性	一色
本当に必要なことが何なのか、熟慮して頂きたい（成人の祝いの品のマグカップ、喜んでいる人がいると思いますか）。	50代	男性	一色
何度か相談したけど、該当しないと言われ相談しても無駄だと思った。大磯や平塚で受けられるサービスも二宮では無理な事が多い。	50代	男性	山西
質問が多い。ネット回答も考えて欲しい。	50代	男性	山西
小さな町であることが強みになるような、あたたかみのある福祉サービスを提供して頂けるとありがたいです。その為に、町民として出来ることは協力していきたいです。	50代	女性	二宮
介護認定が他の市町より厳しいと思うところがあります。	50代	女性	二宮
子供がすべて幸せな将来が見れるように、里親などの情報を知りたいです。	50代	女性	二宮
”長寿の町二宮“という看板は、イコール若者がいないとか、年寄りばかりに手厚いというイメージがある。とてもマイナスなのに、それを前面に出す意図が理解できない。	50代	女性	一色
理想や希望を持つことは出来ると思いますが、なかなか現実には結びつかないということ、福祉以外の事で実感しております。底辺の人の所まで救いの手が来るのは期待薄なのかな？と。	50代	女性	山西
アンケートに答えてみて、あらためて町の福祉行政、ボランティア活動が見えてこない事に気づきました。どうすれば…。	60代	男性	二宮
福祉ではないが、駅周辺を全面禁煙にしてください。タクシー、バス運転車のタバコ禁止！	60代	男性	二宮
生活困窮者への支援、子が親の世話しているような人（かわいそうだ）。党政策で18歳未満10万円支給より、本当に困っている人に支給すべし。	60代	男性	二宮
地域福祉に関する組織や団体の活動に関する情報公開の頻度を多くするとか、もっとアピールをして下さい。	60代	男性	二宮
二宮町内にある福祉施設の内容の情報公開、見学ツアー。福祉のワン・ストップ・サービス化。福祉サービス情報の発信強化。	60代	男性	二宮
国民健康保険料が、他の市町村（近隣や東京近郊）に比べて高すぎる。	60代	男性	二宮
助け合う、支え合う現実の実現はなかなか難しい。理想に向かって頑張ってください。	60代	男性	二宮
町民一人々が主体的に力を出すことが理想だと思うが、あまりにも二宮自体の空気が淀んでいる。もう少し活気が欲しい。	60代	男性	一色
ここで議論されている「福祉」は、あまりに広範囲に及び、世代や個人、置かれている環境により望むものは異なる。「町民が支え合う」＝「暮らしやすい」という前提で議論されているが、他人から干渉されないことを暮らしやすいと考える人もいるはずだ。福祉を考える上で、もっと基本的な事を明確にすべきではないか？二宮町をどういう自治体にしたいか？つまり二宮町のコンセプト。①子供の健全な成長を推進する町②高齢者、障がい者が不自由なく暮らせる町③防災、防犯が充実し、安心して暮らせる町④蓄積した能力を	60代	男性	一色

ご意見	性別	年代	居住地区 (小学校 通学区)
生かせ充実した人生を過ごせる町…など。コンセプトを明確にすれば、他の自治体から移住者を奪い取れるはずだ。特に①ならば若い世代の移住が期待でき、それにより町も発展するだろう。今回のアンケートからは、町を発展させようとする熱意が感じられないのは残念だ。			
行政組織のスリム化！町の駅等、二宮町の特産品のアピールと人員の呼び込み。町長の対外活動が少なく、これといった業績もないのが不満。	60代	男性	一色
福祉も大事だが、若い世代を誘地する施策をする必要がある（老々介護－老人比率を下げる）。案が思いつかないが。	60代	男性	一色
互助を基本とした、財務負担の少ない仕組みを作って欲しい。スポーツ教室などによる健康生活の充実。ペットレンタルによる心身の健康増進支援。	60代	男性	一色
道路の整備を充実して欲しい。→中里より駅に向う道路（旧道）の路面の段差が多い。雨の日は水溜り（特に橋の上）が多くできる。車が通ると水ハネする。高齢者、女性、子供には危険が伴うこともある。※雨の日に歩いてもらえば判ると思う。利用者の目線で見る事が大切。街灯の整備→駅周辺は良いが、少し離れると不便を感じる所が多い。駅から山西中学校へ向う歩道は暗いところが多い。	60代	男性	山西
高齢化に伴う難聴者が増えてきています。補聴器購入の助成、ヒアリンググループの設置（公的施設）、難聴者や家族対象の勉強会開催。	60代	男性	山西
まずは、知らない人でも声をかけ合える環境。災害時に安心して利用出来る施設の地図。	60代	男性	山西
町長の意見だけで決めることがない様、町民の声に耳をかたむけて下さい。二宮小学校、町役場の移設は反対です。あくまでも個人の意見ですが、二宮町らしさを忘れないで下さい。	60代	女性	二宮
お陰様で健康にも恵まれ、現役で働いています。実際、何かボランティアでお手伝いしたいと思っても、時間の調節が出来るかわかりません。	60代	女性	二宮
高齢者が出て行きやすい場所、集りを多く作り、孤立する人を少なく出来る様考えて欲しい。ボランティアは出来る人は限られる為、わずかであっても時給（手当て）があると、関われる人も増えると思う。	60代	女性	二宮
小さな団体ではあるけれど、隣り組や向こう三軒両隣りの様な、自分達の生まれ育った「ご近所さん」との挨拶から始まると思う。実は基本が一番の大きなコミュニティーだと思う。役を終えても死ぬまで関わっていく人々だと思う。	60代	女性	二宮
内科医ばかり多くて、他の医院が少なすぎる。道が古すぎて歩くのが大変。ワーカーさんとの老人ホーム関係。特養老人ホーム少なすぎる！民間の老人ホームは、年金だけでは入所は無理だ！	60代	女性	二宮
町では財政的負担が大きいので、近隣地域、小田原、平塚、大磯との情報交換の連携で、町にこだわらず福祉の内容を高めて合理的、経済的より高い福祉をお願いします。	60代	女性	一色

ご意見	性別	年代	居住地区 (小学校 通学区)
福祉の制度の見直し等も必要だとは思いますが、行政、社協で働く人の資質でかなり相談したいかどうかが変わる。お世話になってみてすばらしい人（親身になってくれる人）もいたし、そうでない人も。人件費も予算をとり、かかわる人の充実もお願いしたい。	60代	女性	一色
福祉サービス申請中に本人が死亡し、キャンセルの電話を入れると、申請取消書類の提出が必要とのこと。簡素化して頂きたい。	60代	女性	一色
（二宮町だけではないと思いますが）自治会に入る若い人が（家庭）減っているようです。災害時など、老人ばかりでは不安なので、誰でも入れるようなシステムを町がリードしながら変えていく必要があると思います。	60代	女性	山西
福祉について、参画したい気持ちはあるが、どのように参加はしたら良いか、いまいわからない。もっと具体的に参加要項などがあつたらいいかな。	60代	女性	山西
町内の地域団体がどのような活動をしているのか知らない人、興味のない人が多くなってきている気がします。各行事ができない今、コロナが収まった後も、通常に戻って活発な行事活動や、地域交流が楽しく進められるのか心配です。	60代	女性	山西
他の市区町村に比べ、福祉の内容がお粗末。障害者手帳を持っている人（等級、年齢にかかわらず）の医療費は無料にするべき。	70代	男性	二宮
住民主体と言い、自治会等へ「まるなげ」的な施策が多い。このアンケートもどの様に行政に反影されるか「ギモン」。	70代	男性	二宮
妻を自宅介護してます。料理、介護の勉強会を行って欲しい。	70代	男性	二宮
福祉のためにもマンパワーやお金が必要です。二宮に若い人が流入するようなアピールや、歳入アップ策など必要かと思えます。	70代	男性	二宮
時間に関係なく話し合い、福祉、活動して欲しい。声掛けをお願いしたい。	70代	男性	一色
まずは行政主導が大切だと思います。	70代	男性	山西
町の福祉が窓口に行かないと良く見えて来ない！町の広報などで、もっと解かり易いアピールとアプローチが必要かと思えます！	70代	男性	山西
教育が最重要と考えております。早急に二宮全小中学校を統合して、小中一貫校設立を実現して欲しい。外国人教師を数多く採用して、外国語を使える人材を多く育てて欲しい。	70代	男性	山西
小学生、中学生、高校生などが、福祉活動に参加出来る事を企画して欲しい！！	70代	男性	山西
山西地区に子供を遊ばせる広めの公園があればと思います。	70代	男性	山西
行政、社協が人の手をあてにし過ぎない事	70代	女性	二宮
住民すべてが世話になる協議会ですので、連携してますます発展して行って下さい。	70代	女性	二宮
自身もいつ援助を受けるかも知れない年齢になって、今のうちもう少し人と関わりあって、助け合えたらと思っています。	70代	女性	二宮
町や民生委員、社協の方々が、老人のひとり世帯をどれ程把握されているのでしょうか？ちなみに、当方には一度も（民生委員）おみえになっていません。	70代	女性	一色

ご意見	性別	年代	居住地区 (小学校 通学区)
本当に困っている人達（特に子供達）が幸せに暮らせる町であることを願います。	70代	女性	一色
今は必要ないが、将来はどうなるかわからない。	70代	女性	一色
福祉については以前はお手伝いできましたが、高齢になり助けて頂く方になりました。	70代	女性	山西
体調を崩し大病をして、近所のゴミ掃除や地蔵さんの世話をしている過ごしています。何んでもかんでも、地域活動、ボランティア団体でなければいけないのは良くない。買い物不便で山西にスーパーがあると良い。	70代	女性	山西
私は生まれ育った「二宮町」が大好きです。子ども達から高齢者までが、心地良く支え合って生活していきたいです。希望点…公共交通の利便性（高齢者の足の確保）と買物難民になりそうです。公共施設への要望～町民センターの3階までの階段は、とてもとても危険で厳しいです。町職員の対応は良くて感謝です。	70代	女性	山西
「ことわらない相談窓口」は知らなかった。もっと広くPRすべきだと思います。	80歳以上	男性	二宮
20才以上、1000人を対象に実施。無作為抽出？年齢別人口に応じた人数？男女比？	80歳以上	男性	二宮
ゆめクラブ二宮連合は、活性他運動につとめていますが、地域によっては役員の希望者がいません。全国的に年々会員が減っています。	80歳以上	男性	一色
大変お世話になっています。	80歳以上	男性	山西
二宮町巡回しているバス、いつも一人、空バス、もったいない。せめて一日一回でも病院、通院、又年をとると買物も大変、そういう時に利用出来たらと思うのです。	80歳以上	女性	二宮
独居老人でも安心して明るく生活できる様な、思いやりのある優しい二宮町の福祉を希望しております。	80歳以上	女性	二宮
これから増々高齢化社会、大変とは充分思いますが、皆が元気で暮らしやすい世の中になります様我々も日々頑張りますが、福祉活動にたずさわられる方々には、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。参加は出来ませんが、迷惑かからない様に生きて行きます。	80歳以上	女性	二宮
通院のタクシー代割引のような制度があったら有難く思う。	80歳以上	女性	二宮
78才迄仕事をしていた時、病気が見つかり、そんな時に町（行政）に相談する所があったのでしょうか。又、近隣トラブルは、総務省（町にある）困りごと（警察）相談（人権でしたが）行ってもなんの解決もできませんでした。	80歳以上	女性	一色
母子家庭、所得の低い人、体の弱い人など、恵まれない人たちへの援助をお願いします。子供たちがお腹いっぱいご飯を食べ、学びたい子供たちが教育を受けられますように、心から願います。	80歳以上	女性	一色
ケアマネさんには大変お世話になっています。数年前から私の担当の方は、皆さん親切な方で安心して話が出来ます。御名前を出したら失礼かと思いますが、今は三枝さんにお世話になっています。	80歳以上	女性	一色

ご意見	性別	年代	居住地区 (小学校 通学区)
相談した時は、対応して頂きました。包括センター、その後は”どうですか”との連絡はありません。母は施設にお世話になっております。二宮以外です。	80歳以上	女性	山西
福祉バスの件のことで、利用者が少ないようですが、無くなると困る人達のことを考えて下さることをお願いします。	80歳以上	女性	山西

第3章 調査結果からみえる課題

1. 福祉について

- 福祉への関心は、《関心がある》人が8割強と多くの方が関心をもっています。(問7)
- 特に関心のある福祉分野は、「高齢者福祉（高齢者介護など）」が3割台半ばで最も多く、「社会福祉（福祉全般）」、「児童福祉（子育てなど）」、「地域福祉（地域での支え合い活動）」が1割台となっています。(問7-1)
- 福祉に関心のない人による意見として、子どもや高齢者、障がいのある人にとって二宮町の暮らしやすさは、《暮らしやすいと思う》人は1割台半ば、《暮らしやすいとは思わない》人は3割強となっており、《暮らしやすいと思う》を18.4ポイント上回っています。(問8)

<結果からみえる課題>

回答者の8割以上が福祉への関心があることから、一人ひとりが、自分・家族の住む地域について知り、地域における助け合い・支え合いの関係の構築に向けた意識の醸成ができるよう、情報発信、参加や交流の場づくり等の取組を進める必要があります。

2. 地域との関わりについて

- 近所付き合いの程度は、親しい付き合いをしている人は2割弱にとどまり、「会えばあいさつをかわす程度」、「時々、立ち話をする程度」といった付き合いが多くなっています。(問9)
- 団体・機関の認知度は、「民生委員・児童委員」、「社会福祉協議会」、「地域包括支援センター」、「平塚保健福祉事務所」の順で高くなっています。(問10)
- 暮らしの中で助けが必要なときに希望する支援者では、「家族・親戚」が88.2%と特に多く、「知人・友人」が4割、「医療機関の医師」が3割強、「町役場の窓口や職員」、「近所の人」が2割台となっています。(問11)
- 毎日の暮らしの中での悩みや不安は、「自分や家族の健康に関すること」が5割強で特に多くなっています。(問12)
- 隣近所に困っている人がいたときに可能な支援は、「安否確認の声かけ」が7割で最も多く、「緊急時の手助け」が5割強、「家の前などの掃除」、「ごみ出し」が3割台となっています。(問13)
- 隣近所の人に手助けしてもらいたいことは、「緊急時の手助け」が4割強、「安否確認の声かけ」が3割強で多い一方、「特にない」人は3割台半ばとなっています。(問14)
- 防災や災害時の取り組みは、④災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある人などの要援護者の避難等の手助けができる、①日ごろから地域の防災訓練に参加しているが3割台、②地域の自主防災組織（自治会や町内会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織）に加入しているが3割弱となっています。一方、③災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要は1割強と少なくなっています。(問15)

<結果からみえる課題>

親しい付き合いをしている回答者は2割弱にとどまり、近所のつながりが希薄化しています。また、個人情報や壁などから、生活実態がつかめず、支援の必要な方が周囲に気づかれずに地域で孤立しているケースがあります。一方で、隣近所に困っている人がいたときに、安否確認の声かけや緊急時の手助けができると回答した人も多数いたことから、プライバシーの保護に十分配慮しつつも、住民同士の交流の場を確保し、困ったときには、自ら支援を求めやすいような地域づくりが必要です。

さらに、普段から顔の見える関係づくりや地域での防災意識の醸成を図り、有事の際に適切に行動できる地域づくりを進めることが重要です。

3. 地域の満足度について

- 地域の範囲を「自治会・町内会」と考える人は4割弱、「二宮町全域」が2割台半ば、「隣近所」、「小学校通学区」が1割台となっています。(問16)
- 地域への愛着は、「愛着がある」人は約7割、「愛着がない」人は1割未満となっています。(問17)
- 二宮町での定住意向は、「これからも住みたい」人が7割弱を占めています。(問18)
- 居住地区の暮らしやすさについて、「満足」の回答が特に多いのは“①近隣の生活マナー”で5割、“⑨地域の雰囲気やイメージ”で4割、“⑧公園や緑地などの自然環境”、“⑤買い物などの便利さ”、“⑥道路や交通機関などの使いやすさ”で3割台となっています。対して、「不満」の回答が多いのは“③娯楽施設やレジャー環境”が4割台半ば、“⑤買い物などの便利さ”、“④病院など医療関係施設”が3割台となっています。(問19)
- 居住地区の満足度について、「満足」の回答が特に多いのは“イ 児童・生徒が健全に育つ環境”で4割強、“カ 日常生活を支える買い物や交通の利便性”が3割強となっています。対して、「不満」の回答が多いのは、“カ 日常生活を支える買い物や交通の利便性”が4割、“オ 住民が利用しやすい施設の整った環境”と“キ 病気やけがに対する医療体制”が3割台で《満足》を上回っています。
また、重要度では、“キ 病気やけがに対する医療体制”や“カ 日常生活を支える買い物や交通の利便性”、“ク 防災や防犯に対する支援や組織体制”が8割を占め特に多くなっています。(問20)

<結果からみえる課題>

地域愛着がある人、定住意向がある人はともに7割を占め高くなっています。一方、居住地区の満足度・重要度をみると、特に「日常生活を支える買い物や交通の利便性」では重要度が高く不満度も高いと回答されています。高齢者や障がい者等が買い物や外出に困難を抱えるケースも増えており、地域での支え合いによる買い物支援や移動支援のニーズが一層高まることが予想されます。

4. 地域活動等について

- 地域活動、ボランティア活動や地域住民に対する各種支援活動への参加状況は、《参加経験あり》は4割弱、《参加経験なし》は6割弱となっています。(問21)
- 参加したきっかけは、「自治会・町内会活動として」が5割弱で最も多く、「自分の意志」は3割台半ば、「友人や知人に誘われた」は3割弱となっています。(問21-1)
- 参加している活動内容は、「地域を元気にする活動（自治会・町内会や地区での交流活動など）」が4割台半ばで特に多く、「周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）」、「特技や趣味を活かした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など）」が2割前後となっています。(問21-2)
- 支援活動への参加意向は、《参加意向》がある人は約5割となっています。(問22)
- 支援活動への参加条件は、「気軽に参加できる」が約7割で最も多く、「活動時間や曜日が自由」、「身近なところで活動できる」が5割台となっています。(問22-1)
- 参加してみたい支援活動は、「周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）」、「特技や趣味を活かした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など）」が3割台で多くなっています。(問22-2)
- 参加できない理由は、「時間がない」、「興味がない」、「勤務などの都合で機会がない」が3割台で多くなっています。(問22-3)
- 支援活動を活発にするために重要なことは、「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が約4割で最も多く、「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」、「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」、「困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する」、「ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する」が3割前後となっています。(問23)

<結果からみえる課題>

地域でのボランティア活動や地域住民に対する各種支援活動は、どの年代、どの居住地域においても多くの町民に参加意向があります。一人ひとりが、自身のライフステージやライフスタイル、福祉への意識・関心に応じて活動に参加できるよう、多様なジャンルの情報発信及び参加機会の提供、コーディネーターなどの支援に取り組むことが必要です。

5. 福祉サービスなどについて

- 福祉サービス利用時に感じた不都合・不満は、「不都合や不満を感じたことがある」人が1割、「不都合や不満を感じたことはない」人が2割台半ばとなっています。(問24)
- 福祉サービスに対する不都合、不満の内容は、「どのようなサービスがあるかわからなかった」が5割で最も多く、「どこに相談したらよいかわからない」が約4割、「提供されるサービスの質が悪

かった」が3割強、「サービス内容が本人の状態に適していなかった」が3割弱となっています。
(問24-1)

- 福祉サービスに関する情報の入手先は、「町役場の窓口や広報紙」が約6割で最も多く、「居宅介護支援事業者（ケアマネジャー）など介護事業所」が約3割、「地域包括支援センター」、「近所の人・知人・友人」が2割台となっています。(問24-2)
- 充実してほしい福祉サービスの情報は、「医療や介護についてのサービス情報」が6割強と特に多く、「趣味や生きがいに関する講座などの情報」、「健康づくりについてのサービス情報」、「ボランティア活動やNPOなどの活動情報」が2割台となっています。(問24-3)

<結果からみえる課題>

福祉サービス利用者が最も適切な福祉サービスを選択し利用することができるよう、相談体制の確保を図るとともに、広報紙やホームページをはじめとした多様な情報伝達の手法を用いて福祉サービスに関する情報の提供が求められています。

6. 福祉に関する制度・取組みについて

- 成年後見制度の認知度は、「制度の名称と内容どちらも知っている」人が約3割、「制度の名称は知っているが、内容は詳しく知らない」人が4割台半ば、「全く知らない」人が2割強となっています。(問25)
- 成年後見制度の利用意向は、「利用したいと思う」人が2割台半ば、「利用したいとは思わない」人が約2割となっています。(問26)
- 成年後見制度を利用したくない理由は、「制度の内容や利用方法がよくわからない」が4割で最も多く、「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が4割弱、「制度を利用するための手続きが複雑そうである」が2割強となっています。(問26-1)
- 令和3年4月から二宮町役場に開設された「ことわらない相談窓口」の認知度は、「認知している」人は2割弱、「内容を含めて知らなかった」人は約8割となっています。(問27)
- 「ことわらない相談窓口」に期待することは、「気軽に相談できそうな、敷居が高くない雰囲気があること」が5割台半ばで最も多く、「専門性があり、解決に結び付けることができること」、「まず、ここに行けばよいという相談窓口があること」、「いつでも相談できる場所や時間が確保されていること」が4割台となっています。(問27-1)
- 地域包括支援センターの役割認知度は、「専門の職員に相談できる（総合相談・支援事業）」、「介護予防に向けた支援を受けられる（介護予防ケアマネジメント事業）」が3割台で多い一方、「よく知らない」は5割弱となっています。(問28)

<結果からみえる課題>

成年後見制度の「名前も内容も知っている」回答者の割合は全体の約3割にとどまります。成年後見制度は、社会生活上で大きな支障が生じていない、または生じていても、制度の理解や周知が進んでいないなどから、利用に至らないといった実情があります。幅広い町民へ、成年後見制度の理解促進を図るため普及啓発を行うことが必要です。

また、「ことわらない相談窓口」の認知度が2割を満たさないことから、世代や分野を超えて相談を必要としている人に伝わる積極的な情報発信を進めることが必要です。

7. これからの地域福祉について

- 地域住民として取り組みたい活動は、「健康づくりや生きがい活動」、「高齢者や障がいのある人への支援」が3割台、「防災や防犯など生活安全に関する活動」、「介護者や介護を必要とする人への支援」、「子育ての支援や子どもの見守り」が2割台となっています。(問29)
- 地域福祉推進のための望ましい形は、「行政と町社会福祉協議会が連携して、町民をリードしていく」が3割強で最も多く、「町内などの地域団体が中心となって、町民の力を集めていく」が2割となっています。(問30)

<結果からみえる課題>

地域福祉推進のために行政と町社会福祉協議会の連携が求められています。そのためには、両者の緊密な連携が必要であり、情報の共有を含めたネットワークづくりを強化し、町民や地域団体等と協働してまちづくりを進めることが必要です。

第4章 調査票

二宮町地域福祉計画策定のための 町民意識調査アンケート

アンケート調査へのご協力をお願い

町民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。
二宮町では、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、町民・関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりをめざして、令和4年度に「二宮町地域福祉計画」を策定します。

このアンケート調査は、20歳以上の町民1,000人を対象に実施し、皆様の福祉観、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画策定に反映していきたいと考えております。

このアンケート調査に際しましては、プライバシーの保護に万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年10月

ご記入にあたってのお願い

- 調査票及び返信用封筒には、住所・氏名の記載は不要です。本調査は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。
- ご本人がご自身の考えでお答えください。ご本人が記入することが難しい場合は、ご家族や身近な支援者の方などがご本人の意見を聞きながら記入してください。
- 各設問については、あてはまる番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容を記入してください。
- 調査票は、10月29日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて(切手を貼らずに)投函してください。

【調査に関するお問い合わせ先】

二宮町 健康福祉部 福祉保険課
電話：0463-75-9289 (直通) FAX：0463-73-0134

▶ 地域福祉って何？

日常生活の中で、ちょっとした不安や不便を感じたことはありませんか？
子どもの登下校が不安…、災害時の対応が心配…、外出したくても交通手段がない…、など。こういった不安や不便さは、ほんの少しの手助けや気づかいで解決できることがあります。

「地域福祉」とはそういった問題を地域の中で解決し、「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、町民が主役で進める取り組み」のことを言います。例えば、隣近所の人にあいさつすることや子どもを安全に地域で見守ることなども、地域福祉の活動と言えます。

「地域福祉」による二宮町の将来イメージ



▶ 地域福祉計画がめざすもの

「地域の助け合い・支え合い」が当たり前のようにできる社会をめざします！
誰もが安心して暮らせる社会をめざします！

そのためには？

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている、
地域の皆さんの参加と協力が必要不可欠となります。

町民参加の一環として、アンケート調査へのご協力を
よろしく願います。

I. あなたご自身についておたずねします。

問1 あなたの性別は次のどれですか。(ひとつだけ○)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問2 あなたの年代は次のどれですか。(ひとつだけ○)

1 20代	3 40代	5 60代	7 80代以上
2 30代	4 50代	6 70代	

問3 あなたが住んでいる地区は次のどれですか。(ひとつだけ○)

1 二宮小学校通学区 《二宮、富士見が丘一丁目、富士見が丘三丁目、松根、山西（梅沢）》
2 一色小学校通学区 《一色、百合が丘1丁目、百合が丘2丁目、百合が丘3丁目、緑が丘一丁目、緑が丘三丁目》
3 山西小学校通学区 《中里、中里二丁目、山西（越地・茶屋・釜野）、川匂》

問4 あなたは現在の地区（問3で回答した地区）に何年住んでいますか。(ひとつだけ○)

1 0～5年	2 6～9年	3 10～19年	4 20～49年	5 50年以上
--------	--------	----------	----------	---------

問5 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)

1 会社員	6 パート、アルバイト、フリーター
2 公務員	7 無職（年金生活者など）
3 自営業（商店、企業経営など）	8 家事専業
4 農林水産業	9 学生
5 専門的職業（医師、看護師、弁護士、会計士、芸術家など）	10 その他（ ）

問6 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)

1 ひとり暮らし世帯	3 親子	5 その他
2 夫婦のみの世帯	4 親子と孫の3世代世帯	()

II. 「福祉」についておたずねします。

問7 あなたは「福祉」に関心がありますか。(ひとつだけ○)

1 とても関心がある	2 ある程度関心がある	3 あまり関心がない	4 全く関心がない
------------	-------------	------------	-----------

(問7で「1」「2」を選んだ人におたずねします。)

問7-1 特にどの福祉の分野に関心がありますか。(ひとつだけ○)

1 児童福祉（子育てなど）	5 地域福祉（地域での支え合い活動）
2 障がい者福祉（障がい者介助など）	6 社会福祉（福祉全般）
3 高齢者福祉（高齢者介護など）	7 その他（ ）
4 低所得者福祉（低所得者への支援）	

(問7で「3」「4」を選んだ人におたずねします。)

問8 二宮町は子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(ひとつだけ○)

1 暮らしやすいと思う	3 あまり暮らしやすいとは思わない	5 わからない
2 まあまあ暮らしやすいと思う	4 暮らしやすいとは思わない	

(問8で「1」「2」を選んだ人におたずねします。)

問8-1 暮らしやすいと思う理由をご記入ください。

III. 地域との関わりについておたずねします。

問9 あなたは、ふだん近所の人との程度の付き合いをしていますか。(ひとつだけ○)

1 常日ごろから、家族ぐるみの付き合いがある
2 困っているとき（病気、悩み、事故など）に、相談をしたり、助け合ったりする
3 一緒にお茶を飲んだり、留守をするときなどに声をかけあう
4 時々、立ち話をする程度
5 会えばあいさつをかわす程度
6 付き合いがほとんどない
7 その他（ ）

問10 あなたは、次の団体や機関を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 民生委員・児童委員	4 地域支援センター	7 その他
2 社会福祉協議会	5 平塚保健福祉事務所	()
3 地域包括支援センター	6 子育て世代包括支援センター	8 どれとも知らない

問 11 あなたは、暮らしの中で助けが必要なとき誰・どこに頼みたいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親戚	6 自治会・町内会役員	11 その他
2 近所の人	7 民生委員・児童委員	()
3 知人・友人	8 社会福祉協議会	12 頼める人がいない
4 職場の人	9 地域包括支援センター	13 頼むつもりはない
5 医療機関の医師	10 町役場の窓口や職員	

問 12 あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 自分や家族の健康に関すること	6 育児・子育てに関すること
2 家族の介護に関すること	7 自分や家族の生活(進学、就職、結婚)上の問題
3 仕事に関すること	8 家庭内の問題(ひきこもり、虐待、DV等)
4 生活費など経済的問題	9 その他()
5 近所との関係	10 特にない → 問 13へ

(問 12 で「10」以外の選択肢に○をつけた人におたずねします。)

問 12-1 悩みや不安を感じていることは、具体的にどんなことですか。

問 13 隣近所困っている人がいたときに、あなたはどのような手助けができると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 安否確認の声かけ	6 家の前などの掃除	11 緊急時の手助け
2 趣味などの話し相手	7 短時間の子どもの預かり	12 その他
3 買い物の手伝い	8 子どもの送り迎え	()
4 ごみ出し	9 子どもの通学路の見守り	13 特にない
5 外出の手助け	10 高齢者の介護	

問 14 あなたやご家族が困っていることで、隣近所の人に手助けしてもらいたいことには、どのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 安否確認の声かけ	6 家の前などの掃除	11 緊急時の手助け
2 趣味などの話し相手	7 短時間の子どもの預かり	12 その他
3 買い物の手伝い	8 子どもの送り迎え	()
4 ごみ出し	9 子どもの通学路の見守り	13 特にない
5 外出の手助け	10 高齢者の介護	

問 15 あなたは防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応に関する以下の項目について、どのようにお考えですか。(それぞれひとつだけ○)

	はい	いいえ	わからない
①日ごろから地域の防災訓練に参加していますか	1	2	3
②地域の自主防災組織(自治会や町内会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織)に入っていますか	1	2	3
③災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか	1	2	3
④災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある人などの要援護者の避難等の手助けができますか	1	2	3

IV. 地域の満足度についておたずねします。

問 16 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。(ひとつだけ○)

1 隣近所	3 問3の地区(小学校通学区)	5 その他()
2 自治会・町内会	4 二宮町全域	

問 17 あなたは、今住んでいる地域(問3で回答した地区)に愛着がありますか。(ひとつだけ○)

1 大いにある	2 ある程度ある	3 どちらともいえない	4 あまりない	5 全くない
---------	----------	-------------	---------	--------

問 18 あなたは、これからも二宮町に住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ○)

1 これからも住み続けたい	3 できれば他の市町村に移りたい
2 どこか町内の別の場所を探したい	4 わからない

問 19 あなたが現在住んでいる地域(問3で回答した地区)の暮らしやすさはいかがですか。(それぞれひとつだけ○)

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
①近隣の生活マナー	1	2	3	4	5
②仕事・雇用環境	1	2	3	4	5
③娯楽施設やレジャー環境	1	2	3	4	5
④病院など医療関係施設	1	2	3	4	5
⑤買い物などの利便さ	1	2	3	4	5
⑥道路や交通機関などの使いやすさ	1	2	3	4	5
⑦公民館活動などの文化教養活動	1	2	3	4	5
⑧公園や緑地などの自然環境	1	2	3	4	5
⑨地域の雰囲気やイメージ	1	2	3	4	5

問20 あなたは、お住まいの地域（問3で回答した地区）で、以下の項目についてのどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。（それぞれひとつだけ○）

	満足度					重要度							
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	わからない	重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない		
ア 安心して赤ちゃんを産み、子育てができる環境	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
イ 児童・生徒が健全に育つ環境	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
ウ 障がいがあっても安心して暮らせる環境	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
エ 高齢者がいきいきと暮らせる環境	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
オ 住民が利用しやすい施設の整った環境	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
カ 日常生活を支える買い物や交通の利便性	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
キ 病气やけがに対する医療体制	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
ク 防災や防犯に対する支援や組織体制	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
ケ 地域で悩みが相談できる体制	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6

V. 地域活動やボランティア活動などについておたずねします。

問21 あなたは、地域活動、ボランティア活動や地域住民に対する各種の支援活動について、参加していますか。（ひとつだけ○）

- 1 現在参加している
- 2 以前参加したことがあるが現在は参加していない
- 3 関心はあるが参加したことはない
- 4 関心もないし参加したことはない
- 5 その他（ ）

（問21で「1」「2」を選んだ人におたずねします。）

- 問21-1 参加したきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）
- 1 自分の意志
 - 2 友人や知人に誘われた
 - 3 町役場や社会福祉協議会の紹介
 - 4 自治会・町内会活動として
 - 5 その他（ ）

問21-2 あなたは現在どんな活動に参加していますか。または参加していましたか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 地域を元気にする活動（自治会・町内会や地区での交流活動など）
- 2 子育てを支援する活動（子育て交流会や、児童の一時預かりなど）
- 3 高齢者を支援する活動（家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出付き添いなど）
- 4 障がいのある人を支援する活動（手話、点字、要約筆記、軽介助、外出付き添いなど）
- 5 児童の健全育成の活動（スポーツの指導、子ども会の活動など）
- 6 特技や興味を活かした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など）
- 7 周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）
- 8 地域の安全を守る活動（防犯パトロール、子どもの見守りなど）
- 9 災害時の支援などの活動（物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど）
- 10 その他（ ）

問22 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域住民に対する各種の支援活動に、どの程度参加していきたいと考えていますか。（ひとつだけ○）

- 1 積極的に参加したい
- 2 できるだけ参加したい
- 3 機会があれば参加してもよい
- 4 あまり参加したくない
- 5 参加したくない（できない）

（問22で「1」「2」「3」を選んだ人におたずねします。）

- 問22-1 どのような条件であれば、参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）
- 1 活動情報の提供がある
 - 2 友人などといっしょに参加できる
 - 3 身近なところで活動できる
 - 4 活動時間や曜日が自由
 - 5 気軽に参加できる
 - 6 適切な指導者やリーダーがいる
 - 7 特技や知識を活かせる
 - 8 身体的な負担が少ない
 - 9 経済的な負担が少ない
 - 10 その他（ ）
 - 11 特になし

問 22-2 あなたが今後参加してみたい地域活動やボランティア活動、地域住民に対する各種支援活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 地域を元気にする活動 (自治会・町内会や地区での交流活動など)
- 2 子育てを支援する活動 (子育て交流会や児童の一時期かりなど)
- 3 高齢者を支援する活動 (家事援助、話し相手、見守り、声かけ、外出付き添いなど)
- 4 障がいのある人を支援する活動 (手話、点字、要約筆記、軽介助、外出付き添いなど)
- 5 児童の健全育成の活動 (スポーツの指導、子ども会の活動など)
- 6 特技や趣味を活かした交流活動 (手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など)
- 7 周辺環境を整備する活動 (道路・公園の清掃、リサイクルなど)
- 8 地域の安全を守る活動 (防犯パトロール、子どもの見守りなど)
- 9 災害時の支援などの活動 (物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど)
- 10 その他 ()
- 11 特になし

(問 22 で「4」「5」を選んだ人におたずねします。)

問 22-3 参加したくない・できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 地域の組織に入っていない
- 2 勤務などの都合で機会がない
- 3 参加方法がわからない
- 4 活動団体を知らない
- 5 時間がない
- 6 興味がない
- 7 経済的な負担が大きすぎる
- 8 家族の理解が得られない
- 9 体調がすぐれない
- 10 一緒に活動する仲間がいない
- 11 その他 ()

問 23 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする
- 2 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する
- 3 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う
- 4 ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する
- 5 福祉活動の相談・指導を担当する職員の充実を図る
- 6 困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する
- 7 困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする
- 8 介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う
- 9 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する
- 10 その他 ()
- 11 特になし

VI. 福祉サービスなどについておたずねします。

※福祉サービスについて
福祉サービスとは、高齢者に対するサービス(介護保険サービス等)、障がいのある人に対するサービス(障害福祉サービス、相談員等の支給等)、子育てに関するサービス(保育、一時預かり等)、保健に関するサービス(乳幼児健康診査、特定健康診査等)など、行政、民間事業所、NPO等が提供するサービスをさしていいます。

問 24 あなたやあなたのご家族は、これまで「福祉サービス」を利用する際に、不都合を感じたことや不満に思ったことはありませんか。(ひとつだけ○)

- 1 不都合や不満を感じたことがある → 問 24-1 ハ
- 2 不都合や不満を感じたことはない → 問 24-2 ハ
- 3 福祉サービスを利用したことがない → 問 24-3 ハ

(問 24 で「1」を選んだ人におたずねします。)

問 24-1 「福祉サービス」のどのようなことに不都合を感じたり不満に思ったりしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 どこに相談したらよいかかわからない
- 2 相談窓口がいくつもあってわからからしい
- 3 利用申し込みの方法が複雑でわかりづらしい
- 4 どのようなサービスがあるかわからなかった
- 5 サービス内容が本人の状況に適していなかった
- 6 サービス提供者からの情報共有がなく、利用中の様子がわからず不安だった
- 7 提供されるサービスの質が悪かった
- 8 その他 ()

(問 24 で「2」を選んだ人におたずねします。)

問 24-2 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 町役場の窓口や広報紙
- 2 民生委員・児童委員
- 3 社会福祉協議会
- 4 地域包括支援センター
- 5 地区の老人憩の家・児童館・子育てサロンなど
- 6 居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)など介護事業所
- 7 医療機関
- 8 近所の人・知人・友人
- 9 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
- 10 インターネット
- 11 その他 ()
- 12 入手したことはない

(問 24 で「3」を選んだ人におたずねします。)

問 24-3 「福祉サービス」について、どのような情報を知りたい、またはどのような情報を充実してほしいと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 子育てについてのサービス情報
- 2 医療や介護についてのサービス情報
- 3 健康づくりについてのサービス情報
- 4 趣味や生きがいに関する講座などの情報
- 5 自治会・町内会など地域のコミュニティや活動に関する情報
- 6 ボランティア活動やNPOなどの活動情報
- 7 悩み事の相談会などに関する情報
- 8 その他 ()

Ⅶ. 福祉に関する制度・取組みについておたずねします。

問 25 あなたは、「成年後見制度※」を知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 制度の名称と内容どちらも知っている |
| 2 | 制度の名称は知っているが、内容は詳しく知らない |
| 3 | 全く知らない |

※認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分でない方を保護するための制度です。

問 26 あなたは、将来的にあなたの自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | | | | | |
|---|----------|---|-------------|---|-------|
| 1 | 利用したいと思う | 2 | 利用したいとは思わない | 3 | わからない |
|---|----------|---|-------------|---|-------|

(問 26 で「2」「3」を選んだ人におたずねします。)

問 26-1 あなたが、利用したいと思わない、わからないと答えた理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|-----------------------|---|----------------|
| 1 | 制度の内容や利用方法がよくわからない | 5 | 制度自体に良いイメージが無い |
| 2 | 制度を利用するための手続きが複雑そうである | 6 | 必要性がわからない |
| 3 | 他人に財産管理をされることに抵抗がある | 7 | その他 () |
| 4 | 利用するために費用(経済的負担)がかかる | 8 | 特に理由はない |

問 27 あなたは、令和 3 年 4 月から二宮町後場に「ことわらない相談窓口※」が開設されたことを知っていましたか。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|---|------------------------|---|--------------|
| 1 | 内容を覚えて知っていた | 3 | 内容を含めて知らなかった |
| 2 | 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らなかった | 4 | その他 () |

※ひきこもりや介護、貧困といった複合的な課題を抱える家庭等に対し、関係機関と連携しつつ課題解決に向けて支援する総合的な相談窓口です。

問 27-1 あなたが「ことわらない相談窓口」に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 相談場所を知らせてくれる案内や広報があること |
| 2 | いつでも相談できる場所や時間が確保されていること |
| 3 | 相談したい時に自宅に来てくれる体制が確保されていること |
| 4 | 気軽に相談できそうな、敷居が高くない雰囲気があること |
| 5 | 専門性があり、解決に結び付けられること |
| 6 | まず、ここに行けばよいという相談窓口があること |
| 7 | その他 () |
| 8 | 特にない |

問 28 地域包括支援センターが担っている下記のような役割のうち、あなたが知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 専門の職員に相談できる(総合相談・支援事業) |
| 2 | 介護予防に向けた支援を受けられる(介護予防ケアマネジメント事業) |
| 3 | 高齢者虐待や財産管理などの支援を行う(権利擁護事業) |
| 4 | 切れ目なく適切な支援を受けられる(包括的・継続的ケアマネジメント事業) |
| 5 | 地域の福祉ネットワークづくりの拠点となる |
| 6 | その他 () |
| 7 | よく知らない |

Ⅷ. これからの地域福祉についておたずねします。

問 29 今後、住みよいまづくりを進めるうえで、あなたは地域住民としてどのような活動にとりこんでいきたいとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|--------------------|----|----------------------|
| 1 | 介護者や介護を必要とする人への支援 | 7 | 健康づくりや生きがい活動 |
| 2 | 高齢者や障がいのある人への支援 | 8 | 防災や防犯など生活安全に関する活動 |
| 3 | 青少年健全育成活動 | 9 | 自治会・町内会などの既存組織の運営に参画 |
| 4 | 子育ての支援や子どもの見守り | 10 | 新たな活動 |
| 5 | 世代を超えた交流活動 | 11 | その他 () |
| 6 | スポーツ・交流・レクリエーション活動 | 12 | 特にない |

問 30 町民が支え合って暮らしやすいまちづくりを進める(地域福祉を推進する)とき、どのような形が望ましいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---|--|
| 1 | 町内などの地域団体が中心となって、町民の力を集めていく |
| 2 | 行政と町社会福祉協議会が連携して、町民をリードしていく |
| 3 | 町民一人ひとりが主体的に力を出していく |
| 4 | 行政のリードで、町民が力を出していく |
| 5 | 自主グループや NPO などの目的別組織が中心となって、町民の力を集めていく |
| 6 | その他 () |

○そのほか、二宮町の福祉について、何かご意見などがあれば教えてください。

<p>ご記入いただいた調査票は、10月29日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに投函してください。</p>

二宮町地域福祉計画策定のための
町民意識調査アンケート 報告書

令和4年3月

発行:二宮町 健康福祉部 福祉保険課
〒259-0196 中郡二宮町二宮961
電話 0463-75-9289 (直通)
